

令和7年度 決算事業報告書



建設課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費	会計名	一般会計
事業名		32	老朽危険家屋等対策事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	老朽危険家屋	総合計画における位置づけ							
			④住み続けたいまちづくり							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)							
	根拠法令・要綱等									
	意図 (対象をどうするか)	空き家等が管理不全な状態になることを防止する	名称	空き家対策の推進に関する特別措置法						
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/426AC1000000127						
			名称	南部町空き家等の適正管理に関する条例						
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000748.html						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	危険な状態の解消	名称	南部町老朽危険家屋等解体撤去補助金交付要綱						
URL			https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000784.html							
決算増減の理由			執行率の理由							
解体撤去の実施に至らなかったため			解体撤去の実施に至らなかったため							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		0.0 %			
	0 円	0 円	0 円	皆 増 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	314 千円	314 千円	0 千円	0.0 %						
【事業内容】 空き家が危険な状態のまま放置されることにより、近隣住宅や道路等に危険や支障が生じることを防止するため、老朽危険家屋等の解体・撤去又は倒壊家屋の撤去に要する経費の一部を補助する。 【決算の状況】 (計画) ・危険家屋の情報収集し、台帳に登録。 ・空き家等対策委員会(代執行などの審議)の開催報酬 2,700円×5人×1回＝13,500円 ・老朽危険家屋等解体撤去補助金(対象経費の1/5、上限30万円) 金田地内 30万円×1件＝30万円 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 空き家所有者に対し解体補助制度の周知及び助言を行い、空き家対策への理解促進を図った。 理由: 解体補助制度の周知や助言を継続的に行うことで、空き家対策に対する理解促進につながったため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 対象家屋の解体に至らなかった 理由: 所有者の資金確保が困難であり、解体実施の判断に至らなかったため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 空き家に関する相談対応を2件実施した。危険家屋等に関する情報収集を行い、空き家等台帳に1件登録した。R7末台帳登録件数 21件 理由: 空き家に関する情報収集を継続的に行い、管理状況の把握と台帳整備を進めたため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 老朽危険家屋の解体撤去に至らなかった。空き家等対策委員会の開催を行わなかった。 理由: 所有者の居所が不明であったり、連絡が取れないケースがあり、意向確認や制度説明が困難であったため。代執行案件がないなど審議案件がなかったため。										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							1 報酬	0	0	
							18 負担金補助及び交付金	0	0	
	一般財源				0	0				
	計				0	0	計	0	0	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		道路の安全や近隣住民の安心な生活環境を確保するため、危険度の高い空き家・老朽危険家屋について、所有者等への指導・助言及び解体撤去に向けた支援を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	地区住民や自治会等から空き家情報を継続的に収集するとともに、庁内関係部署との連携を強化し、早期把握と適切な対応につなげる。								
	解決すべき課題への方策		所有者の資金面等の課題に配慮しながら補助制度の活用を促進するとともに、登記情報や固定資産税情報等を活用した所有者調査を行い、危険家屋の解消に向けた働きかけを継続する。							

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	7	少子化対策費	会計名	一般会計
事業名		2	三世代同居支援事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	新たに町内で三世代同居世帯等を希望する方	総合計画における位置づけ							
			⑭住み続けたいまちづくり							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)							
	根拠法令・要綱等									
	意図 (対象をどうするか)	三世代同居等を希望する方へ住宅取得等の支援を行う。	名称	南部町三世代同居世帯等支援事業補助金交付要綱						
			URL	https://jorei.slis.doshisha.ac.jp/reiki/c2601-313891-92128583?keyword=						
			名称							
			URL							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	一時的に転出していた住民が、三世代同居世帯等として、転入・転居する動機及び同居等に係る負担軽減に繋がっている。	名称							
URL										
決算増減の理由				執行率の理由						
非該当				非該当						
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率78.0 %					
	4,800,000 円	3,744,000 円	△ 1,056,000 円	△ 22.0 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	4,800 千円	4,800 千円	0 千円	0.0 %						

【事業内容】

三世代同居を推進し、子どもを安心して産み育て、高齢者が安心して共に暮らせる健康で幸せな住環境を創ることを目的に、住宅の新築・購入・増改築及びリフォームを行う方に対して、費用の一部を助成する。

1. 補助対象者

新築・購入・増改築及びリフォームに要した経費を負担し、以下の要件を全て満たす方

① これから三世代同居等をされる方であり、申請時に町外や賃貸住宅にお住まいの方、又は、すでに実家で同居されていて、ご結婚後も同居をされる方

② 事業完了してから引き続き3年以上にわたり、三世代同居世帯等を継続する見込みである方

③ 補助を受けようとする方及び、同居の家族が町税等を滞納していない方

④ 暴力団構成員及びその団体に所属していない方

※三世代同居世帯等とは

親・子・孫等の三世代以上で構成される家族が同居する世帯で、申請時に三世代目が15歳以下であること。ただし、二世代目が共に35歳以下の夫婦であれば、三世代目は要しない。

2. 補助対象工事

① 工事に要する費用が10万円以上であること。

② 居住のための住宅工事であること(倉庫など居住の用に供しないものは補助対象外)。

3. 補助金額

対象工事費の1/3(上限額60万円)

ただし、町内の事業者が施工を行う場合(下請けを含む)は、上限額80万円まで助成する。

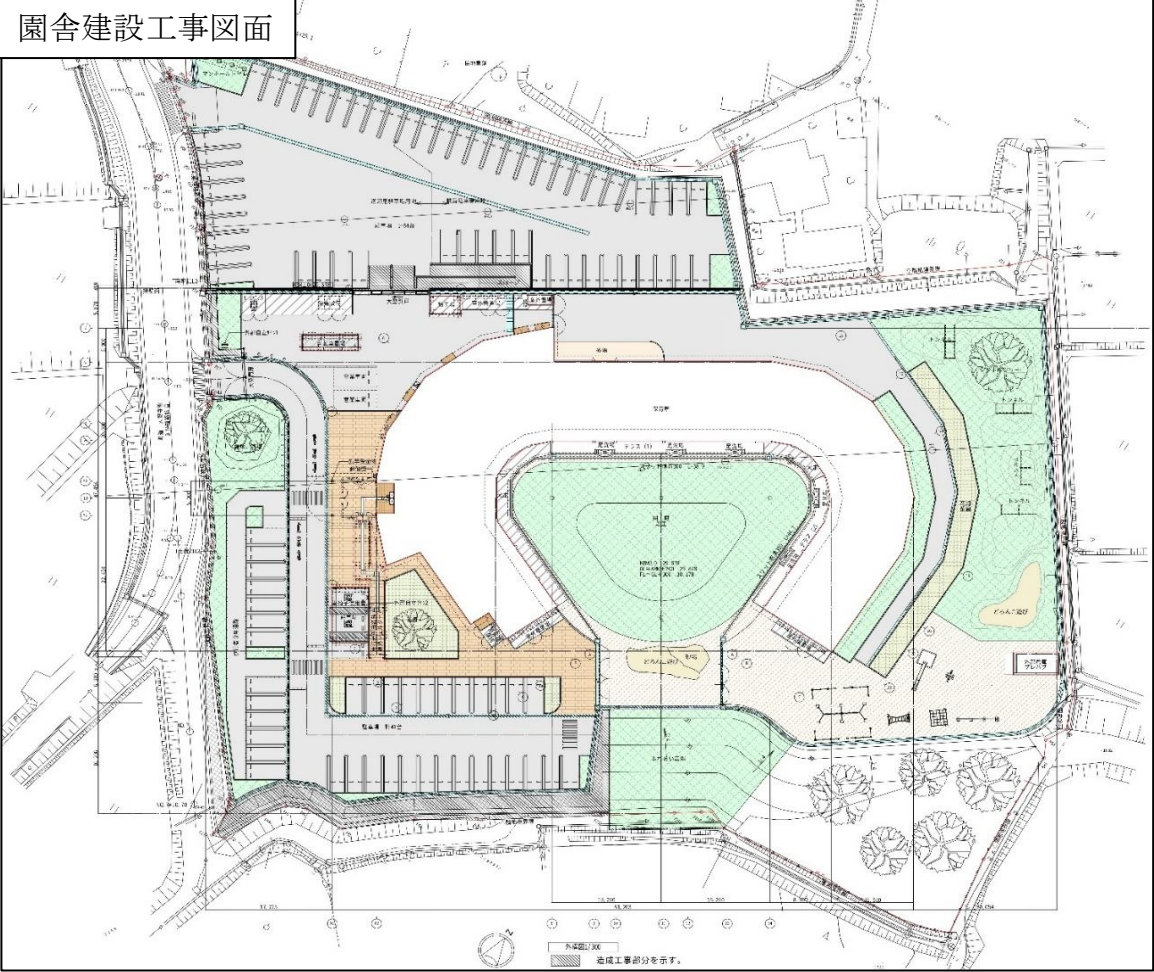
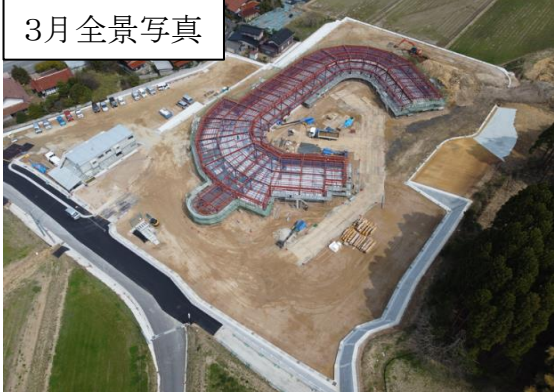
【決算の状況】…次項に記載

(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)		
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-1-1	鳥取県市町村創生交付金	1,447,000	1,610,000	18 負担金補助及び交付金	4,800,000	3,744,000
	一般財源	3,353,000	2,134,000			
	計	4,800,000	3,744,000	計	4,800,000	3,744,000

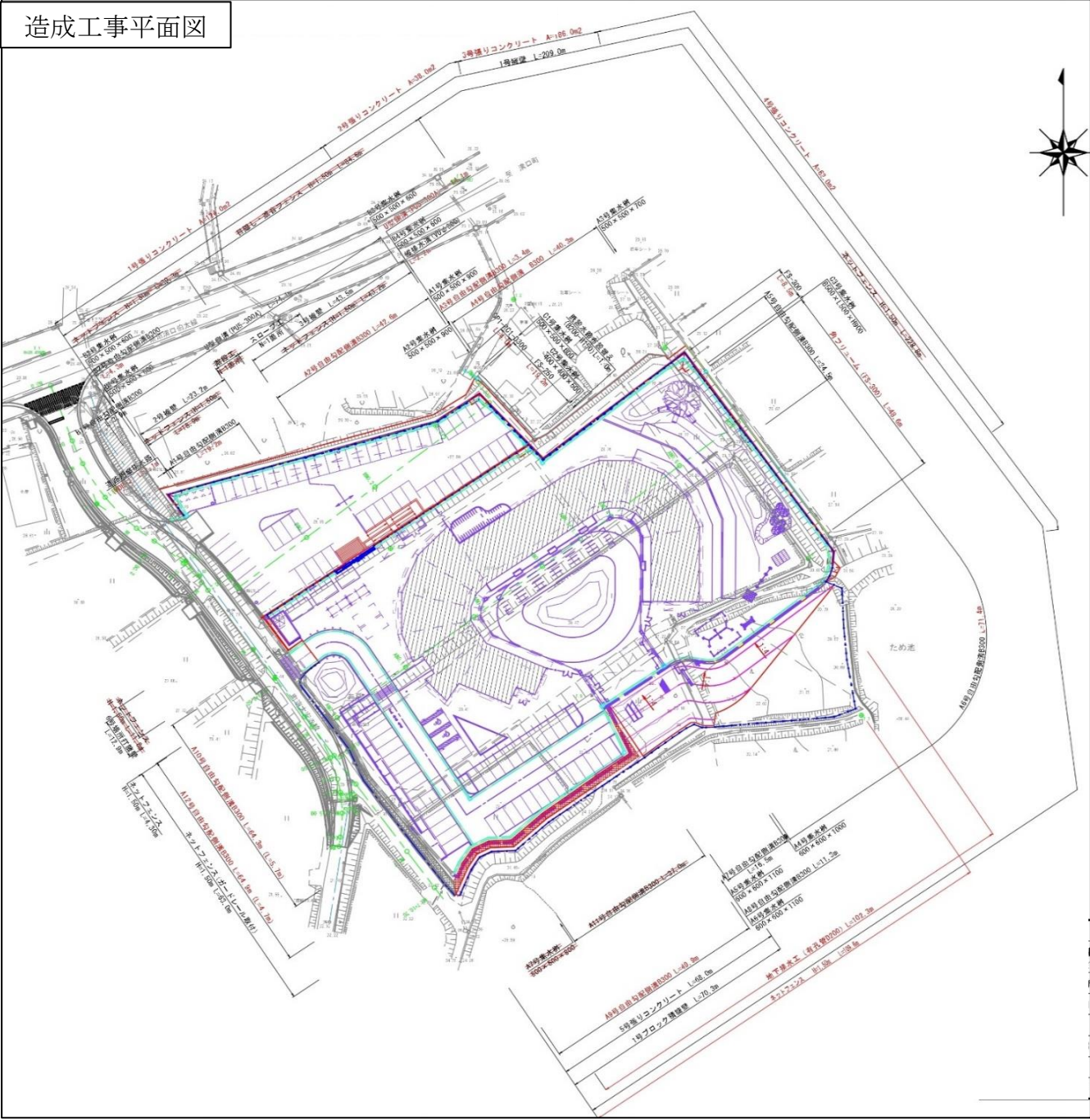
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		住宅取得支援制度を一本化し、より利用しやすい制度として運用することで、定住人口の確保及び良好な住環境の形成を図り、地域活力の維持・向上につなげる。	
	②次年度へ向けた次への行動・具体策			
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	本事業で得られた住宅取得等の支援による定住促進の成果を引き継ぎ、定住促進住まいづくり応援奨励金の活用を促進することで、移住・定住の促進及び安心して暮らせる住環境の形成につなげる。		
	解決すべき課題への方策	三世代同居の推進という一定の役割を果たした一方、対象者が限定的であったことから、より幅広い定住促進を図るため、令和8年度から「定住促進住まいづくり応援奨励金」へ制度を統合した。		

事業名	2	三世代同居支援事業										所属名		建設課																																																															
【決算の状況】																																																																													
(計画)																																																																													
申請予定件数を8件見込む。																																																																													
800千円×8件＝6,400千円																																																																													
(実績)																																																																													
交付決定数 6件(池野1件、法勝寺2件、原1件、福成1件、倭1件)																																																																													
補助金額 800千円×3件＝ 2,400 千円																																																																													
600千円×2件＝ 1,200 千円																																																																													
144千円×1件＝ 144 千円																																																																													
計 3,744 千円																																																																													
<table><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">H26</td><td rowspan="2">H27</td><td rowspan="2">H28</td><td rowspan="2">H29</td><td rowspan="2">H30</td><td rowspan="2">R元</td><td rowspan="2">R2</td><td rowspan="2">R3</td><td rowspan="2">R4</td><td rowspan="2">R5</td><td rowspan="2">R6</td><td colspan="2">R7</td><td rowspan="2">計</td></tr><tr><td>転入</td><td>転居</td></tr><tr><td>補助金交付件数</td><td>9</td><td>16</td><td>7</td><td>7</td><td>5</td><td>7</td><td>11</td><td>6</td><td>8</td><td>15</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td><td>102</td></tr><tr><td>異動人数</td><td>21</td><td>48</td><td>25</td><td>18</td><td>15</td><td>22</td><td>36</td><td>20</td><td>24</td><td>46</td><td>13</td><td>5</td><td>11</td><td>304</td></tr><tr><td>うち15歳未満</td><td>6</td><td>20</td><td>11</td><td>6</td><td>6</td><td>10</td><td>14</td><td>8</td><td>6</td><td>19</td><td>4</td><td>0</td><td>5</td><td>115</td></tr></table>																	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7		計	転入	転居	補助金交付件数	9	16	7	7	5	7	11	6	8	15	5	3	3	102	異動人数	21	48	25	18	15	22	36	20	24	46	13	5	11	304	うち15歳未満	6	20	11	6	6	10	14	8	6	19	4	0	5	115
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7		計																																																															
												転入	転居																																																																
補助金交付件数	9	16	7	7	5	7	11	6	8	15	5	3	3	102																																																															
異動人数	21	48	25	18	15	22	36	20	24	46	13	5	11	304																																																															
うち15歳未満	6	20	11	6	6	10	14	8	6	19	4	0	5	115																																																															
(実績)																																																																													
(1)成果上の実績																																																																													
①達成出来たこと(成果実績)とその理由																																																																													
実績:三世代同居世帯等に対して6件の補助金を交付し、町外からの転入3件及び町内賃貸住宅からの転居3件につながった。																																																																													
理由:住宅取得等に係る経済的負担の軽減を図ることで、三世代同居世帯の住宅取得を後押しすることができたため。																																																																													
②達成出来なかったこと(問題)とその理由																																																																													
問題:補助件数が目標の8件に対し6件にとどまった。																																																																													
理由:対象要件により利用者が限定される中、住宅取得費用の上昇等の影響もあり、制度活用が伸びなかったため。																																																																													
(2)活動上の実績																																																																													
①実施出来たこと(活動実績)とその理由																																																																													
実績:制度周知、相談対応及び補助金交付事務を実施し、6件の補助金交付を行った。																																																																													
理由:制度周知に努めるとともに、相談者に寄り添った丁寧な対応を行い、制度利用につなげることができたため。																																																																													
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由																																																																													
問題:住宅支援制度全体として整理・見直しが必要であった。																																																																													
理由:住宅支援制度が複数に分かれており、利用者にとって分かりやすい制度体系への見直しが必要であったため。																																																																													
(参考)																																																																													
定住促進住まいづくり応援奨励金(令和8年度新設)																																																																													
HP: https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/mirai/permanent/m168/																																																																													

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	5	保育園費	会計名	一般会計
事業名		9	統合保育所整備事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	つくし保育園及びさくら保育園						総合計画における位置づけ		
								⑧こどもが健やかに育つまちづくり		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	防災上の立地条件や施設の老朽化、保育士不足、少子化といった課題に対応するため、2園を統合し、新たな保育所の整備を進めている。						根拠法令・要綱等		
								名称	児童福祉法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC0000000164	
								名称	子ども子育て支援法	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	交通の利便性が高く、防災上安全・安心で、里地里山の自然環境を活用した保育を実施できる保育所が令和8年秋に整備される。						URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/424AC0000000065	
								名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	前年度は土地取得が主であり造成工事に続き建築工事に 取り掛かったため		建築工事について令和8年度に繰越を行ったため		
		46,190,214 円	475,643,967 円	429,453,753 円	929.8 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		46,491 千円	1,286,031 千円	1,239,540 千円	2,666.2 %					
		本年度執行率	37.0 %							
【事業内容】 つくし保育園とさくら保育園を統合して、 新たな場所に私立保育所を開設するため保育園の建築工事を行う。〈重点事業〉 ・保育園園舎延床面積:A=1,542.39㎡（定員120名規模） ・全体事業費:859,890千円(令和5年度 8,595千円、令和6年度 68,467千円、令和7年度 782,827千円) (令和7年度) (令和8年度) ・土地造成工事 ・園舎建設工事 ・園舎建設工事 ・備品購入(子育て支援課)										
【決算の状況】 (計画) ・給水管設計業務、水道管敷設工事を発注する。 ・建築工事・工事監理業務を発注する。 ・新園の名称を決定する。 (実績)										
(単位:円)										
節		費 目		内 容		予 算		決 算		
報償費		委員報酬		保育園名称選考委員会委員報酬		61,600		40,600		
需用費		消耗品費		説明会資料印刷代等		53,620		50,467		
役務費		手数料		盛土申請に係る手数料		233,000		233,000		
委託料		配水管設計業務		新設する水道管の設計		1,320,000		1,320,000		
		工事監理委託業務		保育園新築工事の工事監理		25,656,000		0		
工事請負費		保育園新築工事		建築・外構工事		1,251,326,880		350,680,000		
				電気設備工事				66,000,000		
				機械設備工事				49,940,000		
		水道管新設工事		φ 75mm配水管敷設L=90.3m		6,730,900		6,730,900		
支障木伐採		隣地支障木(竹)の伐採		649,000		649,000				
合 計						1,286,031,000		475,643,967		
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
17-1-3-1	企業版ふるさと納税			0	10,000,000	7 報償費	0	40,600		
18-2-6-1	地域振興基金繰入金			0	14,243,967	10 需用費	0	50,467		
21-1-2-3	保育所整備事業債(公共施設等適正管理推進事業債)			0	213,800,000	11 役務費	0	233,000		
21-1-2-3	保育所整備事業債(施設整備事業債)			43,900,000	237,600,000	12 委託料	2,102,494	1,320,000		
						14 工事請負費	0	473,999,900		
						16 公有財産購入費	42,910,116	0		
						21 補償補填及び賠償金	1,177,604	0		
	一般財源			2,290,214	0					
計				46,190,214	475,643,967	計	46,190,214	475,643,967		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		令和8年度事業完成に向けて、工事進捗管理及び必要な調整を行い、計画とおりの完成を目指す。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	工事の進捗状況を議会、住民に周知を継続し、新園完成の機運を高める。								
	解決すべき課題への方策	建築資材の調達状況や人材確保など受注者の状況も含めて工事進捗を定例会で確認しながら計画通りの完成を目指す。								

事業名	9	統合保育所整備事業	所属名	建設課
以下を令和8年度へ繰越す。 ・委託料 <u>25,656,000円</u> 工事監理委託業務 令和7年8月から令和8年11月まで [R7.8.29契約 桑本建築設計事務所] ・工事請負費 <u>784,706,880円</u> 保育園新築工事 令和7年9月から令和8年10月まで [R7.9.5契約 (建築・外構)松本組・フィディアJV (電気設備)栄和・寿電気JV (機械設備)曾我工業・シンセイJV]				
園舎建設工事図面 				
1月全景写真  1月末時点工事進捗率4.82%				
2月全景写真  2月末時点工事進捗率6.39%				
3月全景写真  3月末時点工事進捗率16.90%				
かきっこ保育園の工事進捗状況(南部町ホームページ) https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kosodateshienka/category/facilities/x106/p343/ かきっこ保育園の完成イメージCGと動画について https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kosodateshienka/category/facilities/x106/a140/				
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:造成工事にあわせて、建築工事の発注を行い着工ができた。 理由:造成事後者と建築業者と連絡調整ができ円滑に現場が進められたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:造成工事において現地土質への対応が必要となった。 理由:想定以上に土質が不安定であったことから対策工法の検討を行ったが、建築工事への影響を抑えるため関係者と調整しながら施工を進めたため。				
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:工事の進捗にあわせてホームページによる情報発信や住民説明会を実施した。 理由:工事の進捗状況や施設整備の内容について、町民へ継続的な情報提供を行ったため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:施設完成イメージの公表時期が当初予定より遅れた。 理由:完成イメージ図の作成及び内容調整に時間を要したため。				

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	5	保育園費	会計名	一般会計																																																																																																										
事業名		9	統合保育所整備事業（繰越）						所属名	建設課																																																																																																										
事業の目的	対象 （誰、何に対してか）	つくし保育園及びさくら保育園						総合計画における位置づけ																																																																																																												
								⑧こどもが健やかに育つまちづくり																																																																																																												
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																												
								②教育に挑戦（子育て・教育のまち）																																																																																																												
	根拠法令・要綱等																																																																																																																			
	意図 （対象をどうするか）	防災上の立地条件や施設の老朽化、保育士不足、少子化といった課題に対応するため、2園を統合し、新たな保育所の整備を進めている。						名称	児童福祉法																																																																																																											
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC0000000164																																																																																																											
								名称	子ども子育て支援法																																																																																																											
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/424AC0000000065																																																																																																											
	成果の視点 （どのような効果があるか）	交通の利便性が高く、防災上安全・安心で、里地里山の自然環境を活用した保育を実施できる保育所が令和8年秋に整備される。						名称																																																																																																												
URL																																																																																																																				
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由																																																																																																												
		0 円	307,182,772 円	307,182,772 円	皆 増 %																																																																																																															
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減	本年度執行率	91.6 %																																																																																																													
		0 千円	335,423 千円	335,423 千円	皆 増 %																																																																																																															
【事業内容】 つくし保育園とさくら保育園を統合して、新たな場所に私立保育所を開設するため新規に用地を取得し、造成し、園舎を建設する。〈重点事業〉 新園取得用地:10,933㎡（圃場整備外あり）天萬2271番地ほか園舎（定員120名規模） 全体事業費:859,890千円（令和5年度 8,595千円、令和6年度 68,467千円、令和7年度 782,827千円） （令和6年度）（令和7年度）（令和8年度） ・用地測量・土地造成工事・園舎建設工事 ・建物設計・園舎建設工事・備品購入（子育て支援課） ・進入町道拡幅工事 ・土地取得 ・土地造成工事 ・文化財調査（教育委員会） 【決算の状況】 （計画） ・福里下池の盛土申請に必要となる調査設計業務を実施する。 ・統合保育所の建築設計業務を実施し、施設整備に向けた準備を進める。 ・NTT柱及びCATV線の移転を行い、工事着手に向けた環境整備を進める。 （実績） <table><tr><th>節</th><th>費 目</th><th>予 算</th><th>決 算</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">委託料</td><td>福里下池測量設計費</td><td>6,215,000</td><td>6,215,000</td><td>R7.5.30完成 ヨナゴ技研</td></tr><tr><td>建築設計業務</td><td>52,243,600</td><td>51,431,600</td><td>R7.6.30完成 桑本建築設計</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>造成工事費</td><td>273,444,324</td><td>246,016,100</td><td>R8.3.31完成 TMS・タナカJV</td></tr><tr><td>補償補填及び賠償金</td><td>補償費</td><td>3,520,072</td><td>3,520,072</td><td>R7.6.30完成 NTT</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>335,422,996</td><td>307,182,772</td><td></td></tr></table> （歳入内訳 単位:円） <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>21-1-2-3</td><td>保育所整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）</td><td>0</td><td>221,300,000</td><td>12 委託料</td><td>0</td><td>57,646,600</td></tr><tr><td>21-1-2-3</td><td>保育所整備事業債（合併特例事業債）</td><td>0</td><td>58,100,000</td><td>14 工事請負費</td><td>0</td><td>246,016,100</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>16 公有財産購入費</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>21 補償補填及び賠償金</td><td>0</td><td>3,520,072</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>27,782,772</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>0</td><td>307,182,772</td><td>計</td><td>0</td><td>307,182,772</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>令和8年度事業完成に向けて、工事進捗管理及び必要な調整を行い、計画とおりの完成を目指す。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td>工事の進捗状況を議会、住民に周知を継続し、新園完成の機運を高める。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>建築資材の調達状況や人材確保など受注者の状況も含めて工事進捗を定例会で確認しながら計画通りの完成を目指す。</td></tr></table>										節	費 目	予 算	決 算	備 考	委託料	福里下池測量設計費	6,215,000	6,215,000	R7.5.30完成 ヨナゴ技研	建築設計業務	52,243,600	51,431,600	R7.6.30完成 桑本建築設計	工事請負費	造成工事費	273,444,324	246,016,100	R8.3.31完成 TMS・タナカJV	補償補填及び賠償金	補償費	3,520,072	3,520,072	R7.6.30完成 NTT	合 計		335,422,996	307,182,772		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	21-1-2-3	保育所整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）	0	221,300,000	12 委託料	0	57,646,600	21-1-2-3	保育所整備事業債（合併特例事業債）	0	58,100,000	14 工事請負費	0	246,016,100					16 公有財産購入費	0	0					21 補償補填及び賠償金	0	3,520,072																							一般財源	0	27,782,772				計		0	307,182,772	計	0	307,182,772	①今後の事業全体の方向性とその内容	令和8年度事業完成に向けて、工事進捗管理及び必要な調整を行い、計画とおりの完成を目指す。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成出来た点をさらに伸ばす方策	工事の進捗状況を議会、住民に周知を継続し、新園完成の機運を高める。	解決すべき課題への方策	建築資材の調達状況や人材確保など受注者の状況も含めて工事進捗を定例会で確認しながら計画通りの完成を目指す。
節	費 目	予 算	決 算	備 考																																																																																																																
委託料	福里下池測量設計費	6,215,000	6,215,000	R7.5.30完成 ヨナゴ技研																																																																																																																
	建築設計業務	52,243,600	51,431,600	R7.6.30完成 桑本建築設計																																																																																																																
工事請負費	造成工事費	273,444,324	246,016,100	R8.3.31完成 TMS・タナカJV																																																																																																																
補償補填及び賠償金	補償費	3,520,072	3,520,072	R7.6.30完成 NTT																																																																																																																
合 計		335,422,996	307,182,772																																																																																																																	
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																														
21-1-2-3	保育所整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）	0	221,300,000	12 委託料	0	57,646,600																																																																																																														
21-1-2-3	保育所整備事業債（合併特例事業債）	0	58,100,000	14 工事請負費	0	246,016,100																																																																																																														
				16 公有財産購入費	0	0																																																																																																														
				21 補償補填及び賠償金	0	3,520,072																																																																																																														
	一般財源	0	27,782,772																																																																																																																	
計		0	307,182,772	計	0	307,182,772																																																																																																														
①今後の事業全体の方向性とその内容	令和8年度事業完成に向けて、工事進捗管理及び必要な調整を行い、計画とおりの完成を目指す。																																																																																																																			
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																				
達成出来た点をさらに伸ばす方策	工事の進捗状況を議会、住民に周知を継続し、新園完成の機運を高める。																																																																																																																			
解決すべき課題への方策	建築資材の調達状況や人材確保など受注者の状況も含めて工事進捗を定例会で確認しながら計画通りの完成を目指す。																																																																																																																			

事業名	9	統合保育所整備事業(繰越)	所属名	建設課
造成工事平面図  造成工事着工前の全景  造成工事完成後の全景  (実績) (1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 新規建設地の造成工事を完工し、建築工事につなげられた。 理由: 現地の土質にあった工法に変更するなど調整をうまく進めることができたため。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 造成工事において現地土質への対応が必要となった。 理由: 想定以上に土質が不安定であったことから対策工法の検討を行ったが、建築工事への影響を抑えるため関係者と調整しながら施工を進めたため。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 造成工事の完工に向け、工事業者等の関係者と調整を行い、事業の進捗管理を図った。 理由: 協議事項を適切に調整し、円滑な工事施工を進める必要があったため。 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 変更内容の実施判断に時間を要した。 理由: 関係機関との協議及び調査に時間を要したため。				

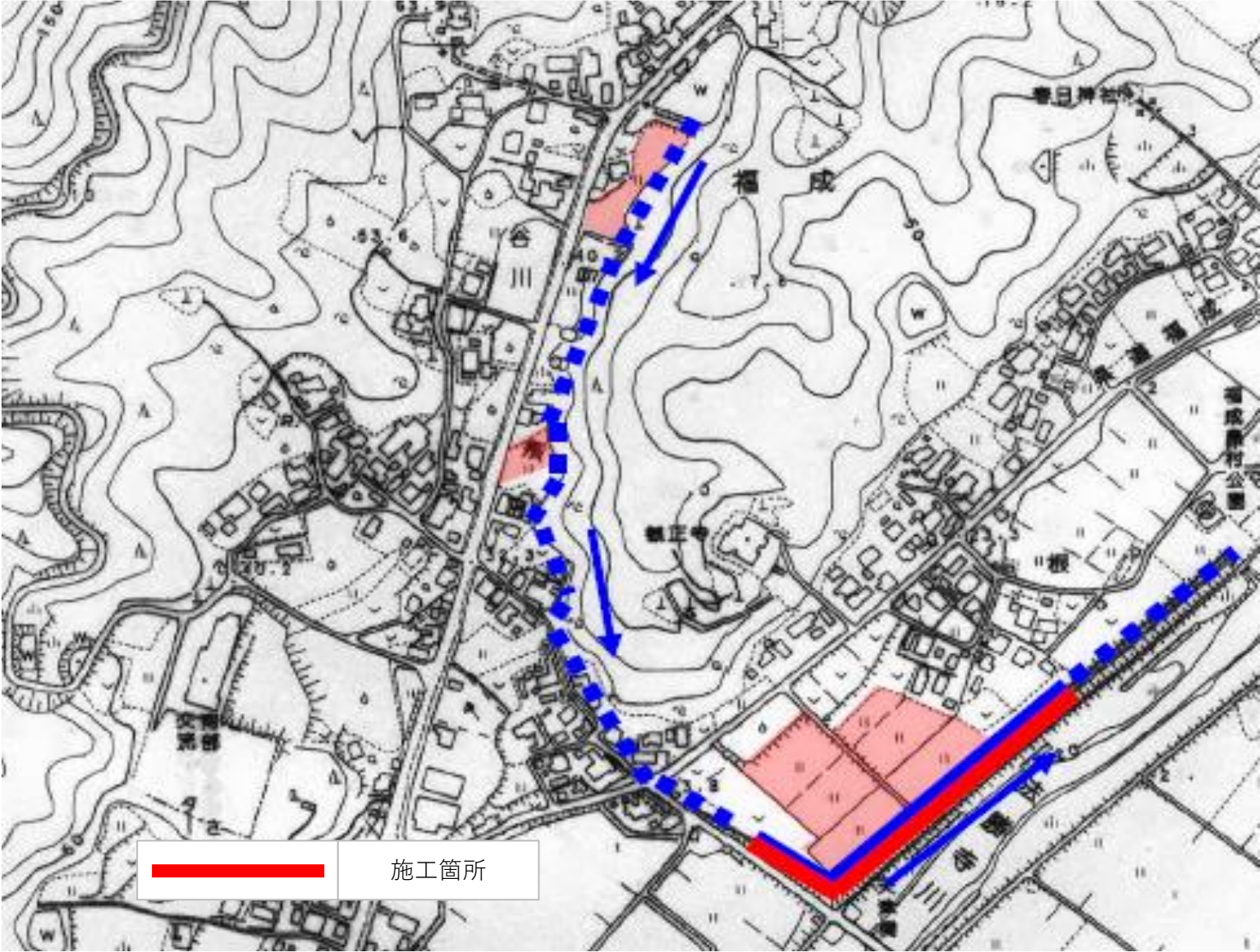
款	4	衛生費	項	5	上水道費	目	1	上水道費	会計名	一般会計
事業名		1	上水道事業費						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	水道事業会計	総合計画における位置づけ							
			⑩ともに支え合い元気に暮らすまちづくり							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			③環境に挑戦(環境と共生のまち)							
	意図 (対象をどうするか)	適切な繰出しを行い、水道事業の安定的な経営を支援する。	根拠法令・要綱等							
			名称	令和7年度地方公営企業法繰出金通知(総務省)						
			URL	https://www.soumu.go.jp/main_content/001002731.pdf						
			名称	地方公営企業法						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	水道事業の経営基盤の維持及び安定的な事業運営が図られる。	URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC0000000292/						
			名称							
URL										
決算増減の理由			執行率の理由							
非該当			非該当							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率74.9 %					
	11,457,463 円	9,900,405 円	△ 1,557,058 円	△ 13.6 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	13,935 千円	13,226 千円	△ 709 千円	△ 5.1 %						
【事業内容】 地方公営企業法及び繰出基準に基づき、水道事業に対して補助金を交付する。 ・簡易水道事業の建設改良に係る企業元利償還額に対する補助金 ・簡易水道の統合推進に要する経費に対する補助金 ・消火栓管理に要する経費に対する補助金 ・消火栓更新に要する経費に対する補助金										
【決算の状況】 (計画及び実績) 繰出基準										
単位:円										
項 目			予算額	決算額	算出根拠					
簡易水道の建設改良に係る企業債元利償還額に対する補助金			7,225,105	7,225,105						
統 合 分(1/2)			6,868,517	6,868,517	(元金) 11,724,844×1/2 (利子) 2,012,190×1/2					
臨時措置分			356,588	356,588	(元金) 282,231+(利子) 74,357					
消火栓管理に要する経費に対する補助金			1,000,000	1,000,000						
消火栓更新に要する経費に対する補助金			5,000,000	1,675,300	西町 2基分					
計			13,225,105	9,900,405						
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:適正な時期に繰出すことで水道事業の経営安定が図れた。 理由:継続的な事業執行を可能にしたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:適正な繰出しにより水道事業の経営安定が図れた。 理由:継続的な事業執行を可能にしたため。										
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:基準に沿って算出した額を適正に繰り出した。 理由:事業の進捗に合わせたタイミングで事務手続きが遅滞なく完了できたため。 ②実施出来なかったこと(問題)とその理由 問題:基準に沿って算出した額を適正に繰出した。 理由:事務遅延等もなく年間を通して計画的に活動を行うことができたため。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					18 負担金補助及び交付金	11,457,463	9,900,405			
	一般財源		11,457,463	9,900,405						
	計		11,457,463	9,900,405	計	11,457,463	9,900,405			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地方公営企業法及び繰出基準に基づき、適正な繰り出しを行うことで、水道事業の安定的な運営及び経営基盤の維持を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	総務省の繰出基準通知等の内容を適切に把握し、引き続き適正な繰り出しを行うことで、水道事業の安定的な運営を支援する。								
	解決すべき課題への方策	人口減少による料金収入の減少や施設更新費用の増加が見込まれることから、公共料金審議会での議論も踏まえ、料金体系の見直しを含めた持続可能な事業運営について検討を進める。								

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		32	南部町農林業基盤整備補助金交付事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	農業、林業生産者又は農業、林業生産組織						総合計画における位置づけ		
								②活力があり、受け継がれる農林業の推進		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)		
	意図 (対象をどうするか)	農林業生産基盤の整備及び補修並びにため池等の防災措置を支援している。						根拠法令・要綱等		
								名称	鳥取県しつかり守る農林基盤交付金交付規則	
								URL	https://www1.g-reiki.net/tottori/reiki_honbun/k500RG00001523.html	
								名称	南部町農林業基盤整備事業補助金交付要綱	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	生産基盤等の整備等を行い、良好な状態を維持、確保することにより、農林地保全を図るとともに生産者等の生産意欲を引き上げ、農林業生産の継続を図る。						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000853.html	
								名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	前年度に対して申請件数の増加に加え、平均的に工事費の高額な現場が増となった。		非該当			
	3,272,880 円	5,837,464 円	2,564,584 円	78.4 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	4,197 千円	6,400 千円	2,203 千円	52.5 %						
						本年度執行率	91.2 %			
【事業内容】										
農林地を守り、農林業生産の継続を図るために、農林業生産基盤工事(農林道、用排水、灌がい施設、ため池等)の新設、改良、修繕並びにため池等の防災措置を行う農業、林業生産者又は農業、林業生産組織に対して、工事請負費(応急工事を含む)又は測量設計等委託料を支援する。										
農林業生産者等が行う工事に対して、下記の補助率で支援する(事業費上限:200万円)。										
(1) 県費補助事業に該当する場合(県50%、町30%、生産者等20%)										
(2) 単独町費補助事業の場合(町50%、生産者等50%)										
【決算の状況】										
(計画)及び(実績)										
費目		予算額(円)	決算額(円)	備考						
負担金補助及び交付金		6,400,000	5,837,464	ため池2、用水路9、管渠1						
計		6,400,000	5,837,464							
＜事業内訳＞ 単位:円										
工種		数量		位置	事業費	補助金額				
①水路補修		角フリューム(400) L=6.4m、H鋼架台 1式		天萬	1,100,000	880,000				
②水路補修		嵩上げコンクリート L=15.0m		天萬	361,900	289,520				
③水路補修		大型フリューム(800) L=16.0m		天萬	1,999,800	1,599,840				
④水路補修		側壁補修 N=6箇所		北方	99,000	79,200				
⑤ため池補修		張コンクリート(H=0.5m、t=0.1m) L=3.3m		北方	157,300	125,840				
⑥水路補修		側壁コンクリート補修 L=54.0m		阿賀	900,000	720,000				
⑦水路補修		コンクリート補修 1式		阿賀	148,500	118,800				
⑧管渠補修		KCジョイント(250) N=2箇所		高姫	599,830	479,864				
⑨水路補修		編柵工(H=0.5m) L=39.0m		鍋倉	649,000	519,200				
⑩ため池補修		陥没補修 V=0.8㎡		入蔵	261,800	209,440				
⑪水路補修		U字溝(300) L=6.0m		赤谷	799,700	639,760				
⑫水路補修		モルタル補修 N=7箇所		赤谷	220,000	176,000				
計					7,296,830	5,837,464				
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
15-2-4-1	鳥取県しつかり守る農林基盤交付金			2,045,550	3,648,415	18 負担金補助及び交付金	3,272,880	5,837,464		
	一般財源			1,227,330	2,189,049					
	計			3,272,880	5,837,464	計	3,272,880	5,837,464		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		小規模な農林業生産者は修繕工事等の多額な負担のため、生産基盤の機能維持が疎かになり、生産意欲の減退が懸念されているため、軽微な修繕工事費の助成を行い、生産意欲の引き上げを図り、ひいては農林地の荒廃防止につなげる。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	鳥取県のしつかり守る農林基盤交付金事業の実施予定事業費を個別最低保証額として確保し、農林業施設の機能維持、災害応急復旧、ため池の小規模緊急防災などの緊急工事への支援を迅速に行う。								
	解決すべき課題への方策	しつかり守る農林基盤交付金事業(単県事業)から既存の農業用水路等長寿命化・防災減災事業(国庫補助事業)への振分けを進めて、単県事業需要を減らし本事業への交付金充当を容易にして町、地元負担の軽減を図る。								

事業名	32	南部町農林業基盤整備補助金交付事業	所属名	建設課
(実績) (1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 農家の維持管理に要する労力及び経費の軽減につながった。 理由: 農業基盤の適切な修繕ができたため。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 修繕工法の選定方法の協議と合意形成 理由: 負担金に影響を及ぼすため。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 営農への支障を生じさせることなく復旧できた。 理由: 速やかな対応による修繕工事の実施 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: ため池の漏水経路の特定 理由: ため池の漏水経路を特定することは非常に困難で多額の費用を必要とするため。				
令和7年度南部町農林業基盤整備補助金交付事業実施箇所一覧図				

事業名	32	南部町農林業基盤整備補助金交付事業	所属名	建設課
2、天萬地区 水路補修 (着工前)  (完成)  5、北方地区 ため池補修 (着工前)  (完成)  6、阿賀地区 水路補修 (着工前)  (完成)  7、阿賀地区 水路補修 (着工前)  (完成)  11、上中谷(赤谷)地区 水路補修 (着工前)  (完成) 				

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計
事業名		44	農業水路等長寿命化・防災減災事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	改善が必要な農業用水路	総合計画における位置づけ							
			②活力があり、受け継がれる農林業の推進							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)							
	意図 (対象をどうするか)	補修工事による長寿命化を支援している。	根拠法令・要綱等							
			名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業実施要領(国)						
			URL	https://www.maff.go.jp/j/nousin/nn_youkou/attach/pdf/youkou-596.pdf						
			名称	鳥取県土地改良事業補助金交付要綱						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	計画的な補修により維持管理労力の軽減と将来にわたってその機能を安定的に発揮させる。	URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1127121/tochikairyou.pdf						
			決算増減の理由				執行率の理由			
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		100.0 %		
		0 円	13,993,100 円	13,993,100 円	皆 増 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		0 千円	14,000 千円	14,000 千円	皆 増 %					
【事業内容】										
(1) 事業対象(総事業費200万円以上)										
・きめ細やかな長寿命化対策										
農業水利施設の老朽化にきめ細やかに対応して長寿命化を図るほか、水管理や維持管理の省力化に資する取組を支援する。										
・機動的な防災減災対策										
農業水利施設の機能低下により、災害のおそれが生じている箇所において、その機能を回復するとともに、被害の発生を未然に防ぐための取組や、事故の防止などリスク管理に資する取組を支援する。										
(2) 補助率										
国50%、県22.5%、町22.5%、地元5%(事業費から委託料を除いた金額が対象)										
振興山村地域の場合は、国55%、県20%、町20%、地元5%										
【決算の状況】										
(計画) 及び(実績)										
単位:円										
費目		予算額		決算額		備考				
工事費		14,000,000		13,993,100		施工延長 L=279.4m【R8.2.13完成、(株)カイセイ】				
計		14,000,000		13,993,100						
工事内容										
坂根地区の排水路において底面部の複数箇所で漏水が生じているため、災害リスク軽減を図る目的で改修工事を実施した。底張コンクリート設置(W=1.8m、t=0.1m) L=279.4m										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
15-2-4-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金			0	10,494,825	14 工事請負費	0	13,993,100		
21-1-3-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業債(一般補助施設等整備事業)			0	3,100,000					
	一般財源			0	398,275					
計				0	13,993,100	計	0	13,993,100		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		農業水利施設の適切な保全・長寿命化を推進することで、安定した営農環境の確保と農業の持続的な発展につながる。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		地域への丁寧な説明と合意形成を進めることで、事業の円滑かつ着実な推進を図る。							
	解決すべき課題への方策		予算の確保に努め、計画的な補修を実施していくことで施設、設備の維持に努める。							

事業名	44	農業水路等長寿命化・防災減災事業	所属名	建設課
(実績) (1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 改良工事の完成により、地域の安心安全が確保された。 理由: 機能低下により災害発生のおそれがあった農業用排水路について、被害の未然防止につながったため。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 町内の農業用水施設の多くは、整備後相当の年数が経過し、老朽化が進行している。 理由: 施設の経年劣化による機能低下が懸念されており、安定した農業用水の供給を維持するには、計画的な更新・補修が必要となっているため。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 坂根地区の排水路279.4mの改良工事が単年度で完成した。 理由: 単年度での工事完成により、地元住民の不安軽減を早期に図ることができたため。 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 排水路の全路線改修には至らなかった。 理由: 事業費等の制約により、優先度の高い箇所限定した改修となったため。				
				
着工前  完成 				

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	9	農地費	会計名	一般会計																																															
事業名		1-1	農地事業						所属名	建設課																																															
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	土地改良事業に関連する各団体	総合計画における位置づけ																																																						
			②活力があり、受け継がれる農林業の推進																																																						
			「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																						
			④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)																																																						
			根拠法令・要綱等																																																						
	意図 (対象をどうするか)	土地改良事業に対して支援する。	名称	土地改良法																																																					
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/324AC0000000195																																																					
			名称																																																						
			URL																																																						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	土地改良事業の促進	名称																																																						
URL																																																									
決算増減の理由				執行率の理由																																																					
前年度に比較して土地改良事業費が増加したため、特別賦課金が増額となった。				非該当																																																					
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減																																																					
	240,470 円	453,698 円	213,228 円	88.7 %																																																					
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減	本年度																																																				
	262 千円	454 千円	192 千円	73.3 %	執行率	99.9 %																																																			
【事業内容】 ・年度版の土地改良工事積算基準書及び農地農業用施設災害復旧事業の手引書を購入し、適正な積算を行う。 ・各種団体等への負担金の納入 【決算の状況】 (計画)及び(実績) ①.成果実績または活動実績 単位:円 <table><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>需用費</td><td>64,000</td><td>63,698</td><td>土地改良工事積算基準書ほか 63,698</td></tr><tr><td rowspan="5">負担金補助及び交付金</td><td rowspan="5">390,000</td><td rowspan="5">390,000</td><td>農道台帳管理賦課金 45,000</td></tr><tr><td>西部土地改良事業推進協議会負担金 2,000</td></tr><tr><td>県土連一般賦課金 20,000</td></tr><tr><td>県土連特別賦課金 299,000</td></tr><tr><td>県農業農村整備推進協議会会費 24,000</td></tr><tr><td>計</td><td>454,000</td><td>453,698</td><td></td></tr></table> (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:長期間の地元協議を経て事業化された。 理由:施設の機能保全及び安定した用水供給に向けた取組が進展したため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:ため池整備を進めるに当たり、整備対象施設の優先順位付けが必要となっている。 理由:財政状況や地域の要望、施設の状況等を総合的に勘案し、事業化を進める必要があるため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:関係者の合意形成が図られた。 理由:受益地が複数の自治体にまたがっており、分担金負担率の相違に起因する課題が生じていたため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:一部の土地改良事業において、年度内完了に至らず繰越工事となった。 理由:資材調達の遅延や関係機関との協議に不測の日数を要し、事業の進捗に遅れが生じたため。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>240,470</td><td>453,698</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>240,470</td><td>453,698</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>10 需用費</td><td>30,470</td><td>63,698</td></tr><tr><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>210,000</td><td>390,000</td></tr><tr><td>計</td><td>240,470</td><td>453,698</td></tr></table> 今後に向けて ①今後の事業全体の方向性とその内容 土地改良事業により農道や用排水路の改良等継続的に行われている。農家の営農意欲低下を防ぐためにも土地改良事業の促進は必要不可欠である。 ②次年度へ向けた次への行動・具体策 達成出来た点をさらに伸ばす方策 要望活動や研修会等に積極的かつ計画的に参加し、地域課題の解決や人材育成につなげる。 解決すべき課題への方策 国、県及び関係機関が主催する各種研修等への計画的な参加とOJT(現場での実地指導)の充実を図り、職員の専門知識及び技術力の向上に努める。										費目	予算額	決算額	備考	需用費	64,000	63,698	土地改良工事積算基準書ほか 63,698	負担金補助及び交付金	390,000	390,000	農道台帳管理賦課金 45,000	西部土地改良事業推進協議会負担金 2,000	県土連一般賦課金 20,000	県土連特別賦課金 299,000	県農業農村整備推進協議会会費 24,000	計	454,000	453,698		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額						一般財源	240,470	453,698		計	240,470	453,698	節	前年度決算額	本年度決算額	10 需用費	30,470	63,698	18 負担金補助及び交付金	210,000	390,000	計	240,470	453,698
費目	予算額	決算額	備考																																																						
需用費	64,000	63,698	土地改良工事積算基準書ほか 63,698																																																						
負担金補助及び交付金	390,000	390,000	農道台帳管理賦課金 45,000																																																						
			西部土地改良事業推進協議会負担金 2,000																																																						
			県土連一般賦課金 20,000																																																						
			県土連特別賦課金 299,000																																																						
			県農業農村整備推進協議会会費 24,000																																																						
計	454,000	453,698																																																							
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額																																																						
	一般財源	240,470	453,698																																																						
	計	240,470	453,698																																																						
節	前年度決算額	本年度決算額																																																							
10 需用費	30,470	63,698																																																							
18 負担金補助及び交付金	210,000	390,000																																																							
計	240,470	453,698																																																							

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	9	農地費	会計名	一般会計	
事業名		2-1	農地耕作条件改善事業						所属名	建設課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	福成地区農地耕作条件改善エリア						総合計画における位置づけ			
								②活力があり、受け継がれる農林業の推進			
								「4つの挑戦」から見た位置づけ			
								④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)			
	根拠法令・要綱等										
	意図 (対象をどうするか)	多様なニーズに沿ったきめ細かな耕作条件の改善を機能的に進めるとともに、農地集積を図る。						名称	農地耕作条件改善事業実施要綱(国)		
								URL	https://www.maff.go.jp/j/nousin/keiku/noutiseibi/attach/pdf/index-196.pdf		
								名称	鳥取県土地改良事業補助金交付要綱		
								URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1127121/tochikairyou.pdf		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を加速化し、意欲ある農業者が農業を継続する環境を整え、農業競争力の強化を図る。						名称			
URL											
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由			
		0 円	9,973,700 円	9,973,700 円	皆 増 %						
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					本年度執行率	99.7 %
		0 千円	10,000 千円	10,000 千円	皆 増 %						
【事業内容】											
農業用排水施設、暗渠排水、土層改良、区画整理、農作業道、農地造成、農用地保全、営農環境整備、ICT活用による水管理等の維持管理の省力化支援											
補助率:国50%、県22.5%、町22.5%、地元5%(事業費から委託料を除いた金額が対象)											
【決算の状況】											
(計画)及び(実績) 単位:円											
費目		予算額		決算額		備考					
工事費		10,000,000		9,973,700		暗渠排水設置工事 A=137a【R8.2.27完成、(株)ティー・エム・エス】					
計		10,000,000		9,973,700							
(実績)											
(1)成果上の実績											
①達成出来たこと(成果実績)とその理由											
実績:圃場の排水条件が改善されたことで農作業の効率化が可能となり、営農コストの削減が図られた。											
理由:圃場の排水性が改善され、農業機械の作業性向上や作業時間の短縮が図られたため。											
②達成出来なかったこと(問題)とその理由											
問題:暗渠排水の設置を希望していた一部の圃場について、暗渠排水の設置ができなかった。											
理由:排水先となる水路が未整備であり、排水処理が困難であったため。											
(2)活動上の実績											
①実施出来たこと(活動実績)とその理由											
実績:農家の要望に配慮しつつ、予算の範囲内で施工内容の最適化を図ることができた。											
理由:農家との協議を重ね、現地条件や事業効果を踏まえながら施工内容を精査したため。											
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由											
問題:圃場内工事の施工時期の調整が困難となる。											
理由:作付品目によって営農期間が異なるため。											
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
12-1-1-1	農地耕作条件改善事業分担金			0	498,685	14 工事請負費	0	9,973,700			
15-2-4-1	農地耕作条件改善事業補助金			0	7,480,275						
21-1-3-1	農地耕作条件改善事業債(一般補助施設等整備事業)			0	1,700,000						
	一般財源			0	294,740						
計				0	9,973,700	計	0	9,973,700			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		集積を促進することで農業競争力強化・高収益作物への転換を図ることができる。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		農業用施設の適切な維持管理と未整備箇所の計画的な整備を進め、農作業のさらなる効率化と営農コストの削減につなげる。								
	解決すべき課題への方策		多様な地元要望に対応できるよう、未整備箇所における課題の整理及び関係機関との調整を進めるとともに、必要な基盤整備を実施し、計画的な事業推進に努める。								

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	9	農地費	会計名	一般会計
事業名		2-3	農業水路等長寿命化・防災減災事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	改善が必要な農業用水路	総合計画における位置づけ							
			②活力があり、受け継がれる農林業の推進							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)							
	意図 (対象をどうするか)	補修工事による長寿命化を支援する。	根拠法令・要綱等							
			名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業実施要領(国)						
			URL	https://www.maff.go.jp/j/nousin/nn_youkou/attach/pdf/youkou-596.pdf						
			名称	鳥取県土地改良事業補助金交付要綱						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	計画的な補修により維持管理労力の軽減と将来にわたってその機能を安定的に発揮させる。	URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1127121/tochikairyou.pdf						
			URL							
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由		
		27,187,600 円	21,557,000 円	△ 5,630,600 円	△ 20.7 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		30,000 千円	63,772 千円	33,772 千円	112.6 %					
				本年度執行率		33.8 %				
【事業内容】										
1)事業対象(総事業費200万円以上)										
・きめ細やかな長寿命化対策										
農業水利施設の老朽化にきめ細やかに対応して長寿命化を図るほか、水管理や維持管理の省力化に資する取組を支援する。										
・機動的な防災減災対策										
農業水利施設の機能低下により、災害のおそれが生じている箇所において、その機能を回復するとともに、被害の発生を未然に防ぐための取組や、事故の防止などリスク管理に資する取組を支援する。										
2)補助率										
国50%、県22.5%、町22.5%、地元5%(事業費から委託料を除いた金額が対象)										
○振興山村地域の場合は、国55%、県20%、町20%、地元5%										
【決算の状況】										
(計画)及び(実績)										
単位:円										
費目		予算額	決算額	備考						
工事費		63,772,000	21,557,000							
計		63,772,000	21,557,000	42,215,000円を令和8年度へ繰り越す。						
<事業内訳>										
単位:円										
地区名	R7予算額	R7実績額	R8繰越額	R7工事概要			備考			
掛相	23,732,700	15,517,700	8,215,000	角フリューム(300)L=383.6m			一部をR8へ繰越【R8.3.27完成、(株)カイセイ】			
阿賀	34,000,000	0	34,000,000	—			全額をR8へ繰越			
法勝寺	6,039,300	6,039,300	0	角フリューム(500)L=82.0m			全額をR7年度内に執行【R8.1.28完成、(有)会見設備】			
合計	63,772,000	21,557,000	42,215,000							
※阿賀地区では、大型フリュームの納入遅延により工事着手が遅れ、年度内完成が困難となったため、令和8年度へ繰り越した。掛相地区では、河川管理者との協議に不測の日数を要したことにより事業の進捗が遅れ、一部事業費を令和8年度へ繰り越した。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
12-1-1-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金		0	775,885	12 委託料	20,828,500	0			
15-2-4-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金		20,390,700	16,167,750	14 工事請負費	6,359,100	21,557,000			
21-1-3-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業債(一般補助施設等整備事業)		6,100,000	4,200,000						
	一般財源		696,900	413,365						
計			27,187,600	21,557,000	計	27,187,600	21,557,000			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		農業水利施設の適切な保全・長寿命化を推進することで、安定した営農環境の確保と農業の持続的な発展につながる。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	地域への丁寧な説明と合意形成を進めることで、事業の円滑かつ着実な推進を図る。								
	解決すべき課題への方策	計画的な補修を実施することで、維持管理に要する労力及び経費の軽減が図られる。								

事業名	2-3 農業水路等長寿命化・防災減災事業	所属名	建設課
(実績) (1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 農家の維持管理に要する労力及び経費の軽減につながった。 理由: 農業基盤の適切な改修により、施設の機能向上及び維持管理の効率化が図られたため。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 事業化を計画的に進める必要がある。 理由: 町財政への影響を踏まえ、事業の優先順位を勘案しながら整備を進める必要があるため。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 事業を推進し、今年度内に工事を完成することができた。 理由: 地元要望を踏まえた協議・調整を重ね、関係者との合意形成を図りながら事業を進めたため。 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 阿賀地区では工事の年度内完成が困難となり、令和8年度への繰越工事となった。 理由: 大型フリュームの納入が大幅に遅れたことにより、工事着手が遅延したため。			
令和7年度農業水路等長寿命化・防災減災事業実施箇所一覧図			

《掛相地区》
着手前



完成



《法勝寺地区》
着手前



完成



《阿賀地区》

阿賀地区における整備内容（農業用水路）

現 状



素掘り水路のため、豪雨等が原因で土砂堆積による水路機能の低下が度々生じている。

整備後（イメージ）



素掘り水路からフリームへ改修することで、水路機能及び農地の維持を図る。

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	9	農地費	会計名	一般会計																																																																																								
事業名		2-3	農業水路等長寿命化・防災減災事業(繰越)						所属名	建設課																																																																																								
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	改善が必要な農業用水路					総合計画における位置づけ																																																																																											
							②活力があり、受け継がれる農林業の推進																																																																																											
							「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																											
							④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)																																																																																											
	意図 (対象をどうするか)	補修工事による長寿命化を支援する。					根拠法令・要綱等																																																																																											
							名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業実施要領(国)																																																																																										
							URL	https://www.maff.go.jp/j/nousin/nn_youkou/attach/pdf/youkou-596.pdf																																																																																										
							名称	鳥取県土地改良事業補助金交付要綱																																																																																										
	成果の視点 (どのような効果があるか)	計画的な補修により維持管理労力の軽減と将来にわたってその機能を安定的に発揮させる。					URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1127121/tochikairyou.pdf																																																																																										
							名称																																																																																											
URL																																																																																																		
決算増減の理由							執行率の理由																																																																																											
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		新規事業のため	非該当																																																																																								
	0 円		2,812,400 円		2,812,400 円		皆 増 %																																																																																											
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減																																																																																											
	0 千円		2,813 千円		2,813 千円		皆 増 %																																																																																											
						本年度執行率		100.0 %																																																																																										
【事業内容】 1)事業対象(総事業費200万円以上) - きめ細やかな長寿命化対策 農業水利施設の老朽化にきめ細やかに対応して長寿命化を図るほか、水管理や維持管理の省力化に資する取組を支援する。 - 機動的な防災減災対策 農業水利施設の機能低下により、災害のおそれが生じている箇所において、その機能を回復するとともに、被害の発生を未然に防ぐための取組や、事故の防止などリスク管理に資する取組を支援する。 2)補助率 国50%、県22.5%、町22.5%、地元5%(事業費から委託料を除いた金額が対象) ○振興山村地域の場合は、国55%、県20%、町20%、地元5% 【決算の状況】 (計画)及び(実績) <table><thead><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事費</td><td>2,812,400</td><td>2,812,400</td><td>施工延長 L=28m【R8.1.28完成、(有)会見設備】</td></tr><tr><td>計</td><td>2,812,400</td><td>2,812,400</td><td></td></tr></tbody></table> 工事内容 法勝寺地区の水路において、複数箇所で漏水が生じているため改修工事を実施した。 (歳入内訳 単位:円) <table><thead><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr></thead><tbody><tr><td>12-1-1-1</td><td>農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金</td><td>0</td><td>458,575</td></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金</td><td>0</td><td>2,109,300</td></tr><tr><td>21-1-3-1</td><td>農業水路等長寿命化・防災減災事業債(一般補助施設等整備事業)</td><td>0</td><td>200,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>44,525</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>0</td><td>2,812,400</td></tr></tbody></table> (歳出内訳 単位:円) <table><thead><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr></thead><tbody><tr><td>14</td><td>工事請負費</td><td>0</td><td>2,812,400</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>0</td><td>2,812,400</td></tr></tbody></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>農業水利施設の適切な保全・長寿命化を推進することで、安定した営農環境の確保と農業の持続的な発展につながる。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td>地域への丁寧な説明と合意形成を進めることで、事業の円滑かつ着実な推進を図る。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>計画的な補修を実施することで、維持管理に要する労力及び経費の軽減が図られる。</td></tr></table>											費目	予算額	決算額	備考	工事費	2,812,400	2,812,400	施工延長 L=28m【R8.1.28完成、(有)会見設備】	計	2,812,400	2,812,400		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	12-1-1-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金	0	458,575	15-2-4-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金	0	2,109,300	21-1-3-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業債(一般補助施設等整備事業)	0	200,000														一般財源	0	44,525		計	0	2,812,400	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	14	工事請負費	0	2,812,400																						計	0	2,812,400	①今後の事業全体の方向性とその内容	農業水利施設の適切な保全・長寿命化を推進することで、安定した営農環境の確保と農業の持続的な発展につながる。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成出来た点をさらに伸ばす方策	地域への丁寧な説明と合意形成を進めることで、事業の円滑かつ着実な推進を図る。	解決すべき課題への方策	計画的な補修を実施することで、維持管理に要する労力及び経費の軽減が図られる。
費目	予算額	決算額	備考																																																																																															
工事費	2,812,400	2,812,400	施工延長 L=28m【R8.1.28完成、(有)会見設備】																																																																																															
計	2,812,400	2,812,400																																																																																																
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																															
12-1-1-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金	0	458,575																																																																																															
15-2-4-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金	0	2,109,300																																																																																															
21-1-3-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業債(一般補助施設等整備事業)	0	200,000																																																																																															
	一般財源	0	44,525																																																																																															
	計	0	2,812,400																																																																																															
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																															
14	工事請負費	0	2,812,400																																																																																															
	計	0	2,812,400																																																																																															
①今後の事業全体の方向性とその内容	農業水利施設の適切な保全・長寿命化を推進することで、安定した営農環境の確保と農業の持続的な発展につながる。																																																																																																	
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																		
達成出来た点をさらに伸ばす方策	地域への丁寧な説明と合意形成を進めることで、事業の円滑かつ着実な推進を図る。																																																																																																	
解決すべき課題への方策	計画的な補修を実施することで、維持管理に要する労力及び経費の軽減が図られる。																																																																																																	

事業名	2-3 農業水路等長寿命化・防災減災事業(繰越)	所属名	建設課
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:農家の維持管理に要する労力及び経費の軽減につながった。 理由:農業基盤の適切な改修により、施設の機能向上及び維持管理の効率化が図られたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:事業化を計画的に進める必要がある。 理由:町財政への影響を踏まえ、事業の優先順位を勘案しながら整備を進める必要があるため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:事業を推進し、今年度内に工事を完成することができた。 理由:地元要望を踏まえた協議・調整を重ね、関係者との合意形成を図りながら事業を進めたため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:町道沿いの水路工事の施工に当たり、地域住民への影響を低減するため、より一層の周知及び施工時期の調整に努める必要がある。 理由:工事に伴う通行規制等により、地域住民に不便をおかけしたため。			
令和7年度農業水路等長寿命化・防災減災事業実施箇所一覧図 			
着手前  完成 			

款	5	農林水産業費			項	1	農業費		目	9	農地費		会計名	一般会計	
事業名		2-4	県営農村地域防災減災事業(ため池整備、豪雨対策)									所属名	建設課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	防災受益24.5ha、人家17戸、県道、公共施設										総合計画における位置づけ			
												②活力があり、受け継がれる農林業の推進			
												「4つの挑戦」から見た位置づけ			
												④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)			
	意図 (対象をどうするか)	破堤被害から下流域の農地、人家、公共施設等を守る。										根拠法令・要綱等			
												名称	鳥取県県営土地改良事業分担金等徴収条例		
												URL	https://www1.g-reiki.net/tottori/reiki_honbun/k500RG00000633.html		
												名称			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地震、豪雨により想定されるすべり・溢水による破堤被害を未然に防止するとともに、日常のため池管理労力を軽減する。										URL			
												名称			
URL															
名称															
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由 今年度からマキデン池が追加され、青木池と二石池の本工事が開始されたため。			執行率の理由 非該当						
		2,285,018 円	24,448,923 円	22,163,905 円	970.0 %										
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減										
		11,440 千円	32,302 千円	20,862 千円	182.4 %										
						本年度執行率		75.7 %							

【事業内容】

農村地域防災減災事業(ため池整備事業 豪雨・地震対策)は土砂災害を含めた豪雨及び地震に対するため池の構造的安定性の確保を目的に事業を実施する。
事業要件:総事業費3,000万円以上 負担区分:国55%、県34%、町11%、地元なし
対象地区:掛相地区(掛相大池、二石池)、浅井地区(青木池)、マキデン池(東町地区)

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

費目	予算額(円)	決算額(円)	備考
負担金補助及び交付金	32,301,500	24,448,923	掛相大池、二石池、青木池、マキデン池
計	32,301,500	24,448,923	7,852,577円を令和8年度へ繰り越す。

<事業内訳>

ため池名称	事業内容	事業費	負担区分		
			国費	県費	町費
掛相大池・二石池	二石池改修工事、工事用道路	44,418,685	24,430,276	15,102,354	4,886,055
青木池	青木池改修工事、登記補助業務、立木補償、電柱移転補償、借地料	156,966,255	86,331,440	53,368,527	17,266,288
マキデン池	実施設計	20,878,000	11,482,900	7,098,520	2,296,580
合計		222,262,940	122,244,616	75,569,401	24,448,923

※掛相地区の仮設道路の借地予定地において関係者所在不明地が確認され、借地契約の相手方の特定に不測の日数を要したことから仮設計画の見直しが必要となり、年度内の工事完了が困難となったため、一部事業費7,852,577円を令和8年度へ繰り越す。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
21-1-3-1	農村地域防災減災事業債(公共事業等債)	2,000,000	22,000,000	18 負担金補助及び交付金	2,285,018	24,448,923
	一般財源	285,018	2,448,923			
	計	2,285,018	24,448,923	計	2,285,018	24,448,923

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	地震や豪雨に対する構造的安定性を確保のため、鳥取県地域防災計画の重要ため池の内、H25に県が行ったため池一斉点検で評価値が低く、決壊のリスクが高いため池を順位付けて改修する。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成出来た点をさらに伸ばす方策	平成30年7月豪雨により多くのため池が決壊し甚大な被害が生じたことで、農林水産省が防災重要ため池の選定の見直しを検討している。町内のため池の緊急点検をおこなった上で防災重要ため池ついて再選定を行い、施設機能の適切な維持、補強等の対策を検討する。
解決すべき課題への方策	決壊した場合の影響度の大きなため池から、ため池ハザードマップ作成を依頼し、施設機能の適切な維持、補強に向けて対策を検討して、ため池の安全性確保を図る。

事業名	2-4 県営農村地域防災減災事業(ため池整備、豪雨対策)	所属名	建設課
(実績) (1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 漏水が確認された青木池の改良工事が完成し、地域の安全・安心な生活環境の維持につながった。 理由: 漏水対策を実施し、ため池の安全性及び機能の向上が図られたため。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 堆積土の撤去等について、地元要望どおりの実施に至らなかった。 理由: 地元要望を踏まえて検討を行ったものの、事業の性質や制度上の制約があったため。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 地元の意向を踏まえた事業の円滑な推進を図ることができた。 理由: 各池における地元説明会を通じて地元の意向を把握し、県と地元との連絡調整を行ったため。 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 掛相地区で事業の進捗に遅れが生じた。 理由: 仮設道路の設置に当たり、借地予定地に所有者不明地が存在し、計画変更が必要となったため。 ● 掛相大池・二石池(掛相地区)  ● マキデン池(東町地区)  ● 青木池(浅井地区)  (着手前)  (完成) 			

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	9	農地費	会計名	一般会計
事業名		2-4	県営農村地域防災減災事業(ため池整備、豪雨対策)(繰越)						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	防災受益24.5ha、人家17戸、県道、公共施設	総合計画における位置づけ							
			②活力があり、受け継がれる農林業の推進							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)							
	意図 (対象をどうするか)	破堤被害から下流域の農地、人家、公共施設等を守る。	根拠法令・要綱等							
			名称	鳥取県県営土地改良事業分担金等徴収条例						
			URL	https://www1.g-reiki.net/tottori/reiki_honbun/k500RG00000633.html						
			名称							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地震、豪雨により想定されるすべり・溢水による破堤被害を未然に防止するとともに、日常のため池管理労力を軽減する。	URL							
決算増減の理由				執行率の理由						
新規事業のため				非該当						
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率					100.0 %
	0 円	9,154,980 円	9,154,980 円	皆 増 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	0 千円	9,155 千円	9,155 千円	皆 増 %						

【事業内容】
農村地域防災減災事業(ため池整備事業 豪雨・地震対策)は土砂災害を含めた豪雨及び地震に対するため池の構造的安定性の確保を目的に事業を実施する。
事業要件:総事業費3,000万円以上 負担区分:国55%、県34%、町11%、地元なし
対象地区:掛相地区(掛相大池、二石池)、浅井地区(青木池)、マキデン池(東町地区)

【決算の状況】
(計画)及び(実績)

費目	予算額(円)	決算額(円)	備考
負担金補助及び交付金	9,154,982	9,154,980	掛相大池、二石池、青木池
計	9,154,982	9,154,980	

<事業内訳>

ため池名称	事業内容	事業費	負担区分		
			国費	県費	町費
掛相大池・二石池	二石池改修工事、工事用道路	79,707,205	43,838,962	27,100,452	8,767,791
青木池	用地買収、電柱移転補償	3,519,900	1,935,945	1,196,766	387,189
合計		83,227,105	45,774,907	28,297,218	9,154,980

(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
21-1-3-1	農村地域防災減災事業債(公共事業等債)	0	8,200,000	18 負担金補助及び交付金	0	9,154,980
	一般財源	0	954,980			
	計	0	9,154,980	計	0	9,154,980

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	地震や豪雨に対する構造的安定性を確保のため、鳥取県地域防災計画の重要ため池の内、H25に県が行ったため池一斉点検で評価値が低く、決壊のリスクが高いため池を順位付けて改修する。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成出来た点をさらに伸ばす方策	平成30年7月豪雨により多くのため池が決壊し甚大な被害が生じたことで、農林水産省が防災重要ため池の選定の見直しを検討している。町内のため池の緊急点検をおこなった上で防災重要ため池について再選定を行い、施設機能の適切な維持、補強等の対策を検討する。
解決すべき課題への方策	決壊した場合の影響度の大きなため池から、ため池ハザードマップ作成を依頼し、施設機能の適切な維持、補強に向けて対策を検討して、ため池の安全性確保を図る。

事業名	2-4	県営農村地域防災減災事業(ため池整備、豪雨対策)(繰越)	所属名	建設課
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:漏水が確認されていた青木池の改良工事が完成し、地域の安全・安心な生活環境の維持につながった。 理由:漏水対策を実施し、ため池の安全性及び機能の向上が図られたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:堆積土の撤去等について、地元要望どおりの実施に至らなかった。 理由:地元要望を踏まえて検討を行ったものの、事業の性質や制度上の制約があったため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:地元の意向を踏まえた事業の円滑な推進を図ることができた。 理由:各池における地元説明会を通じて地元の意向を把握し、県と地元との連絡調整を行ったため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:掛相地区で事業の進捗に遅れが生じた。 理由:仮設道路の設置に当たり、借地予定地に所有者不明地が存在し、計画変更が必要となったため。 ●掛相大池・二石池(掛相地区)  ●青木池(浅井地区)  (着手前)  (完成) 				

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	10	地籍調査費	会計名	一般会計
事業名		1	地籍調査事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	土地所有者、土地の境界	総合計画における位置づけ							
			①インフラを整え、安心を支える							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			③環境に挑戦(環境と共生のまち)							
			根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	正確な地図を作成し、土地利用を適正にする。	名称	国土調査法						
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/326AC0000000180						
			名称							
			URL							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	明確な地図を法務局に送付し、登録簿を書き改める。	名称							
URL										
決算増減の理由				執行率の理由						
非該当				非該当						
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率					95.7 %
	17,702,871 円	16,379,554 円	△ 1,323,317 円	△ 7.5 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	18,984 千円	17,109 千円	△ 1,875 千円	△ 9.9 %						

【事業内容】

地籍調査は、法務局に登録されている公図(地図)と土地登記簿に基づいてそれぞれの土地の所有者・地番・地目・境界を確認し、それらの土地を測量し、より正確な地籍図と地籍簿を作成する。

地籍調査の工程

町単独… A工程(事業計画・事務手続)、B工程(事業準備)、H工程(H2:閲覧)

補助… C工程(地籍図根三角測量)、D工程(地籍図根多角測量)

E工程(E1:地籍図素図等作成、E2:現地調査)

F工程(FⅠ:地籍細部測量、FⅡ-1:一筆地測量、FⅡ-2:原図作成等)

G工程(面積測定)、H工程(H1:地籍簿案作成等、H3:申し出に係る修正)

地籍調査事業の補助率

国50%、県25%、町25%

【決算の状況】

(計画)及び(実績)

新・継	調査区域(単位区域)	計画面積	実施面積
継	天萬の一部(2202)	0.18km ²	0.18km ²

測量、現地調査(C,E2工程)

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-4-1	地籍調査補助金	8,808,000	8,779,500	7 報償費	374,420	437,000
				10 需用費	1,462,759	1,502,994
				11 役務費	139,932	110,800
				12 委託料	14,458,400	13,070,200
				13 使用料及び賃借料	1,210,560	1,210,560
				18 負担金補助及び交付金	48,000	48,000
				26 公課費	8,800	0
	一般財源	8,894,871	7,600,054			
	計	17,702,871	16,379,554	計	17,702,871	16,379,554

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	地籍調査10か年計画に基づき計画的に事業を推進し、土地境界の明確化と適正な土地管理の推進を図る。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成出来た点をさらに伸ばす方策	関係者との連絡調整や工程管理を引き続き適切に行い、計画的かつ効率的な調査実施に努める。
解決すべき課題への方策	人員及び予算の確保に努めるとともに、調査手法や実施体制の見直しを進め、事業全体の進捗向上を図る。

事業名	1	地籍調査事業	所属名	建設課
-----	---	--------	-----	-----

単位:円			
費目	予算額	決算額	主な内容
報償費	726,000	437,000	推進委員報償費(@8,740円×50日分)
需用費			
消耗品費	1,238,000	1,219,199	境界杭
燃料費	165,223	116,018	
備品修繕費	167,777	167,777	車検代
役務費			
通信運搬費	132,000	76,546	郵便代
手数料	3,000	0	
自動車保険料	47,000	28,630	自動車保険
その他保険料	7,000	5,624	立会人傷害保険
委託料	13,330,000	13,070,200	地籍調査業務(西谷技術コンサルタント(株))3/12完了
使用料及び賃借料	1,211,000	1,210,560	地籍システムリース
負担金補助及び交付金	73,000	48,000	国土調査推進協議会
公課費	9,000	0	
計	17,109,000	16,379,554	

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由

実績:天萬の一部(2202)について現地調査を実施し、地籍調査実施面積を40.03km²とし進捗率35.96%とした。

理由:年間計画に基づき調査工程を管理し、予定どおり調査を実施することができたため。

調査対象 面積	R5末		R6末		R7末	
	実施面積	進捗率	実施面積	進捗率	実施面積	進捗率
111.31km ²	39.73km ²	0.3569	39.85km ²	35.80%	40.03km ²	35.96%

②達成出来なかったこと(問題)とその理由

問題:調査の進捗率が低調であり、残る調査区域について効率的かつ計画的な実施が必要である。

理由:調査対象面積が広く、近年の年間進捗率が低い状況にあるため。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由

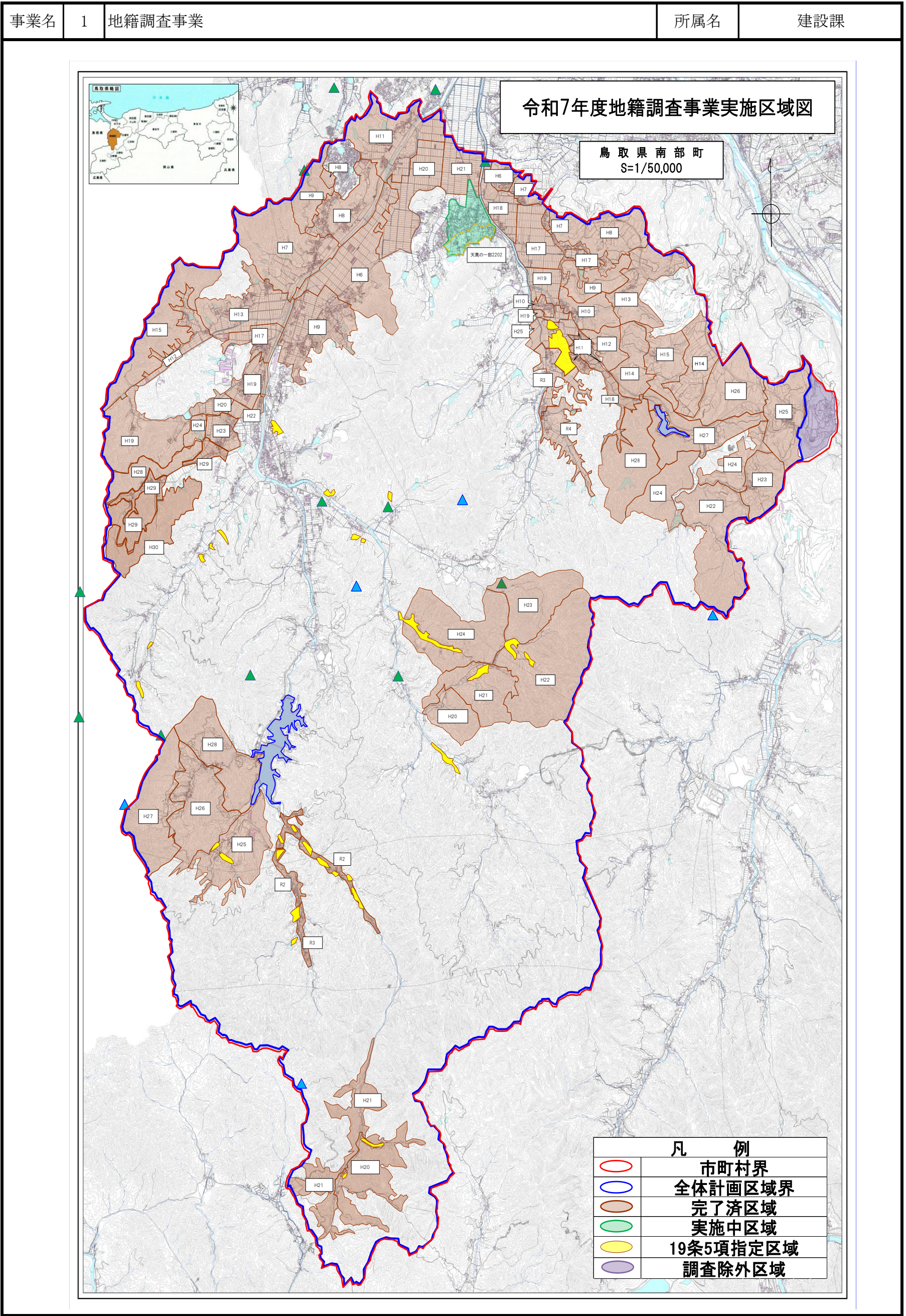
実績:天萬地区3か年調査の2年目工区について調査を実施し、関係者立会いにより境界確認を行い、境界の明確化を図った。

理由:関係者との綿密な連絡調整及び現地確認を実施した結果、円滑に調査を進めることができたため。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由

問題:地権者との日程調整や境界確認に時間を要する場合があった。

理由:地権者の高齢化や不在地主の増加により、立会い調整が難しくなっているため。



款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名		9	広域基幹林道事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	林道行者山線	総合計画における位置づけ							
			②活力があり、受け継がれる農林業の推進							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)							
	意図 (対象をどうするか)	計画路線の整備	根拠法令・要綱等							
			名称	森林法施行令						
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/326C00000000276/						
			名称							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	安定的な森林経営の確立ができる	URL							
			名称							
URL										
決算増減の理由			執行率の理由							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		17.8 %			
	3,666,750 円	1,199,137 円	△ 2,467,613 円	△ 67.3 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	7,716 千円	6,750 千円	△ 966 千円	△ 12.5 %						

【事業内容】

・県営林道工事に伴う事業費負担(工事費等の7.5%)
森林基幹道行者山線…計画延長L=20,500m、完成予定:令和14年
(計画延長のうち、11,445mはH28.8に町へ移管済)

・林道開設工事に伴う用地購入費(県補助金1/3)

開設延長及び進捗率		・計画延長		20.50 km
年度	開設延長(km)	延長(km)	進捗率(%)	
26	13.94	0.00	68.0	
27	14.39	0.45	70.2	
28	14.74	0.35	71.9	
29	15.01	0.27	73.2	
30	15.24	0.23	74.3	
R1	15.49	0.25	75.6	
R2	15.49	0.00	75.6	
R3	15.99	0.50	78.0	
R4	16.20	0.21	79.0	
R5	16.20	0.00	79.0	
R6	16.20	0.00	79.0	
R7	16.20	0.00	79.0	

・完成延長は舗装延長にて計上している。

【決算の状況】

(計画)

・県営事業負担金 道路工 赤谷工区L=100.8m

負担金補助及び交付金 3,090千円

・林道用地事業 実施なし

(実績)

赤谷工区 L=100.8m

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由
実績:赤谷工区、大木屋工区で予定の工事完了。
理由:必要な予算を確保するとともに、関係機関と連携しながら事業を実施したため。

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
問題:早期の全線開通には至っていない。
理由:急峻な地形や施工条件の厳しい箇所があり、事業進捗に時間を要しているため。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由
実績:工事実施に必要な用地取得について、県と連携しながら地権者との協議を進めた。
理由:事業推進に必要な用地確保を図るため。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
問題:一部区間において工事施工に時間を要している。
理由:急峻な地形や現場条件に応じた施工方法の検討及び安全対策が必要となるため。

(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)			
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
21-1-3-2	広域基幹林道整備事業債(公共事業等債)	3,300,000	1,100,000	10 需用費	0	0	
				16 公有財産購入費	0	0	
				18 負担金補助及び交付金	3,666,750	1,199,137	
	一般財源	366,750	99,137				
	計	3,666,750	1,199,137	計	3,666,750	1,199,137	

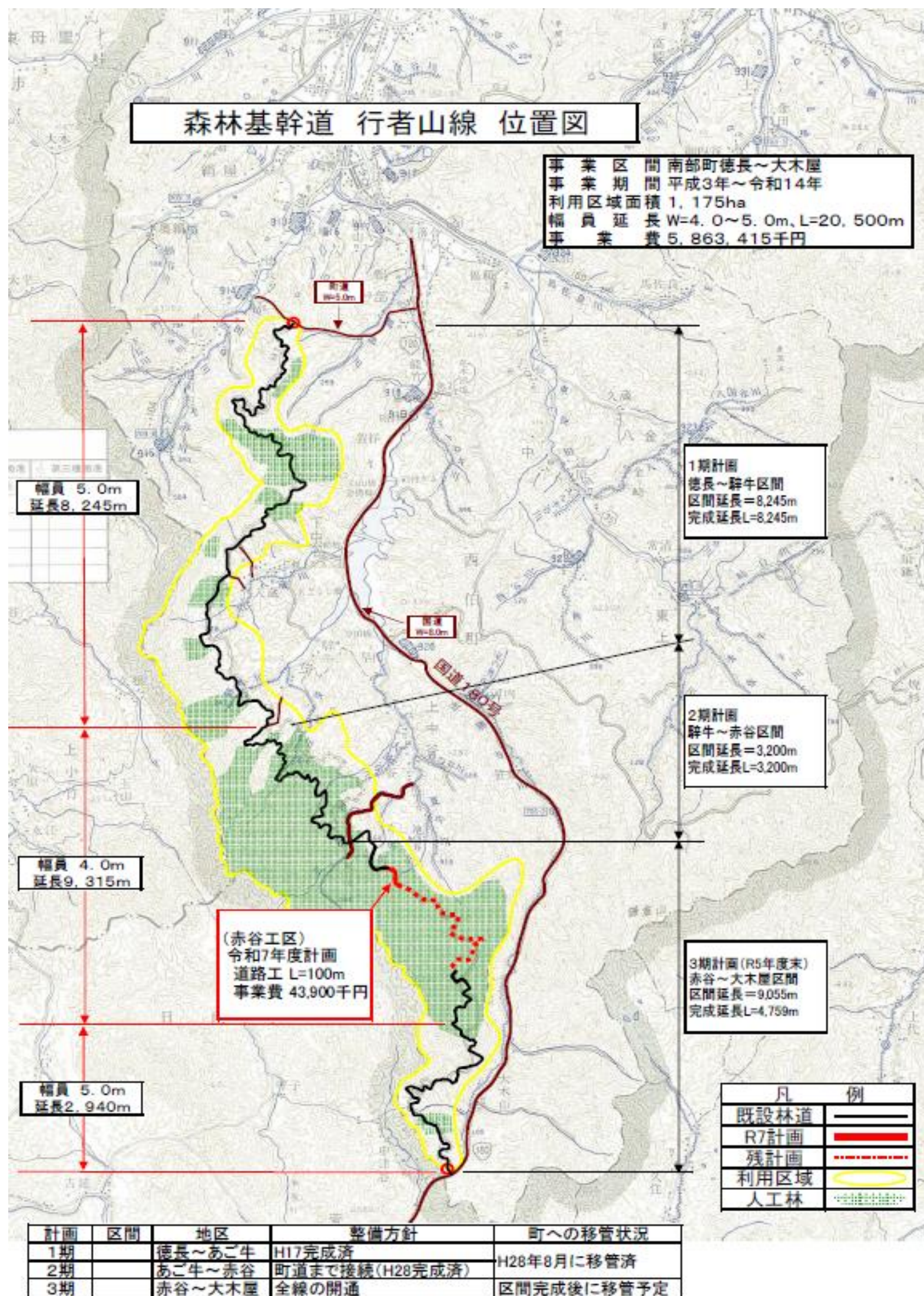
今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

林道行者山線の開設事業が早期に完了し、森林施業の推進が図れるように努める。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成出来た点をさらに伸ばす方策	用地取得を計画通りに行い事業の推進を図る。
解決すべき課題への方策	早期開通に向けて県へ働きかけを行う。



款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名		9	広域基幹林道事業(繰越)						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	林道行者山線	総合計画における位置づけ							
			②活力があり、受け継がれる農林業の推進							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			③環境に挑戦(環境と共生のまち)							
	根拠法令・要綱等									
	意図 (対象をどうするか)	森林を適正に管理するための基盤整備	名称	森林法施行令						
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/326C00000000276/						
			名称							
			URL							
	成果の視点 (どのような効果があるか)	安定的な森林経営の確立ができる	名称							
URL										
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由		
		2,310,600 円	3,083,250 円	772,650 円	33.4 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減	本年度執行率	100.0 %			
		4,273 千円	3,084 千円	△ 1,189 千円	△ 27.8 %					

【事業内容】

・県営林道工事に伴う事業費負担(工事費等の7.5%)
森林基幹道行者山線…計画延長L=20,500m、完成予定:令和14年
(計画延長のうち、11,445mはH28.8に町へ移管済)

・林道開設工事に伴う用地購入費(県補助金1/3)

開設延長及び進捗率

・計画延長 20.50 km

年度	開設延長(km)	延長(km)	進捗率(%)
26	13.94	0.00	68.0
27	14.39	0.45	70.2
28	14.74	0.35	71.9
29	15.01	0.27	73.2
30	15.24	0.23	74.3
R1	15.49	0.25	75.6
R2	15.49	0.00	75.6
R3	15.99	0.50	78.0
R4	16.20	0.21	79.0
R5	16.20	0.00	79.0
R6	16.20	0.00	79.0
R7	16.20	0.00	79.0

完成延長は舗装延長にて計上している。

(実績)

施工延長 R6～R7 赤谷工区 L=121m
大木屋工区 L=68.2m

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由
実績:赤谷工区、大木屋工区で予定の工事完了。
理由:必要な予算を確保するとともに、関係機関と連携しながら事業を実施したため。

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
問題:早期の全線開通には至っていない。
理由:急峻な地形や施工条件の厳しい箇所があり、事業進捗に時間を要しているため。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由
実績:工事実施に必要な用地取得について、県と連携しながら地権者との協議を進めた。
理由:事業推進に必要な用地確保を図るため。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
問題:一部区間において工事施工に時間を要している。

理由:急峻な地形や現場条件に応じた施工方法の検討及び安全対策が必要となるため。

【決算の状況】

(計画)

・県営事業負担金 道路工 赤谷工区L=121m
大木屋工区L=68.2m

・林道用地事業 実施なし

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
21-1-3-2	広域基幹林道整備事業債(公共事業等債)	2,000,000	2,700,000	18 負担金補助及び交付金	2,310,600	3,083,250
	一般財源	310,600	383,250			
	計	2,310,600	3,083,250	計	2,310,600	3,083,250

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

林道行者山線の開設事業が早期に完了し、森林施業の推進が図れるように努める。

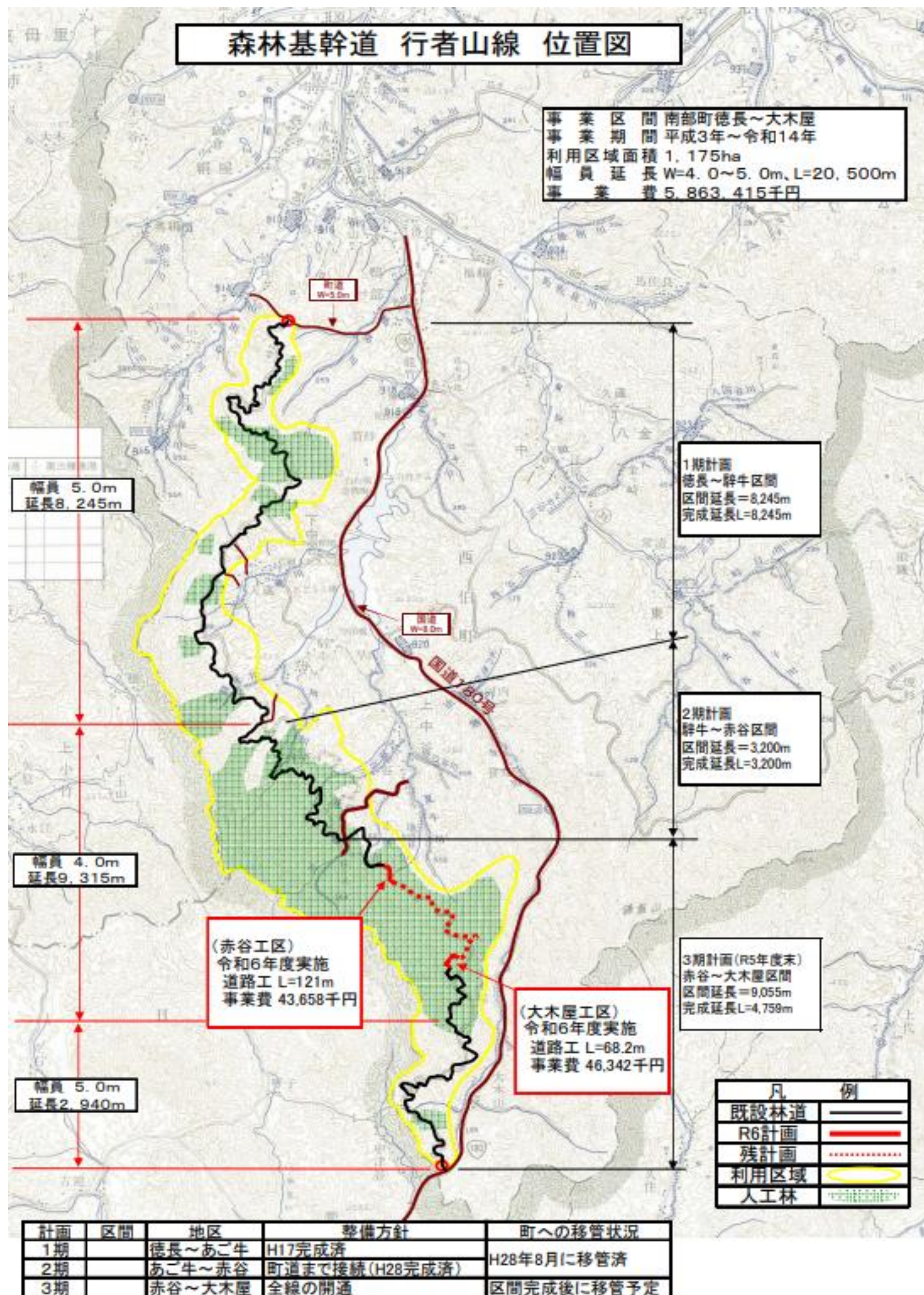
②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成出来た点をさらに伸ばす方策

用地取得を計画通りに行い事業の推進を図る。

解決すべき課題への方策

早期開通に向けて県へ働きかけを行う。



款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計																																																																																																											
事業名		11	林道管理事業						所属名	建設課																																																																																																											
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	森林施業者	総合計画における位置づけ ⑪インフラを整え、安心を支える 「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち) 根拠法令・要綱等																																																																																																																		
	意図 (対象をどうするか)	森林を適正に管理することができる	名称 森林法施行令 URL https://laws.e-gov.go.jp/law/326CO0000000276 名称 URL 名称 URL																																																																																																																		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	安定的な森林経営ができ、森林環境の保全にもつながる	決算増減の理由 除草延長が増加したため 執行率の理由 非該当																																																																																																																		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		99.7 %																																																																																																														
	1,554,740 円	3,790,325 円	2,235,585 円	143.8 %																																																																																																																	
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																																																																	
	1,600 千円	3,800 千円	2,200 千円	137.5 %																																																																																																																	
【事業内容】 森林の整備・保全に必要な林道の維持管理を行う。 管理林道 38路線、総延長L=56,335m 【決算の状況】 (計画) 林道鎌倉山線ほか修繕工事 災害応急対応 1箇所、側溝清掃6箇所、倒木撤去3本、路肩除草26.5km (実績) <table><tr><td>修繕路線・内容</td><td>数量</td><td>金額</td></tr><tr><td>林道行者山線維持除草(1期工)</td><td>11km</td><td>935,825</td></tr><tr><td>林道鎌倉山線法面崩壊箇所修繕</td><td>1箇所</td><td>89,100</td></tr><tr><td>林道行者山線維持除草(2期工)</td><td>11km</td><td>1,477,300</td></tr><tr><td>林道鎌倉山線堆積土砂撤去</td><td>1箇所</td><td>154,000</td></tr><tr><td>鎌倉山線維持除草</td><td>6km</td><td>943,800</td></tr><tr><td>林道行者山線支障木撤去</td><td>11km</td><td>190,300</td></tr><tr><td></td><td></td><td>3,790,325</td></tr></table> (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:除草及び支障木撤去等を実施し、林道利用者の安全な通行環境を確保した。 理由:通行の支障となる草木の除去を実施し、林道機能の維持を図ったため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:継続的な維持管理が必要な箇所が存在している。 理由:植生の繁茂により、毎年維持管理需要が発生するため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:除草、支障木撤去及び土砂撤去等を実施し、林道機能の維持を図った。 理由:林道の安全な利用環境を確保するため、計画的な維持管理を実施したため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:限られた予算の中で優先順位を付けた維持管理が必要である。 理由:管理延長が長く、全ての要望に即時対応することが難しいため。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>14 工事請負費</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td><td>計</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>14 工事請負費</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td><td>計</td><td>1,554,740</td><td>3,790,325</td></tr></table>										修繕路線・内容	数量	金額	林道行者山線維持除草(1期工)	11km	935,825	林道鎌倉山線法面崩壊箇所修繕	1箇所	89,100	林道行者山線維持除草(2期工)	11km	1,477,300	林道鎌倉山線堆積土砂撤去	1箇所	154,000	鎌倉山線維持除草	6km	943,800	林道行者山線支障木撤去	11km	190,300			3,790,325	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					14 工事請負費	1,554,740	3,790,325																一般財源	1,554,740	3,790,325					計	1,554,740	3,790,325	計	1,554,740	3,790,325	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					14 工事請負費	1,554,740	3,790,325																一般財源	1,554,740	3,790,325					計	1,554,740	3,790,325	計	1,554,740	3,790,325
修繕路線・内容	数量	金額																																																																																																																			
林道行者山線維持除草(1期工)	11km	935,825																																																																																																																			
林道鎌倉山線法面崩壊箇所修繕	1箇所	89,100																																																																																																																			
林道行者山線維持除草(2期工)	11km	1,477,300																																																																																																																			
林道鎌倉山線堆積土砂撤去	1箇所	154,000																																																																																																																			
鎌倉山線維持除草	6km	943,800																																																																																																																			
林道行者山線支障木撤去	11km	190,300																																																																																																																			
		3,790,325																																																																																																																			
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																															
				14 工事請負費	1,554,740	3,790,325																																																																																																															
	一般財源	1,554,740	3,790,325																																																																																																																		
	計	1,554,740	3,790,325	計	1,554,740	3,790,325																																																																																																															
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																															
				14 工事請負費	1,554,740	3,790,325																																																																																																															
	一般財源	1,554,740	3,790,325																																																																																																																		
	計	1,554,740	3,790,325	計	1,554,740	3,790,325																																																																																																															
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		林道利用者の安全確保及び森林整備に必要な通行機能を維持するため、計画的な維持管理及び修繕を継続して実施する。																																																																																																																		
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																				
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		林道パトロールを継続し、早期の異常発見と迅速な対応により、適正な林道管理に努める。																																																																																																																		
	解決すべき課題への方策		限られた予算の中で損傷状況を的確に把握し、優先順位を整理しながら計画的な修繕を進める。																																																																																																																		

款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	会計名	一般会計																																																													
事業名		1	防災・安全交付金事業						所属名	建設課																																																													
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	1)町道江原八金馬佐良線ほか5路線(法面对策工) 2)町道ニュータウン・境線ほか6路線(側溝工)						総合計画における位置づけ																																																															
								⑪インフラを整え、安心を支える																																																															
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																															
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)																																																															
	意図 (対象をどうするか)	1)落石等の危険のある道路法面对策 2)道路側溝の断面不足改善及び勾配改良						根拠法令・要綱等																																																															
								名称	道路法																																																														
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC1000000180																																																														
								名称	国土交通省所管補助金等交付規則																																																														
	成果の視点 (どのような効果があるか)	1)対策工事实施による安心安全の確保 2)道路表面排水を迅速に処理による安全で快適な道路環境の確保						URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/412M50004002009																																																														
								名称																																																															
URL																																																																							
決算増減の理由								執行率の理由																																																															
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	88.0 %																																																												
		49,506,600 円		48,910,400 円		△ 596,200 円		△ 1.2 %																																																															
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減																																																															
		50,000 千円		55,550 千円		5,550 千円		11.1 %																																																															
【事業内容】																																																																							
1) 町道江原八金馬佐良線ほか5路線(法面对策工) 平成26, 27年度に実施した定期点検(法面・斜面)により、落石や崩落等により対策が必要な箇所が6路線で9箇所あることが判明した。このため、計画的に対策工事を行い、通行の安全を確保する。																																																																							
●全体計画 N=9箇所(6路線) 対象路線 単位:m																																																																							
測量設計費 40,000 千円				本工事費 165,000 千円		用地購入費 600 千円		立木補償費 500 千円																																																															
計 206,100 千円																																																																							
<table><tr><td></td><td>路線名</td><td>地区</td><td>延長</td><td>計画年度</td><td>備考</td></tr><tr><td>1</td><td>江原八金馬佐良線</td><td>金ヶ崎</td><td>85</td><td>R8～R9</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>広域農道線</td><td>法勝寺</td><td>20</td><td>R元～R2</td><td>R2済</td></tr><tr><td>3</td><td>笹畑線</td><td>笹畑</td><td>7</td><td>R6～R7</td><td>R6繰済</td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td>45</td><td>R6～R7</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>奥山線</td><td>東上</td><td>80</td><td>R9～R10</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td></td><td></td><td>40</td><td>R4～R5</td><td>R5済</td></tr><tr><td>7</td><td>鎌倉線</td><td>東上</td><td>83</td><td>R3～R4</td><td>R4済</td></tr><tr><td>8</td><td></td><td></td><td>105</td><td>R4～R6</td><td>R5済</td></tr><tr><td>9</td><td>今長八子線</td><td>八金</td><td>34</td><td>R9～R10</td><td></td></tr></table>													路線名	地区	延長	計画年度	備考	1	江原八金馬佐良線	金ヶ崎	85	R8～R9		2	広域農道線	法勝寺	20	R元～R2	R2済	3	笹畑線	笹畑	7	R6～R7	R6繰済	4			45	R6～R7		5	奥山線	東上	80	R9～R10		6			40	R4～R5	R5済	7	鎌倉線	東上	83	R3～R4	R4済	8			105	R4～R6	R5済	9	今長八子線	八金	34	R9～R10	
	路線名	地区	延長	計画年度	備考																																																																		
1	江原八金馬佐良線	金ヶ崎	85	R8～R9																																																																			
2	広域農道線	法勝寺	20	R元～R2	R2済																																																																		
3	笹畑線	笹畑	7	R6～R7	R6繰済																																																																		
4			45	R6～R7																																																																			
5	奥山線	東上	80	R9～R10																																																																			
6			40	R4～R5	R5済																																																																		
7	鎌倉線	東上	83	R3～R4	R4済																																																																		
8			105	R4～R6	R5済																																																																		
9	今長八子線	八金	34	R9～R10																																																																			
2) 町道ニュータウン・境線ほか6路線(側溝工) 一級町道ニュータウン・境線ほか6路線は、東西町地区内を網羅する地域住民の生活道路である。改良計画区間は、地区内全域の道路側溝で、経年劣化による目地の破損や勾配不足による土砂体積等が長年にわたり見受けられる状況である。このため、既設道路側溝の断面不足と勾配不良を解消する整備を年次的に実施し、維持管理の負担軽減と安全・安心な通行を確保するものである。																																																																							
●全体計画 L=12,948m W=2.6～6.4(3.6～15.9)m 単位:千円																																																																							
測量設計費 51,251 千円				本工事費 1,000,000 千円		計 1,051,251 千円		●事業計画 単位:千円																																																															
<table><tr><td>費 目</td><td>事業費</td><td colspan="5">年度別計画</td></tr><tr><td></td><td></td><td>R5～R6</td><td>R7現</td><td>R8繰</td><td>R8現</td><td>R9以降</td></tr><tr><td>測量設計費</td><td>51,251</td><td>33,258</td><td>17,993</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>本工事費</td><td>1,000,000</td><td>33,277</td><td>30,918</td><td>6,632</td><td>20,000</td><td>909,173</td></tr><tr><td>計</td><td>1,051,251</td><td>66,535</td><td>48,911</td><td>6,632</td><td>20,000</td><td>909,173</td></tr></table>												費 目	事業費	年度別計画							R5～R6	R7現	R8繰	R8現	R9以降	測量設計費	51,251	33,258	17,993	0	0	0	本工事費	1,000,000	33,277	30,918	6,632	20,000	909,173	計	1,051,251	66,535	48,911	6,632	20,000	909,173																									
費 目	事業費	年度別計画																																																																					
		R5～R6	R7現	R8繰	R8現	R9以降																																																																	
測量設計費	51,251	33,258	17,993	0	0	0																																																																	
本工事費	1,000,000	33,277	30,918	6,632	20,000	909,173																																																																	
計	1,051,251	66,535	48,911	6,632	20,000	909,173																																																																	
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)																																																																							
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																
14-2-4-1	防災・安全交付金		25,625,000	24,676,000	12 委託料	16,229,400	17,992,700																																																																
21-1-4-1	道路整備事業債(公共事業等債)		22,600,000	21,800,000	14 工事請負費	33,277,200	30,917,700																																																																
	一般財源		1,281,600	2,434,400																																																																			
	計		49,506,600	48,910,400	計	49,506,600	48,910,400																																																																
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		1)法面对策工事を実施し、道路利用者の安全確保及び災害に強い道路環境の整備を図る。 2)計画的に側溝改修を実施し、道路排水機能の向上及び安全な通行環境の確保を図る。																																																																				
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																						
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		1)防災上優先度の高い路線から計画的に法面对策工事を実施する。 2)道路排水機能の向上を図るため、優先度の高い路線から計画的に側溝改修を実施する。																																																																				
	解決すべき課題への方策		1)東西町水路工事の進捗を踏まえながら、法面对策工事を実施する。 2)現地状況や事業効果を踏まえながら、効率的な施工方法及び事業執行について検討する。																																																																				

事業名	1	防災・安全交付金事業	所属名	建設課
-----	---	------------	-----	-----

【決算の状況】
(計画)

1) 町道江原八金馬佐良線ほか5路線
・法面对策工事 町道笹畑 N=1箇所 L=45m

2) 町道ニュータウン・境線ほか6路線
・3工区の測量設計 L=2.46km
・水路改修工事 町道ニュータウン・境線 L=200m
単位:千円

路線名	費目		
	測量設計費	本工事費	計
1) 町道江原八金馬佐良線ほか5路線	0	10,000	10,000
2) 町道ニュータウン・境線ほか6路線	18,000	27,550	45,550
計	18,000	37,550	55,550

(実績)

【R7現】
1) 町道江原八金馬佐良線ほか5路線
法面对策については、過去の点検以降、法面変状による被害等が発生していないことから、継続的な状況把握を行うこととし、当面の事業効果が高い東西町側溝改修工事を優先したため、未実施。

2) 町道ニュータウン・境線ほか6路線
・3工区の測量設計 L=2.46km
〔R8.3.16完了(株)アイテック〕
・水路改修工事 町道ニュータウン・境線 L=173m
〔R8.1.20完成(株)カイセイ〕

【R8繰】
2) 町道ニュータウン・境線ほか6路線
水路改修工事 町道ニュータウン・境線 L=30m

単位:円

路線名	R7現		R8繰		計
	測量設計費	本工事費	測量設計費	本工事費	
1) 町道江原八金馬佐良線ほか5路線	0	0	0	0	0
2) 町道ニュータウン・境線ほか6路線	17,992,700	30,917,700	0	6,632,300	55,542,700
計	17,992,700	30,917,700	0	6,632,300	55,542,700

(1) 成果上の実績

① 達成出来たこと(成果実績)とその理由
実績: 町道ニュータウン・境線において側溝改修工事を実施し、道路排水機能の向上を図ることができた。
理由: 施工効率及び事業効果の向上を図るため、令和8年度事業と一体的に実施することとした区間を除き、計画した工事を実施したため。

② 達成出来なかったこと(問題)とその理由
問題: 町道江原八金馬佐良線ほか5路線の法面对策工事については、継続的な状況把握を行いながら、事業実施時期を見直した。
理由: 過去の点検以降、法面変状による被害等が発生していないことから、継続的に状況を把握することとし、当面の事業効果が高い東西町側溝改修工事を優先して実施したため。

(2) 活動上の実績

① 実施出来たこと(活動実績)とその理由
実績: 町道ニュータウン・境線において側溝改修工事を実施し、道路排水機能の向上に必要な整備を進めた。
理由: 施工効率及び事業効果を考慮しながら事業を進め、計画した工事を実施することができたため。

② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
問題: 町道江原八金馬佐良線ほか5路線の法面对策工事について、事業実施時期を見直した。
理由: 法面変状による被害等がないことから状況把握を継続し、当面の事業効果が高い東西町側溝改修工事を優先したため。

町道ニュータウン境線
側溝改修工事 L=173m
(B350×H500からB500×H500へ改修)

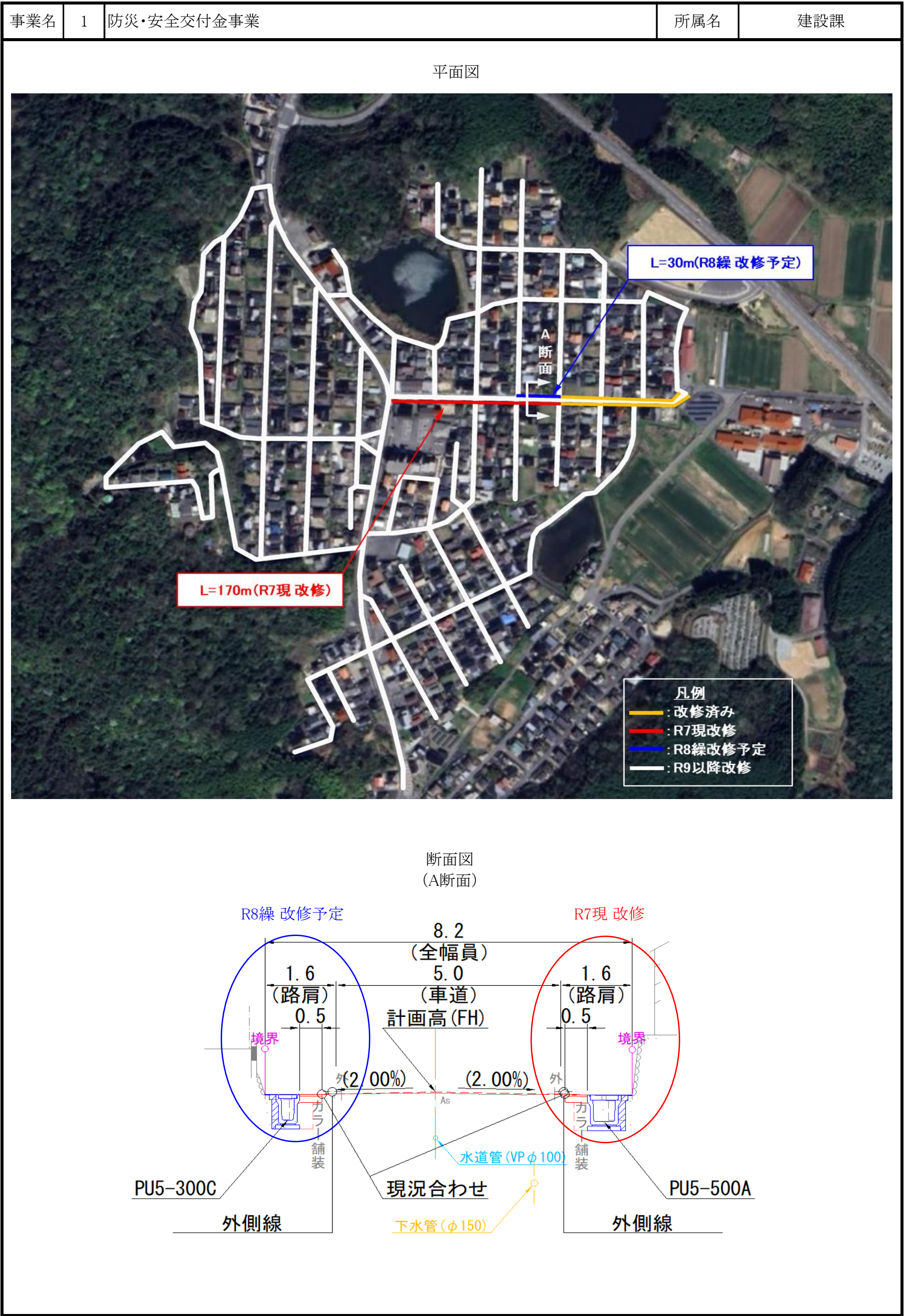
着手前

完成

起点より望む

終点より望む

36 ページ



款7土木費

項2道路橋梁費

目2道路新設改良費

会計名一般会計

事業名2道路メンテナンス事業

所属名建設課

総合計画における位置づけ

①インフラを整え、安心を支える

「4つの挑戦」から見た位置づけ

①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)

根拠法令・要綱等

名称道路法

URL<https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC1000000180>

名称国土交通省所管補助金等交付規則

URL<https://laws.e-gov.go.jp/law/412M50004002009>

名称

URL

決算増減の理由

執行率の理由

非該当

非該当

事業の目的

対象(誰、何に対してか)

意図(対象をどうするか)

成果の視点(どのような効果があるか)

1)橋長L=2m以上の25橋

2)トンネル・橋梁等の道路施設

1)補修工事による長寿命化を図る

2)5年に1度、近接目視による点検を実施し、修繕計画を策定する

1)適切な時期に補修工事を実施することで、効果的に延命が図られ、安全の確保及び維持管理費の軽減につながる。

2)計画的な修繕により施設の長寿命化が図れ、長期的には維持修繕費のコスト削減につながる。

前年度比較

前年度決算額

本年度決算額

差引

増減

前年度予算額

本年度予算額

差引

増減

本年度執行率

32,431,841円

36,744,640円

4,312,799円

13.3%

51,732千円

46,000千円

△5,732千円

△11.1%

79.9%

【事業内容】

1)橋梁長寿命化改修(修繕設計及び修繕工事)

H26年度の道路法改正に伴い、橋長2m以上の橋梁(以下、橋梁)について定期点検が義務化された。これに従いH30年度に全ての橋梁の点検が完了し、橋梁長寿命化計画を策定した。この計画に基づき、補修が必要な判定区分Ⅲ以上の25橋について、計画的に補修を行い通行の安全を図る。

●全体計画 N=25橋

補修設計費45,000千円

本工事費155,000千円

計200,000千円

●事業計画(進捗状況)

	全体	年 度							
		R2～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11～	
実施数(橋)	25	7	2	2	2	3	1	8	
進捗率(%)		28%	36%	44%	52%	64%	68%	100%	

2)町道定期点検

トンネル、橋梁等の町道施設について、道路法に基づく5年に1回の定期点検を実施し、健全性を4段階(Ⅰ:健全、Ⅱ:軽微な損傷、Ⅲ:深刻な損傷、Ⅳ:緊急対応)で診断する。平成30年度(1巡目)及び令和5年度(2巡目)に町道施設全ての点検が完了しており、診断結果に基づき修繕計画を策定し、計画的な修繕を行う。点検の法的義務(5年に1回)がある橋梁及びトンネルについて、3巡目の点検を実施する。

●全体計画(定期点検3巡目)

委託料90,000千円

●3巡目定期点検計画

区 分	施 設	全体数	年 度				
			R6	R7	R8	R9	R10
定期点検	トンネル	1 箇所					1
	橋梁(2m以上)	206 橋	53	72	43	38	0
		進捗率(%)	26	61	82	100	
修繕計画更新	トンネル	1 箇所	1				
	橋梁(2m以上)	206 橋					206

〈南部町橋梁長寿命化修繕計画〉

<https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kensetsu/p748/>

〈南部町道路トンネル長寿命化修繕計画〉

<https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kensetsu/v104/>

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節

科 目 名 称

前年度決算額

本年度決算額

14-2-4-1

道路メンテナンス事業費補助金

18,110,000

21,500,000

21-1-4-1

道路整備事業債(公共事業等債)

6,000,000

6,800,000

一般財源

8,321,841

8,444,640

計

32,431,841

36,744,640

(歳出内訳 単位:円)

節

前年度決算額

本年度決算額

10 需用費

22,641

0

12 委託料

16,820,100

20,372,000

13 使用料及び賃借料

1,359,600

0

14 工事請負費

14,229,500

16,372,640

計

32,431,841

36,744,640

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成出来た点をさらに伸ばす方策

解決すべき課題への方策

1)橋梁長寿命化計画に基づき、補修が必要な橋梁について計画的に修繕を実施し、橋梁の長寿命化及び通行の安全確保を図る。

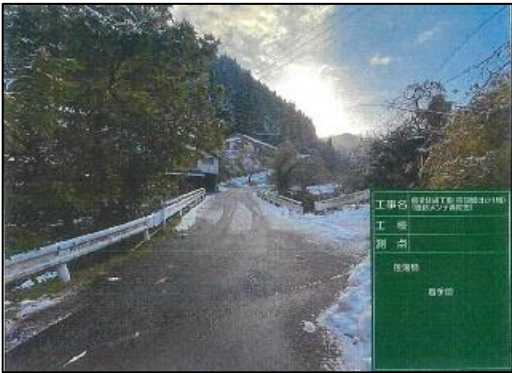
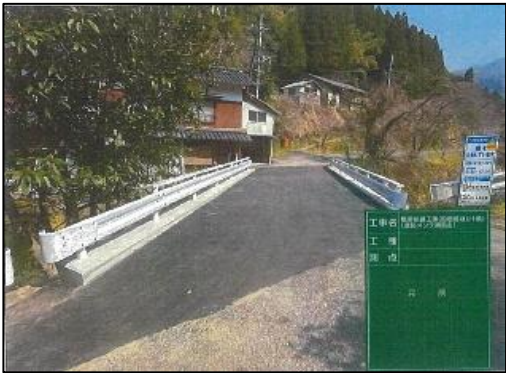
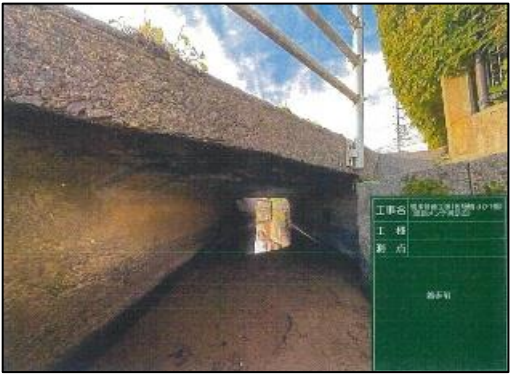
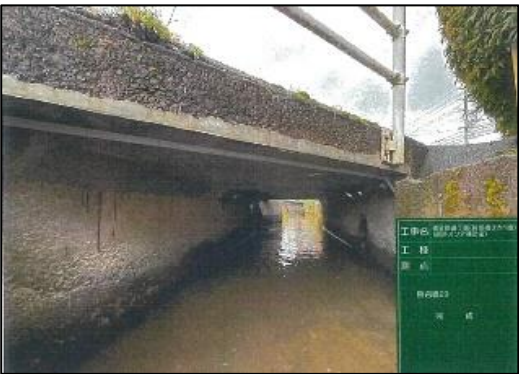
2)道路法に基づく定期点検を継続し、計画的な維持管理を推進する。

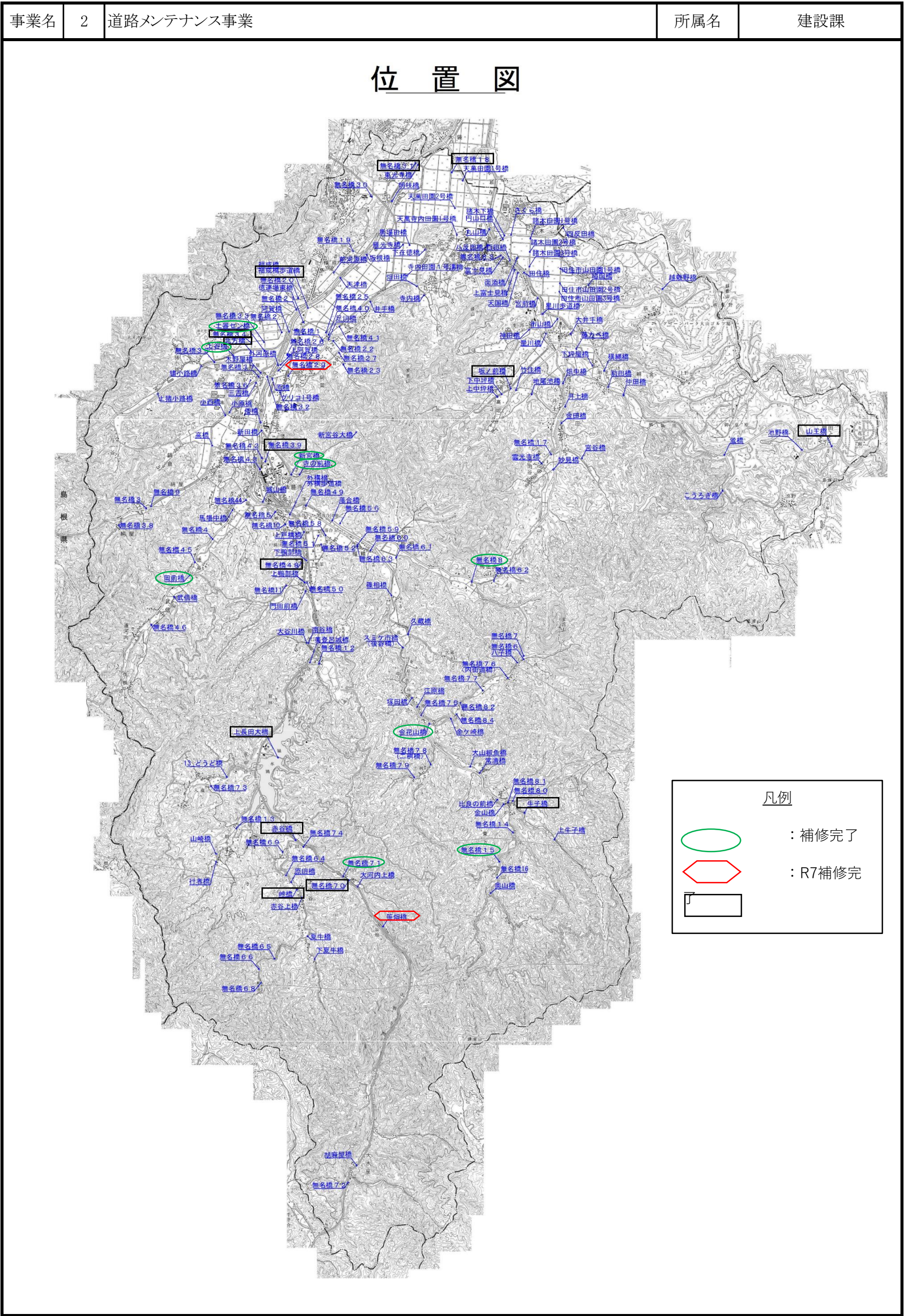
1)橋梁長寿命化計画(第3回改定版)に基づき、補修が必要な判定区分Ⅲ以上の25橋梁について、計画的に修繕を実施する。

2)定期点検を継続し、予防保全型の維持管理による長寿命化を図る。

1)坂ノ前橋補修工事を実施するとともに、新技術の活用を検討し、維持管理費の縮減及び修繕工事の効率化を図る。

2)橋長が短く構造が簡易な橋梁の直営点検を検討し、費用縮減を図る。

事業名	2	道路メンテナンス事業	所属名	建設課																																															
【決算の状況】 (計画) 1) 修繕工事 N=3橋(笹畑橋「笹畑集落」、無名橋29「上阿賀集落」、坂ノ前橋「高姫集落」) 2) 3巡目橋梁定期点検 N=72橋 単位:千円 <table><tr><th rowspan="2">事業内容</th><th colspan="3">費目</th></tr><tr><th>測量設計費</th><th>本工事費</th><th>計</th></tr><tr><td>1) 橋梁修繕工事</td><td>0</td><td>25,000</td><td>25,000</td></tr><tr><td>2) 定期点検</td><td>21,000</td><td>0</td><td>21,000</td></tr><tr><td>計</td><td>21,000</td><td>25,000</td><td>46,000</td></tr></table> (実績) 令和7年度補助金(交付金)編成による。 【R7現】 1) 修繕工事 N=2橋(笹畑橋、無名橋29) [R8.3.27完成(有)会見設備] 2) 3巡目橋梁定期点検 N=72橋 [R8.2.27完了(株)ウエスコ] 【R8繰】 1) 修繕工事 N=1橋(坂ノ前橋) 単位:円 <table><tr><th rowspan="2">事業内容</th><th colspan="2">R7現</th><th colspan="2">R8繰</th><th rowspan="2">計</th></tr><tr><th>測量設計費</th><th>本工事費</th><th>測量設計費</th><th>本工事費</th></tr><tr><td>1) 橋梁修繕工事</td><td>0</td><td>16,372,640</td><td>628,000</td><td>8,627,360</td><td>25,628,000</td></tr><tr><td>2) 定期点検</td><td>20,372,000</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>20,372,000</td></tr><tr><td>計</td><td>20,372,000</td><td>16,372,640</td><td>628,000</td><td>8,627,360</td><td>46,000,000</td></tr></table> (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 橋梁修繕工事2橋及び橋梁定期点検72橋を実施し、道路施設の長寿命化及び通行の安全確保を図ることができた。 理由: 橋梁長寿命化計画及び定期点検計画に基づき、計画的に事業を実施したため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 橋梁長寿命化計画に基づく補修対象橋梁については、施設全体の長寿命化効果を十分に発揮するまでには至っていない。 理由: 補修が必要な橋梁について、年次的に事業を実施しているため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 橋梁修繕工事2橋及び橋梁定期点検72橋を実施した。 理由: 橋梁長寿命化計画及び定期点検計画に基づき、計画どおり事業を実施したため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 坂ノ前橋補修工事については、年度内の発注に至らなかった。 理由: 他の橋梁修繕工事との事業調整及び交通規制に係る地元協議に時間を要したことから、令和8年度に発注することとしたため。 補修工事(笹畑橋) 補修内容:断面修復工、地覆補修工、橋面防水工、舗装補修工、伸縮目地補修工 着手前  完成  補修工事(無名橋29) 補修内容:断面修復工 着手前  完成 					事業内容	費目			測量設計費	本工事費	計	1) 橋梁修繕工事	0	25,000	25,000	2) 定期点検	21,000	0	21,000	計	21,000	25,000	46,000	事業内容	R7現		R8繰		計	測量設計費	本工事費	測量設計費	本工事費	1) 橋梁修繕工事	0	16,372,640	628,000	8,627,360	25,628,000	2) 定期点検	20,372,000	0	0	0	20,372,000	計	20,372,000	16,372,640	628,000	8,627,360	46,000,000
事業内容	費目																																																		
	測量設計費	本工事費	計																																																
1) 橋梁修繕工事	0	25,000	25,000																																																
2) 定期点検	21,000	0	21,000																																																
計	21,000	25,000	46,000																																																
事業内容	R7現		R8繰		計																																														
	測量設計費	本工事費	測量設計費	本工事費																																															
1) 橋梁修繕工事	0	16,372,640	628,000	8,627,360	25,628,000																																														
2) 定期点検	20,372,000	0	0	0	20,372,000																																														
計	20,372,000	16,372,640	628,000	8,627,360	46,000,000																																														



款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	会計名	一般会計
事業名		2	道路メンテナンス事業(繰越)						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	1) 橋長L=2m以上の25橋 2) トンネル・橋梁等の道路施設						総合計画における位置づけ		
								⑪インフラを整え、安心を支える		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)		
	意図 (対象をどうするか)	1) 補修工事による長寿命化 2) 5年に1度、近接目視による点検を実施し、修繕計画を策定						根拠法令・要綱等		
								名称	道路法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC1000000180	
								名称	国土交通省所管補助金等交付規則	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	1) 修繕計画に基づき、適切な時期に補修工事を実施することで、効果的に延命が図られ、維持管理費の軽減につながる。 2) 計画的な修繕により施設の長寿命化が図れ、長期的には維持修繕費のコスト削減につながる。						URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/412M50004002009	
								名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
		本年度繰越額(工事請負費)増		非該当						
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		99.7 %			
	7,683,600 円	18,885,300 円	11,201,700 円	145.8 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	9,888 千円	18,951 千円	9,063 千円	91.7 %						
【事業内容】										
1) 橋梁長寿命化改修(修繕設計及び修繕工事) H26年度の道路法改正に伴い、橋長2m以上の橋梁(以下、橋梁)について定期点検が義務化された。これに従いH30年度に全ての橋梁の点検が完了し、橋梁長寿命化計画を策定した。この計画に基づき、補修が必要な判定区分Ⅲ以上の25橋について、計画的に補修を行い通行の安全を図る。										
●全体計画 N=25橋 補修設計費 45,000 千円 本工事費 155,000 千円 計 200,000 千円										
●事業計画(進捗状況)										
		全体	年 度							
			R2～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11～	
実施数(橋)		25	7	2	2	2	3	1	8	
進捗率(%)			28%	36%	44%	52%	64%	68%	100%	
2) 町道定期点検 トンネル、橋梁等の町道施設について、道路法に基づく5年に1回の定期点検を実施し、健全性を4段階(Ⅰ:健全、Ⅱ:軽微な損傷、Ⅲ:深刻な損傷、Ⅳ:緊急対応)で診断する。平成30年度(1巡目)及び令和5年度(2巡目)に町道施設全ての点検が完了しており、診断結果に基づき修繕計画を策定し、計画的な修繕を行う。点検の法的義務(5年に1回)がある橋梁及びトンネルについて、3巡目の点検を実施する。										
●全体計画(定期点検3巡目) 委託料 90,000 千円										
●3巡目定期点検計画										
区 分		施 設	全体数	年 度						
				R6	R7	R8	R9	R10		
定期点検		トンネル	1 箇所						1	
		橋梁(2m以上)	206 橋	53	72	43	38	0		
			進捗率(%)	26	61	82	100			
修繕計画更新		トンネル	1 箇所	1						
		橋梁(2m以上)	206 橋						206	
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
14-2-4-1	道路メンテナンス事業費補助金		4,558,000	9,014,000	12 委託料	1,183,600	1,122,000			
21-1-4-1	道路整備事業債(公共事業等債)		2,800,000	7,800,000	14 工事請負費	6,500,000	17,763,300			
	一般財源		325,600	2,071,300						
	計		7,683,600	18,885,300	計	7,683,600	18,885,300			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		1) 橋梁長寿命化計画に基づき、補修が必要な橋梁について計画的に修繕を実施し、橋梁の長寿命化及び通行の安全確保を図る。 2) 道路法に基づく定期点検を継続し、計画的な維持管理を推進する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	1) 橋梁長寿命化計画(第3回改定版)に基づき、補修が必要な判定区分Ⅲ以上の25橋梁について、計画的に修繕を実施する。 2) 定期点検を継続し、予防保全型の維持管理による長寿命化を図る。								
	解決すべき課題への方策	1) 新技術を積極的に活用し、修繕費用の削減に努める。 2) 橋長が短く構造が簡易な橋梁における直営点検の導入を検討し、点検費用の縮減及び業務の効率化を図る。								

事業名	2	道路メンテナンス事業(繰越)	所属名	建設課																																															
【決算の状況】 (計画) 1) 修繕工事 N=2橋(土器セン橋「長田集落」、無名橋71「大河内集落」) 2) 3巡目橋梁定期点検 N=48橋、トンネル長寿命化修繕計画更新 単位:千円 <table><tr><th rowspan="2">事業内容</th><th colspan="3">費目</th></tr><tr><th>測量設計費</th><th>本工事費</th><th>計</th></tr><tr><td>1) 橋梁修繕工事</td><td>0</td><td>32,000</td><td>32,000</td></tr><tr><td>2) 定期点検・修繕計画更新</td><td>18,000</td><td>0</td><td>18,000</td></tr><tr><td>計</td><td>18,000</td><td>32,000</td><td>50,000</td></tr></table> (実績) 【R6現】 1) 修繕工事 N=1橋(土器セン橋) [R7.3.21完成(株)タナカ] 2) 3巡目橋梁定期点検 N=53橋 [R7.1.31完了(株)ウエスコ] トンネル長寿命化修繕計画更新 [R7.1.27完了(株)ウエスコ] 【R7繰】 1) 補修工事 N=1橋(無名橋71) [R7.5.30完成(株)カイセイ] 補修工事発注補助 [R7.9.17完了(公財)鳥取県技術センター] 単位:円 <table><tr><th rowspan="2">事業内容</th><th colspan="2">R6現</th><th colspan="2">R7繰</th><th rowspan="2">計</th></tr><tr><th>測量設計費</th><th>本工事費</th><th>測量設計費</th><th>本工事費</th></tr><tr><td>1) 橋梁修繕工事</td><td>0</td><td>14,229,500</td><td>1,122,000</td><td>17,763,300</td><td>33,114,800</td></tr><tr><td>2) 定期点検・修繕計画更新</td><td>16,820,100</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>16,820,100</td></tr><tr><td>計</td><td>16,820,100</td><td>14,229,500</td><td>1,122,000</td><td>17,763,300</td><td>49,934,900</td></tr></table> (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 橋梁修繕工事2橋及び橋梁定期点検53橋並びにトンネル長寿命化修繕計画更新を実施したことで、道路施設の長寿命化及び通行の安全確保を図ることができた。 理由: 橋梁長寿命化計画及び定期点検計画に基づき、計画的に事業を実施したため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 補修が必要な橋梁が残っていることから、施設全体の長寿命化効果を十分に発揮するまでには至っていない。 理由: 橋梁長寿命化計画に基づき、年次的に補修を実施しているため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 橋梁修繕工事2橋、橋梁定期点検53橋及びトンネル長寿命化修繕計画更新を実施した。 理由: 橋梁長寿命化計画及び定期点検計画に基づき、計画どおり事業を実施したため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 今後の維持管理コストの縮減に向けた新技術の活用や、橋長の短い橋梁における直営点検の導入には至らなかった。 理由: 橋梁数が多く、今後も継続的な維持管理が必要であることから、新技術の活用や橋長の短い橋梁における直営点検など、維持管理費の縮減及び業務の効率化に向けた検討が十分ではなかったため。 補修工事(無名橋71) 補修内容: 塗膜剥離工 塗替塗装工 断面修復工 伸縮目地補修工 着手前 完成 起点より望む 上流より望む					事業内容	費目			測量設計費	本工事費	計	1) 橋梁修繕工事	0	32,000	32,000	2) 定期点検・修繕計画更新	18,000	0	18,000	計	18,000	32,000	50,000	事業内容	R6現		R7繰		計	測量設計費	本工事費	測量設計費	本工事費	1) 橋梁修繕工事	0	14,229,500	1,122,000	17,763,300	33,114,800	2) 定期点検・修繕計画更新	16,820,100	0	0	0	16,820,100	計	16,820,100	14,229,500	1,122,000	17,763,300	49,934,900
事業内容	費目																																																		
	測量設計費	本工事費	計																																																
1) 橋梁修繕工事	0	32,000	32,000																																																
2) 定期点検・修繕計画更新	18,000	0	18,000																																																
計	18,000	32,000	50,000																																																
事業内容	R6現		R7繰		計																																														
	測量設計費	本工事費	測量設計費	本工事費																																															
1) 橋梁修繕工事	0	14,229,500	1,122,000	17,763,300	33,114,800																																														
2) 定期点検・修繕計画更新	16,820,100	0	0	0	16,820,100																																														
計	16,820,100	14,229,500	1,122,000	17,763,300	49,934,900																																														

款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	会計名	一般会計
事業名		3	通学路緊急対策事業（繰越）						所属名	建設課
事業の目的	対象 （誰、何に対してか）	1)町道阿賀・東西町線 2)町道原奥絹屋線（西から口絹屋） 3)町道浅井縄平線（市山地内） 4)町道宮前諸木1号線						総合計画における位置づけ		
								⑪インフラを整え、安心を支える		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								①くらしに挑戦（安全すこやかに暮らすまち）		
								根拠法令・要綱等		
	意図 （対象をどうするか）	1)4)路側整備による歩車分離 2)拡幅及び線形改良 3)路肩拡幅						名称	道路法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC1000000180	
								名称	国土交通省所管補助金等交付規則	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/412M50004002009	
	成果の視点 （どのような効果があるか）	通学児童・生徒及び利用者の通行の安心・安全を図る。						名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
新規事業のため								非該当		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		94.9 %			
	0 円	33,000,978 円	33,000,978 円	皆 増 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	0 千円	34,769 千円	34,769 千円	皆 増 %						
【事業内容】・・・全体計画は次頁に記載										
1)町道阿賀・東西町線 1級町道阿賀・東西町線は、阿賀地内から福成地内を經由し東西町地区を結ぶ旧国道180号線であり、交通量も多く、児童生徒の通学路としても利用されている幹線道路である。改良計画区間は、東町～谷川集落内の約340m区間であり、交通量が多いが歩道がなく見通しも悪いため、通学路として危険な状況であることから、通学路交通安全プログラムの対策箇所になっている。このため、路側整備し歩車分離による安全対策を行うことにより、通学児童・生徒の安全・安心を図るものである。										
2)町道原奥絹屋線（西・口絹屋） 1級町道原奥絹屋線は、原から奥絹屋集落を結び安来市伯太町につながる幹線道路で、周辺地域の通勤路としても利用されている道路である。改良計画区間は、西集落から口絹屋集落内の約550m区間であり、幅員が狭く、通行車両の擦れ違いに支障があり危険である。このため、拡幅及び線形改良して整備することにより、集落内をはじめ周辺地域とのアクセス強化と通行の安全・安心を図るものである。										
3)町道浅井縄平線 2級町道浅井縄平線は、浅井集落から市山集落を經由し縄平集落を結ぶ生活道路であり、児童生徒の通学路としても利用されている道路である。改良計画区間は、市山集落内の約190m区間であり、幅員が狭く、通学児童、通行車両の擦れ違いに支障があり危険であることから、通学路交通安全プログラムの対策箇所になっている。このため、路肩拡幅（水路蓋掛）して整備することにより、道路利用者の安全・安心を図るものである。										
4)町道宮前諸木1号線 その他町道宮前諸木1号線は、県道溝口伯太線から県道米子岸本線までの道路で、児童生徒の通学路としても利用されている。改良計画区間は、県営住宅手間第1団地から県道米子岸本線までの約270m区間であり、歩道がなく通学路として危険な状況であることから、通学路交通安全プログラムの対策箇所になっている。このため、グリーンベルトを設置し、車道と歩行空間を明確にすることで、通学児童・生徒の安全・安心を図るものである。										
（歳入内訳 単位:円）（歳出内訳 単位:円）										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
14-2-4-1	通学路緊急対策補助金		0	14,337,000	14 工事請負費	0	24,082,300			
21-1-4-1	道路整備事業債（公共事業等債）		0	10,300,000	16 公有財産購入費	0	337,890			
					21 補償補填及び賠償金	0	8,580,788			
	一般財源		0	8,363,978						
	計		0	33,000,978	計	0	33,000,978			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		1)3)4) 事業完了 2) 計画的に事業を推進し、通学児童・生徒及び道路利用者の安全性及び利便性の向上を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		1)3)4) 事業完了 2) 早期完成に向け、計画的に改良工事を実施する。							
	解決すべき課題への方策		1)3)4) 事業完了 2) 早期完成に向け、地元との入念な打ち合わせを行い、電柱移設及び用地買収を進める。							

事業名	3	通学路緊急対策事業(繰越)					所属名	建設課	
1) 町道阿賀・東西町線									
●全体計画 L=340m、現況W=5.5～9.5(7.7～19.7)m									
測量設計費 5,000 千円									
本工事費 19,000 千円									
計 24,000 千円									
●事業計画 単位:千円									
費目		事業費	年度別						
			R4	R5	R6				
測量設計費		5,000	5,000	0	0				
本工事費		19,000	0	9,000	10,000				
計		24,000	5,000	9,000	10,000				
2) 町道原奥絹屋線(西・口絹屋)									
●全体計画 L=710m、W=5.5(6.5)m									
測量設計費 31,862 千円									
本工事費 201,427 千円									
用地費 5,981 千円									
補償費 47,584 千円									
計 286,854 千円									
●事業計画(進捗状況) 単位:千円									
費目		事業費	年度別						
			H28～R5	R6現	R7繰	R8	R9	R10	R11
測量設計費		31,862	31,862	0	0	0	0	0	0
本工事費		201,427	61,412	23,932	24,083	20,000	24,000	24,000	24,000
用地買収費		5,981	3,181	246	754	500	650	650	0
補償費		47,584	30,374	1,068	9,932	500	2,500	3,210	0
計		286,854	126,829	25,246	34,769	21,000	27,150	27,860	24,000
3) 町道浅井縄平線									
●全体計画 L=187.3m、W=3.6(5.6)m									
測量設計費 3,900 千円									
本工事費 15,000 千円									
計 18,900 千円									
●事業計画 単位:千円									
費目		事業費	年度別						
			R4	R5	R6				
測量設計費		3,980	3,980	0	0				
本工事費		15,000	0	10,000	5,000				
計		18,980	3,980	10,000	5,000				
4) 町道宮前諸木1号線									
●全体計画 L=267m、現況W=3.6(4.6)m									
本工事費 10,000 千円(R6)									
【決算の状況】									
(計画)									
1) 町道阿賀・東西町線									
・路面標示(外側線引き直し)設置工事 L=2,228m									
2) 町道原奥絹屋線(西・口絹屋)									
・道路改良工事 L=96m、W=5.5(6.6)m									
3) 町道浅井縄平線									
・路面標示(外側線及びグリーンベルト)設置工事 L=274m									
4) 道宮前諸木1号線									
・路面標示(外側線及びグリーンベルト)設置工事 L=267m									
単位:千円									
路線名			R6現			R7繰			計
			本工事費	用地費	補償費	本工事費	用地費	補償費	
1) 町道阿賀・東西町線			8,636	0	0	0	0	0	8,636
2) 町道原奥絹屋線(西・口絹屋)			23,932	246	1,068	24,083	754	9,932	60,015
3) 町道浅井縄平線			3,160	0	0	0	0	0	3,160
4) 町道宮前諸木1号線			3,189	0	0	0	0	0	3,189
計			38,917	246	1,068	24,083	754	9,932	75,000

事業名	3	通学路緊急対策事業(繰越)	所属名	建設課																																																						
(実績) 【R6現】 1)町道阿賀・東西町線[R6.12.16完成(株)タナカ]<事業完了> ・路面標示(外側線引き直し)設置工事 L=2,228m 2)町道原奥絹屋線(西・口絹屋)[R6.10.28完成(株)タナカ] ・道路改良工事 L=43.4m、W=5.5(6.6)m 3)町道浅井縄平線[R7.1.31完成(株)TMS]<事業完了> ・路面標示(外側線及びびグリーンベルト)設置工事 L=293.0m 4)町道宮前諸木1号線[R7.1.31完成(株)TMS]<事業完了> ・路面標示(外側線及びびグリーンベルト)設置工事 L=257.9m 【R7繰】 2)町道原奥絹屋線(西・口絹屋) [R8.3.17完成(株)タナカ] ・道路改良工事 L=62.3m、W=5.5(6.6)m 全体計画710mの内、令和7年度末で436m完了 単位:円 <table><tr><th rowspan="2">路線名</th><th colspan="3">R6現</th><th colspan="3">R7繰</th><th rowspan="2">計</th></tr><tr><th>本工事費</th><th>用地費</th><th>補償費</th><th>本工事費</th><th>用地費</th><th>補償費</th></tr><tr><td>(1) 町道阿賀・東西町線</td><td>8,636,100</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>8,636,100</td></tr><tr><td>(2) 町道原奥絹屋線</td><td>23,931,600</td><td>246,050</td><td>1,068,448</td><td>24,082,300</td><td>337,890</td><td>8,580,788</td><td>58,247,076</td></tr><tr><td>(3) 町道浅井縄平線</td><td>3,160,300</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3,160,300</td></tr><tr><td>(4) 町道宮前諸木1号線</td><td>3,188,900</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3,188,900</td></tr><tr><td>計</td><td>38,916,900</td><td>246,050</td><td>1,068,448</td><td>24,082,300</td><td>337,890</td><td>8,580,788</td><td>73,232,376</td></tr></table> (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 町道阿賀・東西町線、町道浅井縄平線及び町道宮前諸木1号線において通学路安全対策を実施したことで、通学児童・生徒及び道路利用者の安全性及び利便性の向上を図ることができた。 理由: 計画した安全対策工事を実施し、歩行空間の確保や道路環境の改善を図ることができたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 町道原奥絹屋線については、路線全体における安全性及び利便性向上の効果を十分に発揮するまでには至っていない。 理由: 事業継続中であり、全線完成には至っていないため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績: 町道阿賀・東西町線、町道浅井縄平線及び町道宮前諸木1号線において計画した工事を実施した。 理由: 地元との調整及び工程管理を適切に行い、計画どおり事業を実施することができたため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題: 町道原奥絹屋線については、早期完成に向けた事業進捗の加速が課題として残った。 理由: 地元から早期完成が求められている一方で、今後、電柱移設や用地買収に加え、山側法面の切土工事を実施する必要があり、関係機関との調整を継続して行う必要があるため。 町道原奥絹屋線改良工事(西・口絹屋6工区) 着手前 完 成 起点より望む 終点より望む 					路線名	R6現			R7繰			計	本工事費	用地費	補償費	本工事費	用地費	補償費	(1) 町道阿賀・東西町線	8,636,100	0	0	0	0	0	8,636,100	(2) 町道原奥絹屋線	23,931,600	246,050	1,068,448	24,082,300	337,890	8,580,788	58,247,076	(3) 町道浅井縄平線	3,160,300	0	0	0	0	0	3,160,300	(4) 町道宮前諸木1号線	3,188,900	0	0	0	0	0	3,188,900	計	38,916,900	246,050	1,068,448	24,082,300	337,890	8,580,788	73,232,376
路線名	R6現			R7繰			計																																																			
	本工事費	用地費	補償費	本工事費	用地費	補償費																																																				
(1) 町道阿賀・東西町線	8,636,100	0	0	0	0	0	8,636,100																																																			
(2) 町道原奥絹屋線	23,931,600	246,050	1,068,448	24,082,300	337,890	8,580,788	58,247,076																																																			
(3) 町道浅井縄平線	3,160,300	0	0	0	0	0	3,160,300																																																			
(4) 町道宮前諸木1号線	3,188,900	0	0	0	0	0	3,188,900																																																			
計	38,916,900	246,050	1,068,448	24,082,300	337,890	8,580,788	73,232,376																																																			

款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	会計名	一般会計
事業名		4	南部町生活道路改善支援事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	生活道路	総合計画における位置づけ							
			⑪インフラを整え、安心を支える							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)							
	意図 (対象をどうするか)	日常生活する生活道路の環境を向上させる。	根拠法令・要綱等							
			名称	南部町補助金等交付規則						
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000167.html						
			名称	南部町生活道路改善支援補助金交付要綱						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	生活環境の向上と地域の共働作業による地域力や住民力の向上が図れる。	URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kensetsu/n304/						
			名称							
URL										
決算増減の理由			執行率の理由							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	過年度の執行状況を踏まえ、事業費を適正化したため。		非該当			
	4,361,847 円	2,913,697 円	△ 1,448,150 円	△ 33.2 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	4,500 千円	3,000 千円	△ 1,500 千円	△ 33.3 %						
				本年度執行率	97.1 %					
【事業内容】 地域振興協議会及び集落が、複数の受益がある生活道路を快適に通行できるよう整備する事業に対して補助する。 ●実施主体： 地域振興協議会 ●事業対象： 町道・公共の用に供されており、複数の人が日常的に利用する生活道路・公共施設に至る道路 ●対象事業： 道路改良(部分拡幅、付帯施設整備等)、舗装、道路修繕 ●補助対象：										
		区分	補助対象経費	補助率	備考					
		共同作業	原材料費、借上料、雑費	100/100	補助金上限1,000千円					
			自己所有重機損料、その他							
		請負事業	工事請負費	80/100						
		事務費	事務費	3%	事務費上限30千円					
【決算の状況】 (計画) 1事業×1,000千円＝1,000千円、3事業×500千円、2事業×250千円 合計 6事業 3,000千円 (実績) (単位:円)										
		協議会等(地区)	内 容		補助金額					
		大国(倭区)	町道沿線樹木伐採・町道水路床版の補修		531,836					
		天津(上阿賀区)	町道路肩修繕		243,255					
		あいみ富有の里(金田区)	生活道路コンクリート舗装		910,000					
		法勝寺(掛相区)	町道法面樹木伐採		290,993					
		天津(柏尾区)	町道拡幅		701,473					
		南さいはく(二桝区)	町道法面樹木伐採		206,229					
		大国(北方区)	生活道路補修		29,911					
		合 計			2,913,697					
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-1-1	鳥取県市町村創生交付金		1,695,000	1,253,000	18 負担金補助及び交付金	4,361,847	2,913,697			
	一般財源		2,666,847	1,660,697						
	計		4,361,847	2,913,697	計	4,361,847	2,913,697			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		除雪の効率化につながる局部改良(隅切り、待避所、蓋掛けなど)にも取り組む必要がある。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	部分拡幅など局部改良を行うことで、地域の安全性を確保し利便性の向上を図る。								
	解決すべき課題への方策	事業箇所の候補地を選定し、事業実施につなげる。								

事業名	4	南部町生活道路改善支援事業	所属名	建設課
協議会等(地区)		内 容	着工前	完 成
大国(倭区)	町道沿線樹木伐採			
	町道水路床版の補修 ※通行時に発生する異音を解消するための補修			
天津(上阿賀区)	町道路肩修繕			
あいみ富有の里(金田区)	生活道路コンクリート舗装			
法勝寺(掛相区)	町道法面樹木伐採			
天津(柏尾区)	町道拡幅			
南さいはく(二柘区)	町道法面樹木伐採			
大国(北方区)	生活道路補修			
(1) 成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績：生活道路等の整備を支援し、安全性及び通行性の向上を図ることができた。 理由：道路補修や維持管理に対する支援を実施したため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題：集落によって道路の老朽化や支障木の繁茂など、維持管理を要する箇所が依然として存在している。 理由：補修や伐採等を要する箇所が多く、一度に全ての課題を解消することが困難であったため。 (2) 活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績：7つの事業において道路補修や町道法面及び沿線樹木の伐採等の事業を実施し、補助金を交付した。 理由：各集落からの要望に基づき、計画的に事業を実施したため。 ②実施出来なかったこと(問題)とその理由 問題：補修や伐採等の要望箇所が残っており、全ての地域課題の解消には至らなかった。 理由：要望件数が多く、予算や施工可能な期間に限りがあったため。				

款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	会計名	一般会計																																																																																																																								
事業名		5	道路長寿命化事業						所属名	建設課																																																																																																																								
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	道路ストック点検により舗装補修が必要となった町道						総合計画における位置づけ																																																																																																																										
								⑪インフラを整え、安心を支える																																																																																																																										
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																																										
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)																																																																																																																										
			根拠法令・要綱等																																																																																																																															
	意図 (対象をどうするか)	舗装を修繕し、安全な通行の確保を図る。						名称	道路法																																																																																																																									
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC1000000180																																																																																																																									
								名称	積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法																																																																																																																									
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/331AC1000000072																																																																																																																									
	成果の視点 (どのような効果があるか)	計画的に補修工事を実施することで、ライフサイクルコストの削減と長寿命化を図る。						名称																																																																																																																										
URL																																																																																																																																		
決算増減の理由								執行率の理由																																																																																																																										
調査延長増加の為								非該当																																																																																																																										
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	95.3 %																																																																																																																								
	8,470,000 円		13,345,200 円		4,875,200 円		57.6 %																																																																																																																											
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減																																																																																																																											
	10,000 千円		14,000 千円		4,000 千円		40.0 %																																																																																																																											
【事業内容】 前回の道路ストック点検から10年が経過し、経年劣化に伴う舗装補修要望が増加していることから、再度道路ストック点検(路面性状調査)を実施し、新たな修繕計画を策定し、当該計画に基づき計画的に舗装補修工事を実施することで、ライフサイクルコストの縮減を図る。 ●全体計画 L=257.5km <table><tr><td>委託料</td><td>49,000 千円</td></tr><tr><td>工事費</td><td>70,000 千円</td></tr><tr><td>計</td><td>119,000 千円</td></tr></table> <table><tr><td>区 分</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9～R13</td><td>計</td></tr><tr><td>委託料(千円)</td><td>10,000</td><td>14,000</td><td>14,000</td><td>11,000</td><td>49,000</td></tr><tr><td>工事費(千円)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>70,000</td><td>70,000</td></tr><tr><td>合 計(千円)</td><td>10,000</td><td>14,000</td><td>14,000</td><td>81,000</td><td>119,000</td></tr><tr><td>進捗率(%)</td><td>8</td><td>20</td><td>32</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>摘 要</td><td>1,2級町道調査</td><td>その他町道調査</td><td>修繕設計</td><td>修繕設計＋修繕工事</td><td></td></tr></table> 【決算の状況】 (計画) ・路面性状調査(その他町道) ・修繕計画策定(全町道) 委託料 14,000 千円 (実績) ・路面性状調査(その他町道)：325路線について損傷状況を調査した。 ・修繕計画策定(1級,2級,その他町道)：維持管理指数(MCI)に基づき、修繕計画を策定した。 委託料 13,345,200 円〔R8.3.27完了(株)ウエスコ〕 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>21-1-4-1</td><td>道路整備事業債(公共施設等適正管理事業債)</td><td>7,600,000</td><td>12,000,000</td><td>12 委託料</td><td>8,470,000</td><td>13,345,200</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>870,000</td><td>1,345,200</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>8,470,000</td><td>13,345,200</td><td>計</td><td>8,470,000</td><td>13,345,200</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>修繕計画に基づき、計画的に修繕工事を実施し通行の安全確保を図る。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td>修繕が必要な83路線について、計画的に修繕を実施する。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>路面性状調査結果を活用し、効率的かつ計画的な舗装補修を推進する。</td></tr></table>											委託料	49,000 千円	工事費	70,000 千円	計	119,000 千円	区 分	R6	R7	R8	R9～R13	計	委託料(千円)	10,000	14,000	14,000	11,000	49,000	工事費(千円)	0	0	0	70,000	70,000	合 計(千円)	10,000	14,000	14,000	81,000	119,000	進捗率(%)	8	20	32	100		摘 要	1,2級町道調査	その他町道調査	修繕設計	修繕設計＋修繕工事		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	21-1-4-1	道路整備事業債(公共施設等適正管理事業債)	7,600,000	12,000,000	12 委託料	8,470,000	13,345,200																																												一般財源	870,000	1,345,200					計	8,470,000	13,345,200	計	8,470,000	13,345,200	①今後の事業全体の方向性とその内容	修繕計画に基づき、計画的に修繕工事を実施し通行の安全確保を図る。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成出来た点をさらに伸ばす方策	修繕が必要な83路線について、計画的に修繕を実施する。	解決すべき課題への方策	路面性状調査結果を活用し、効率的かつ計画的な舗装補修を推進する。
委託料	49,000 千円																																																																																																																																	
工事費	70,000 千円																																																																																																																																	
計	119,000 千円																																																																																																																																	
区 分	R6	R7	R8	R9～R13	計																																																																																																																													
委託料(千円)	10,000	14,000	14,000	11,000	49,000																																																																																																																													
工事費(千円)	0	0	0	70,000	70,000																																																																																																																													
合 計(千円)	10,000	14,000	14,000	81,000	119,000																																																																																																																													
進捗率(%)	8	20	32	100																																																																																																																														
摘 要	1,2級町道調査	その他町道調査	修繕設計	修繕設計＋修繕工事																																																																																																																														
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																												
21-1-4-1	道路整備事業債(公共施設等適正管理事業債)	7,600,000	12,000,000	12 委託料	8,470,000	13,345,200																																																																																																																												
	一般財源	870,000	1,345,200																																																																																																																															
	計	8,470,000	13,345,200	計	8,470,000	13,345,200																																																																																																																												
①今後の事業全体の方向性とその内容	修繕計画に基づき、計画的に修繕工事を実施し通行の安全確保を図る。																																																																																																																																	
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																																		
達成出来た点をさらに伸ばす方策	修繕が必要な83路線について、計画的に修繕を実施する。																																																																																																																																	
解決すべき課題への方策	路面性状調査結果を活用し、効率的かつ計画的な舗装補修を推進する。																																																																																																																																	

事業名	5	道路長寿命化事業	所属名	建設課
-----	---	----------	-----	-----

令和6年度及び令和7年度に路面性状調査を行い、南部町が管理する1級、2級及びその他町道延長246.2kmのうち、調査可能な217.2kmを対象に舗装の状態を確認した。

調査では、道路の傷み具合を数値で評価する「道路維持管理指数(MCI)」を用いて舗装の状態を判定しており、MCI値は小さいほど道路の傷みが大きく、舗装状態が悪いことを示す。

その結果、早急に修繕が必要と判断されるMCI値3以下の区間が全体の8.0%を占めており、これらの区間を優先的に修繕する必要がある。

調査結果表 評価別延長

MCI値	評価	延長(km)
MCI値≤3	早急に修繕が必要	17.7
3<MCI値≤4	修繕が必要である	62.6
4<MCI値≤5	修繕することが望ましい	
5<MCI値	望ましい管理基準	136.9

調査結果

■ MCI ≤ 3(早急に修繕が必要)
■ 3 < MCI ≤ 4(修繕が必要である)
■ 4 < MCI ≤ 5(修繕することが望ましい)
■ 5 ≤ MCI(望ましい管理基準)

MCI値及び道路属性(種級、除雪路線、バス路線、交通量、迂回路、通学路、住宅密集地、地元要望)を総合評価した優先修繕路線(上位11路線)

路線番号	路線名称	路線延長(m)	修繕延長(m)	MCI値
2004	戸構住宅線	870	240	0.94
1002	下阿賀・北方・猪小路線	1630	820	1.12
1005	法勝寺鍋倉与一谷線	2700	260	1.19
1003	原奥絹屋線	4055	290	0.87
1002	下阿賀・北方・猪小路線	1630	260	1.26
1005	法勝寺鍋倉与一谷線	2700	260	1.01
1001	ニュータウン境線	715	500	0.16
1005	法勝寺鍋倉与一谷線	2700	500	-0.02
2007	入蔵線	1540	840	1.40
2004	戸構住宅線_枝1	220	100	1.50
2039	小松御内谷線	1850	950	0.74

調査の結果、83路線155箇所において、今後の修繕等を検討する箇所を確認した。

(1) 成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由

実績：その他町道134.4kmを対象に路面性状調査を実施し、道路の損傷状況を把握した。

理由：路面性状調査を実施し、舗装の状態を客観的に評価したため。

②達成出来なかったこと(問題)とその理由

問題：修繕計画を策定し、補修が必要な箇所を明確にした。

理由：本年度は現況調査、優先順位付け及び修繕計画の策定を行う年度としているため。

(2) 活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由

実績：舗装補修の優先順位付けを行い、優先的に修繕が必要な箇所を把握した。

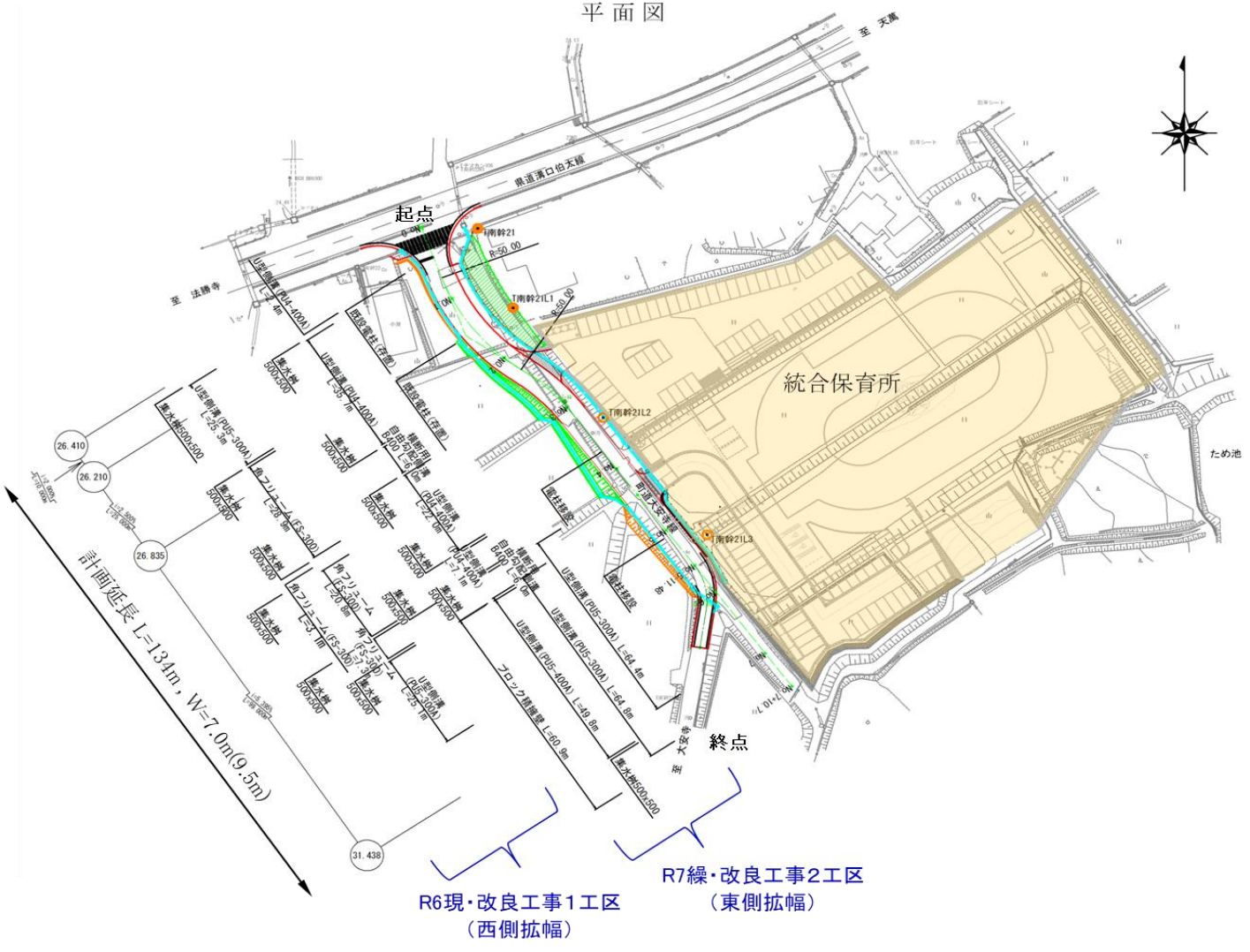
理由：路面性状調査の結果を活用し、舗装の損傷状況に応じた評価を行ったため。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由

問題：修繕計画を策定し、補修が必要な箇所を明確にした。

理由：本年度は現況調査、優先順位付け及び修繕計画の策定を行う年度としているため。

款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良費	会計名	一般会計
事業名		9	町道大安寺線改良事業(繰越)						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町道大安寺線 (L=134m)						総合計画における位置づけ		
								①インフラを整え、安心を支える		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)		
			根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	道路拡幅						名称	道路法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC1000000180	
								名称	国土交通省所管補助金等交付規則	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/412M50004002009	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	統合保育所整備に伴い増加する交通量に対応するため道路拡幅を行う。						名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
新規事業のため								非該当		
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	83.2 %
	0 円		45,164,900 円		45,164,900 円		皆 増 %			
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減			
	0 千円		54,297 千円		54,297 千円		皆 増 %			
【事業内容】 その他町道大安寺線は、統合保育所へのアクセス道路であるが車道幅員が2.5mと車両の擦れ違いが困難である。このため、統合保育所整備に伴う交通状況の変化を考慮すると本路線の拡幅が必要である。 全体計画 L=134m、W=7.0m(9.5m) 本工事費 80,000 千円 【決算の状況】 (計画) 計画延長 L=134m、W=7.0m(9.5m) 本工事費 80,000 千円 (実績) 計画延長 L=134m、W=7.0m(9.5m) 【R6現】 改良工事1工区(西側拡幅) L=134m [R7.3.31完成 (株)TMS] 本工事費 25,703,700 円 【R7繰】 改良工事2工区(東側拡幅) L=134m [R8.3.30完成 (株)TMS] 本工事費 45,164,900 円 【 計 】 本工事費 70,868,600 円										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
21-1-2-3	保育所整備事業債(合併特例事業債)				0	42,900,000	14 工事請負費	0	45,164,900	
	一般財源				0	2,264,900				
	計				0	45,164,900	計	0	45,164,900	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		適切な維持管理により、安全で円滑な通行環境の維持を図る。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		適切な維持補修を継続し、安全で円滑な通行環境の維持に努める。							
	解決すべき課題への方策		道路の利用状況や経年劣化を踏まえ、舗装や道路附属物の損傷を早期に把握し、計画的な維持補修を実施する。							

事業名	9	町道大安寺線改良事業(繰越)	所属名	建設課
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績：町道大安寺線の拡幅工事(L=134m)を完了し、統合保育所へのアクセス道路として安全性及び利便性の向上を図った。 理由：統合保育所整備に先行して道路環境を整備したことで、工事関係者の施工環境の向上や、将来利用する保護者等の期待に応える基盤整備につながったため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題：交通状況を継続的に確認し、更なる安全対策の必要性を検証する必要がある。 理由：統合保育所の供用開始後の交通状況を踏まえ、必要に応じた安全対策を検討する必要があるため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績：改良工事1工区(西側拡幅)及び改良工事2工区(東側拡幅)を実施し、計画延長L=134mの道路拡幅工事を完了した。 理由：造成、建築工事との調整及び工程管理を適切に行い、円滑に工事を進めることができたため。 ②実施出来なかったこと(問題)とその理由 問題：周辺道路を含めた交通安全対策の検討。 理由：保育所供用開始後の交通状況を踏まえて検討する必要があるため。				
平面図  着手前 完成後				
起点より望む  				
終点より望む  				

事業名	1	道路維持事業	所属名	建設課																																																																													
【決算の状況】 (計画と実績) ①成果実績または活動実績 実施数量分を抜粋(人件費、事務費を除いたもの) <table><tr><th>区分</th><th>項目</th><th>予算額 (千円)</th><th>数量</th><th>決算額 (千円)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">町道管理</td><td>行政要望、道路付 属物修繕等</td><td>27,550</td><td>17 箇所</td><td>27,510</td><td>工事請負費(行政要望、道路照明修繕等)</td></tr><tr><td></td><td>1,800</td><td>8 箇所</td><td>1,498</td><td>要望の測量設計、未登記地測量設計</td></tr><tr><td>小動物死骸処理</td><td>365</td><td>21 体</td><td>204</td><td></td></tr><tr><td>道路台帳更新業務</td><td>2,963</td><td>6 路線</td><td>2,766</td><td></td></tr><tr><td>町道修繕</td><td>緊急修繕</td><td>7,600</td><td>59 箇所</td><td>7,594</td><td>施設修繕費</td></tr><tr><td rowspan="2">除雪</td><td>除雪延長</td><td>46,275</td><td>142 km</td><td>45,150</td><td>除雪機械借上料 (建設業11社、農業法人等4者)</td></tr><tr><td>積雪確認</td><td>9</td><td>1 集落</td><td>5</td><td>集落確認者への謝礼 @4,500円×1人</td></tr><tr><td rowspan="2">除草</td><td>委託</td><td>6,435</td><td>14 団体</td><td>6,435</td><td>除草委託 総延長L=19,140m 12路線</td></tr><tr><td>燃料支給</td><td rowspan="2">322</td><td>24 団体</td><td>134</td><td>支給上限 360/団体</td></tr><tr><td rowspan="2">地域除雪</td><td>燃料支給</td><td>21 団体</td><td>105</td><td>支給上限 360/団体</td></tr><tr><td>小型除雪機点検</td><td>414</td><td>49 台</td><td>414</td><td></td></tr><tr><td>事務費</td><td>事務費</td><td>7,353</td><td></td><td>7,299</td><td>備品購入、公用車リース等</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>101,086</td><td></td><td>99,114</td><td>99%</td></tr></table> 除雪体制 15者 (R5年度に2者増) 建設業(町内本支店)8社 タナカ、美保テクノス、TMS、三徳興産、会見設備、秦石油、創環、カイセイ 建設業(町外)3社 AHA,イワタ建設、ミテック、 農業法人等4者 寺内農場、まこもだけ組合、アステック、潮計久 除雪機械:ホイールローダ、除雪トラック、トラクター等 計45台 (R5年度に8台増) (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:道路修繕、除雪及び除草作業等を実施し、安全で円滑な道路通行環境の確保を図った。 理由:道路パトロールや行政要望に基づく修繕を実施するとともに、除雪及び除草作業を継続的に行い、道路機能の維持につなげることができたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:地域住民による道路除草等の維持管理が年々困難になっている。 理由:担い手の高齢化や人口減少により、地域での作業体制の確保が難しくなっているため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:行政要望等に基づく道路修繕17箇所、緊急修繕59箇所を実施するとともに、除雪延長142km、除草委託14団体への支援を行った。 理由:道路パトロールや住民からの要望を踏まえ、関係団体及び委託事業者と連携しながら適切な維持管理を実施したため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:地域による除草及び除雪活動の担い手確保が課題となっている。 理由:高齢化や人口減少により、従来の地域活動を継続することが難しくなっているため。 関連URL 除草委託事業 区画図 https://www.town.nanbu.tottori.jp/system/site/upload/live/4678/atc_1240329554.pdf 除雪計画図 https://www.town.nanbu.tottori.jp/user/filer_public/7a/2a/7a2a3aac-f723-4f79-be64-3cf85b9b6877/r7-nendo-nanbu-mati-josetu-keikaku-zu.pdf					区分	項目	予算額 (千円)	数量	決算額 (千円)	備考	町道管理	行政要望、道路付 属物修繕等	27,550	17 箇所	27,510	工事請負費(行政要望、道路照明修繕等)		1,800	8 箇所	1,498	要望の測量設計、未登記地測量設計	小動物死骸処理	365	21 体	204		道路台帳更新業務	2,963	6 路線	2,766		町道修繕	緊急修繕	7,600	59 箇所	7,594	施設修繕費	除雪	除雪延長	46,275	142 km	45,150	除雪機械借上料 (建設業11社、農業法人等4者)	積雪確認	9	1 集落	5	集落確認者への謝礼 @4,500円×1人	除草	委託	6,435	14 団体	6,435	除草委託 総延長L=19,140m 12路線	燃料支給	322	24 団体	134	支給上限 360/団体	地域除雪	燃料支給	21 団体	105	支給上限 360/団体	小型除雪機点検	414	49 台	414		事務費	事務費	7,353		7,299	備品購入、公用車リース等	計		101,086		99,114	99%
区分	項目	予算額 (千円)	数量	決算額 (千円)	備考																																																																												
町道管理	行政要望、道路付 属物修繕等	27,550	17 箇所	27,510	工事請負費(行政要望、道路照明修繕等)																																																																												
		1,800	8 箇所	1,498	要望の測量設計、未登記地測量設計																																																																												
	小動物死骸処理	365	21 体	204																																																																													
	道路台帳更新業務	2,963	6 路線	2,766																																																																													
町道修繕	緊急修繕	7,600	59 箇所	7,594	施設修繕費																																																																												
除雪	除雪延長	46,275	142 km	45,150	除雪機械借上料 (建設業11社、農業法人等4者)																																																																												
	積雪確認	9	1 集落	5	集落確認者への謝礼 @4,500円×1人																																																																												
除草	委託	6,435	14 団体	6,435	除草委託 総延長L=19,140m 12路線																																																																												
	燃料支給	322	24 団体	134	支給上限 360/団体																																																																												
地域除雪	燃料支給		21 団体	105	支給上限 360/団体																																																																												
	小型除雪機点検	414	49 台	414																																																																													
事務費	事務費	7,353		7,299	備品購入、公用車リース等																																																																												
計		101,086		99,114	99%																																																																												

款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路維持費	会計名	一般会計
事業名		4	除雪機械運転手育成支援事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	「南部町除雪計画」に基づく除雪業務に従事する方						総合計画における位置づけ		
								⑪インフラを整え、安心を支える		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)		
			根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	除雪における除雪機械の運転手となる若手人材を育成する。						名称	南部町除雪機械運転手育成支援事業補助金交付要綱	
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000880.html	
								名称	鳥取県除雪機械運転手育成支援事業(間接補助) 補助金交付要綱	
								URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1098223/R7.2.28-tyokusetuyoukou.pdf	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	冬期も安心して暮らすことができる地域づくりを進めること						名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
新規申請が発生したため								大型免許の取得者がいなかった		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		9.3 %			
	0 円	74,000 円	74,000 円	皆 増 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	800 千円	800 千円	0 千円	0.0 %						

【事業内容】
「南部町除雪計画」に基づく除雪業務に従事するため、自ら又は事業所において使用する方が除雪機械の運転に必要な資格を取得する際に、その取得に係る経費に対して補助金を交付するものである。

補助対象者	年齢要件	対象内容		補助率			補助金上限額
		資格種別	経費		うち県	うち町	
「南部町除雪計画」に基づく除雪業務に従事するため、自ら又は事業所において使用する者	60歳未満	大型免許、大型特殊免許、車両系建設機械運転技能講習	教習料、講習料、学科試験料、実技試験料、運転免許受験料	2/3	1/2	1/2	40万円

資格種別	運転可能車両	現所持免許	講習時間	講習費用
大型免許	除雪トラック	普通免許	31時間	467千円
大型特殊免許	ドーザ、グレーダ、ロータリー	—	6時間	123千円
車両系建設機械運転技能講習			3日間	45千円

【決算の状況】
(計画) 大型免許取得申請見込み 1名分 312千円 (補助率2/3)
(実績) (1)成果上の実績
①達成出来たこと(成果実績)とその理由
実績:大型特殊免許取得者が1名あった。
理由:補助制度の周知を行い、受講希望者の免許取得につながったため。
②達成出来なかったこと(問題)とその理由
問題:大型免許の取得者はなかった
理由:免許取得希望者が少なく、受講者の確保に至らなかったため。
(2)活動上の実績
①実施出来たこと(活動実績)とその理由
実績:除雪作業従事者向け免許取得補助制度の周知及び受講希望者の募集を実施した。
理由:広報や関係機関への案内を行い、制度利用の促進に努めたため。
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
問題:大型免許取得講習への申込みを補助対象期間内に実施できなかった。
理由:県補助金の申請期間に合わせて募集を行ったが、対象期間内に受講希望者の申出がなかったため。

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
15-2-5-2	鳥取県除雪機械運転育成支援事業補助金	0	0	18 負担金補助及び交付金	0	74,000
	一般財源	0	74,000			
	計	0	74,000	計	0	74,000

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	鳥取県と連携し、町内の道路除雪を担う除雪機械運転手の確保・育成を進める。特に若手人材の免許取得を支援することで、将来的な除雪体制の維持・強化を図り、冬期においても安全・安心な道路交通の確保につなげる。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成出来た点をさらに伸ばす方策	除雪業務受託事業者へDMや個別訪問等による周知を行い、制度利用を促進する。また、翌年度以降の免許取得見込みや人材確保の状況について聞き取りを行い、計画的な人材育成につなげる。
解決すべき課題への方策	除雪機械運転手の高齢化や担い手不足が進んでいることから、県補助制度を活用した免許取得支援を継続するとともに、事業者への早期周知に努める。あわせて、若手従業員の確保や育成に資する方策について関係機関と連携しながら検討を進める。

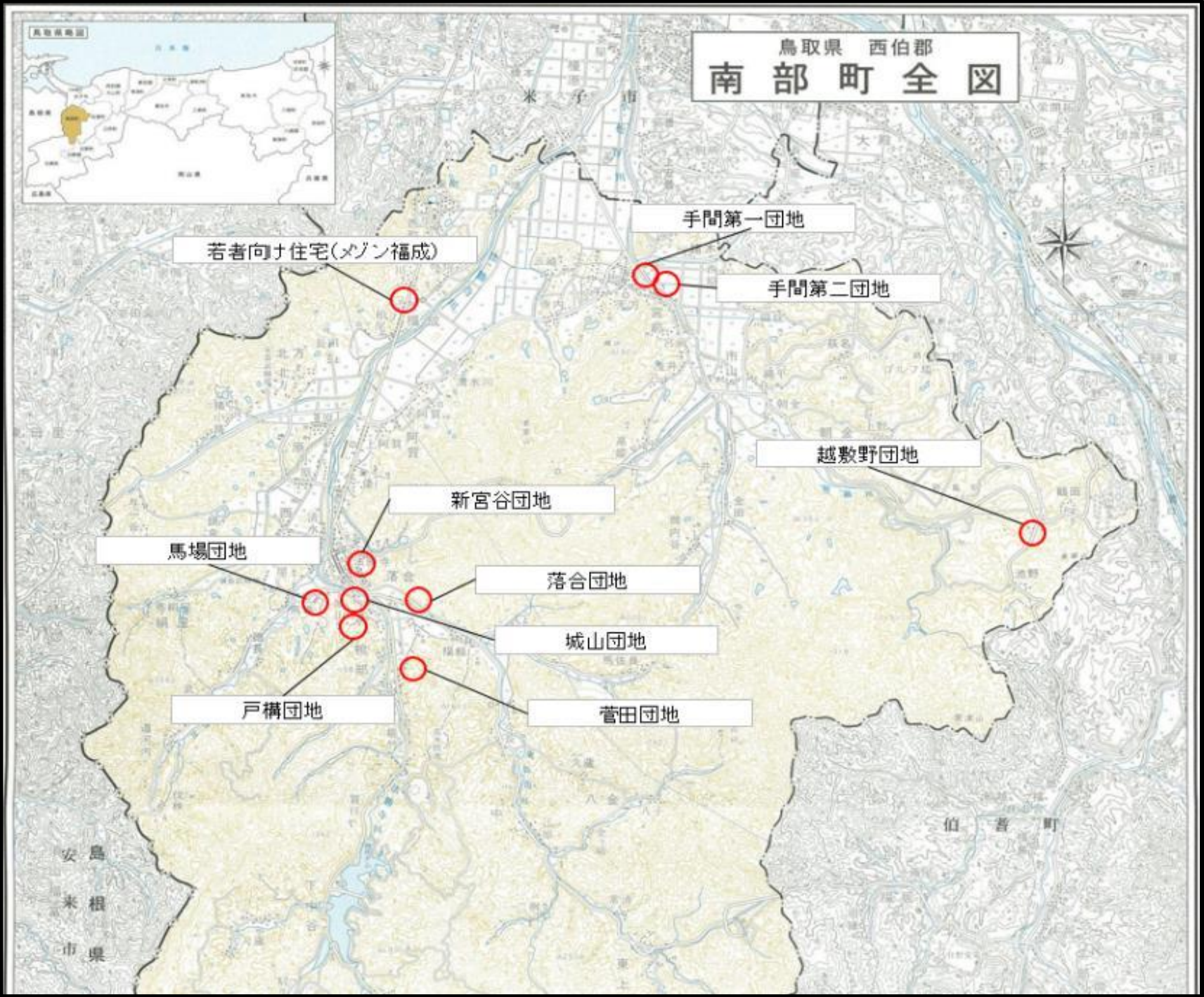
款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路維持費	会計名	一般会計																	
事業名		5	道路除雪機械等購入支援事業						所属名	建設課																	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町と除雪用建設機械賃貸借業務契約を締結し、町内の道路等での除雪業務を行う方又は行う予定の方				総合計画における位置づけ																					
						⑩自然災害や犯罪などからくらしを守る「4つの挑戦」から見た位置づけ																					
	意図 (対象をどうするか)	持続的な除雪体制の確保及び強化を図る				③環境に挑戦(環境と共生のまち)																					
						根拠法令・要綱等																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	降雪期でも地域に安心して除雪作業ができる				名称	南部町補助金等交付規則																				
						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000167.html																				
						名称	南部町道路除雪機械等購入支援事業補助金交付要綱																				
						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000881.html																				
						名称																					
						URL																					
				決算増減の理由		執行率の理由																					
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		補助金利用なし		補助金利用要望がなかった																
	0 円		0 円		0 円		皆 増 %																				
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減		本年度執行率	0.0 %																	
	500 千円		500 千円		0 千円		0.0 %																				
【事業内容】 町と除雪用建設機械賃貸借業務契約を締結し、町道等での除雪業務を行う方又は行う予定の方が保有する除雪用建設機械等の増強に要するバケット購入費及び装着費(1/2補助:上限500千円)に対して、補助金を交付する。 補助率:1/2(補助金上限額 500千円) 【決算の状況】 (計画) 申請見込み件数 1件 500千円 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:なし 理由:除雪機械アタッチメントの更新需要がなかったため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:補助制度の利用実績がなかった。 理由:対象となる除雪機アタッチメントの更新需要がなく、補助申請に至らなかったため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:補助制度について広報及び除雪事業者への周知を実施した。 理由:地域の除雪体制維持に必要な機械更新を支援するため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:特になし 理由:制度周知等の予定していた活動は実施できたため。 (過去の補助実績) <table><tr><td>年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>内訳</td></tr><tr><td>補助件数</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>補助はいずれもまこもだけ組合</td></tr></table>												年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	内訳	補助件数	0	1	0	1	0	0	補助はいずれもまこもだけ組合
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	内訳																				
補助件数	0	1	0	1	0	0	補助はいずれもまこもだけ組合																				
(歳入内訳 単位:円)						(歳出内訳 単位:円)																					
款-項-目-節		科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額																
								18 負担金補助及び交付金	0	0																	
		一般財源				0	0																				
		計				0	0	計	0	0																	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		除雪用建設機械等の整備を支援し、除雪体制の強化と除雪業務従事者の確保を図ることで、安定した除雪体制を維持する。																								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																										
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		広報やDMを活用し、除雪事業者への制度周知を継続する。																								
	解決すべき課題への方策		除雪業務従事者の不足に対応するため、事業者の確保に努めるとともに、農業者等の除雪業務への参加を促進する。																								

款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川総務費	会計名	一般会計
事業名		1	河川総務費事務費						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①樋門及び排水ポンプ操作及び点検を行う操作員 ②朝鍋ダム周辺施設及び利用者、新宮谷公園の利用者						総合計画における位置づけ		
								⑩自然災害や犯罪などからくらしを守る		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)		
	意図 (対象をどうするか)	①樋門の定期点検及び操作により、洪水防御と内水被害防止に努める。 ②安全かつ快適な施設利用						根拠法令・要綱等		
								名称	河川法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/339AC0000000167	
								名称	南部町樋門等操作員設置要綱	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	①河川管理施設(樋門・排水ポンプ)を管理し、災害発生の未然防止、安全向上を図る。 ②当該年度計画の実施						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000861.html	
								名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	朝鍋ダム周辺施設管理事業と予算統合したため		非該当		
		4,101,352 円	4,621,850 円	520,498 円	12.7 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		4,421 千円	5,409 千円	988 千円	22.3 %					
		本年度執行率	85.4 %							
【事業内容】										
1 国及び県が設置した河川樋門等の操作委託を受託し、点検管理・操作等を実施するため操作員に委嘱する。また、河川の増水時には、樋門の開閉操作を行い、水害防止に努める。 設置数： (国)法勝寺川／11ヶ所 (県)小松谷川／6ヶ所、北方川／1ヶ所、東長田川／1ヶ所、法勝寺川／2ヶ所、計10ヶ所										
2 境地内に設置された内水排除のための排水ポンプの維持管理を行う。										
3 新宮谷公園を憩いの場として、快適に利用できるよう、除草等の維持管理を委託する。										
4 朝鍋ダム周辺施設、親水公園を快適に利用できる環境を維持するため、除草・維持管理をあいみ富有の里地域振興協議会等へ委託する(芝の管理、町道の除草、トイレ等の清掃管理など)。										
【決算の状況】										
(計画)及び(実績)1.成果実績または活動実績										
費目		予算額	決算額	備考						
需用費		1,242,000	1,059,739							
消耗品費		128,000	126,649	朝鍋ダム周辺管理施設トイレ用品等						
燃料費		56,000	46,794	ガソリン、混合油等						
光熱水費		568,000	396,934	境排水ポンプ電気代						
施設修繕料		385,000	385,000	境工区排水ポンプ施設発電機蓄電池修繕料						
備品修繕料		105,000	104,362	芝刈り機修繕料						
役務費		98,000	86,728							
通信運搬費		42,000	31,828	警報通報FAX送信料						
手数料		10,000	9,600	浄化槽法定検査料						
その他保険料		46,000	45,300	樋門捜査員傷害保険料						
委託料		3,983,000	3,445,383							
保守点検委託料		198,000	198,000	境排水ポンプ設備年点検業務						
施設管理委託料		3,785,000	3,247,383	樋門操作点検委託料、朝鍋ダム周辺施設管理料等						
原材料費		56,000	0							
負担金補助及び交付金		30,000	30,000	日野川水系改修期成同盟会負担金						
計		5,409,000	4,621,850							
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
14-3-3-1	樋門操作費委託金(法勝寺川)		1,298,475	1,235,649	10 需用費	699,231	1,059,739			
15-3-3-2	樋門等操作費委託金		475,065	373,233	11 役務費	88,619	86,728			
					12 委託料	3,227,622	3,445,383			
					15 原材料費	55,880	0			
					18 負担金補助及び交付金	30,000	30,000			
	一般財源		2,327,812	3,012,968						
	計		4,101,352	4,621,850	計	4,101,352	4,621,850			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		①樋門の定期点検及び操作により、豪雨時に適切な処理が行え排水防御と内水被害防止効果に役立っている。 ②快適な施設環境を維持するため、継続して管理を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		①国交省等の講習会に積極的に参加し、適切な樋門操作を学びより適切な管理で安全性の向上に努める。 ②適切な維持管理を継続し、安全で快適な施設環境のさらなる維持・向上を目指す。							
	解決すべき課題への方策		①操作員が交代したときは、講習会開催に参加し樋門操作の基礎を学び適切に操作できるようにする。 ②、新たな利用者と呼び込むための積極的な利用促進活動に努める。							

事業名	1	河川総務費事務費	所属名	建設課
【決算の状況】 (計画) ＜国樋門＞管理人9人 （点検）該当月の点検9回/年×12ヶ所＝108回 （操作）45時間（待機）50時間 ＜県樋門＞管理人10人 （点検）該当月の点検5回/年×10ヶ所＝50回 （操作）120時間（研修）1回/年×10ヶ所＝10回 ＜新宮谷公園＞ 除草作業(年2回) 草刈り作業 224時間×1,230円＝275,520円 片付け作業 100時間×1,025円＝123,000円 運搬費 24時間×1,025円＝24,600円 刈払い機 224時間×318円＝71,232円 軽トラック 24時間×727円＝17,448円 処分費 115,888円 諸経費 42,312円 合計 670,000円 （税込 737,000円） 〔R7.10.27完了農事組合法人やまとだに〕 ＜朝鍋ダム周辺施設管理＞ ・朝鍋ダム周辺整備施設管理業務 (1) 朝鍋ダム管理棟 管理棟清掃(年2回)、管理棟貸出、緑地の清掃、除草、植え込み管理 (2) 県道沿い駐車場清掃(年2回) (3) 多目的広場駐車場清掃 多目的広場維持管理(芝刈り、肥料散布、除草剤散布等) 親水公園維持管理(清掃、除草) (4) 町道除草(年2回) 〔R8.3.31完成あいみ富有の里地域振興協議会〕 ・浄化槽維持管理 〔R8.3.5完了みつわ環境開発(株)〕 ・浄化槽清掃 〔R8.3.30完了(有)みつわ衛生社〕 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績： 樋門施設の適切な維持管理及び操作体制の確保を行い、有事に備えた管理体制を維持した。 理由： 定期点検及び操作研修を実施し、施設の機能維持と操作員の技術向上を図ったため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題： 特になし。 理由： 計画していた点検及び操作研修を実施し、施設機能の維持を図ることができたため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績： 計画に基づく施設点検及び操作研修を実施した。 理由： 出水時に適切な樋門操作を行える体制を維持するため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題： 樋門管理者の高齢化が進んでいる。 理由： 地域における担い手の確保が難しくなっているため。 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績： 適切な維持管理により、安全に水遊びや自然観察を楽しめる良好な環境を確保できた。 理由： 定期的な巡回による水辺の安全確認を徹底し、良好な環境の維持に努めたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題： 認知度向上に向けた積極的な情報発信やイベント企画等には結びつかなかった。 理由： 新規利用者呼び込むための効果的な情報発信やイベント企画等にまで至らなかったため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績： 公園内の日常的な清掃や水辺の安全管理を実施できた。 理由： 定期的な巡回を行い、施設の異常や環境悪化の早期発見・早期対応に努めたため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題： 新たな利用者呼び込むための利用促進活動ができなかった。 理由： 施設維持の確実な執行を優先したため。 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績： 安全で快適な施設環境を維持できた。 理由： 定期的な清掃や除草を計画的に行い、良好な施設状態を確保し続けたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題： 周辺の自然環境の変化等に応じた新たな利活用策の検討や、さらなる利用者の誘致にまでは至らなかった。 理由： 施設の現状維持が中心となり、発展的な施策にまで踏み込めなかったため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績： 施設の定期的な除草・清掃を執行できた。 理由： 状況に応じた現場巡回を徹底したため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 実績： 新たな利用者呼び込むための利用促進活動ができなかった。 理由： 施設維持の確実な執行を優先したため。				

款	7	土木費	項	4	住宅費	目	1	公営住宅管理費	会計名	一般会計
事業名		1	町営住宅管理事業						所属名	建設課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①町営住宅172戸 ②セーフティネット住宅の賃貸人						総合計画における位置づけ		
								⑩ともに支え合い元気に暮らすまちづくり		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)		
	意図 (対象をどうするか)	①低所得かつ住宅に困窮する者へ低廉な家賃で住居を提供する ②住宅確保要配慮者の居住確保する						根拠法令・要綱等		
								名称	公営住宅法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/326AC1000000193	
								名称	南部町営住宅条例	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	①低所得者へ低廉な家賃で生活を営む住宅を提供し、生活の安定と社会福祉の増進を図る ②住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を図る						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000426.html	
								名称	南部町住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進事業補助金交付要綱	
URL								https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000922.html		
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	若者向け住宅のリース期間が終了したため		非該当			
	10,980,574 円	6,073,964 円	△ 4,906,610 円	△ 44.7 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	11,928 千円	7,505 千円	△ 4,423 千円	△ 37.1 %						
本年度執行率		80.9 %								
【事業内容】										
1 健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする(公営住宅法)。										
2 若者の定住化を促進し、地域の活性化を図る。										
3 少子化対策事業として、結婚・出産・子育て世代の移住を促し、人口増加と地域の活性化を促進する。										
(1) 管理状況(R8.3.31現在) 単位:戸										
管理戸数		172	新宮谷11、城山20、鴨部2、菅田20、戸構36、馬場35、落合14、越敷野10、手間第一10、手間第二10、メゾン福成4							
入居		102								
空家		11	城山1、落合1、手間第一6、手間第二1、越敷野2							
政策空家		57	新宮谷6、城山2、菅田10、戸構24、馬場15							
集会所利用		2	馬場1、菅田1							
(2) 入居要件										
ア ・世帯の収入が公営住宅法に定める収入基準に合うこと(月平均所得が15万8千円以下)										
・現に住宅に困窮していることがあきらかな人										
イ ・同居者に会見第二小学校へ通学する児童または申込みの次年度に会見第二小学校へ就学する児童がいる事										
ウ ・対象者:35歳以下(単身者、夫婦、子のいる者)										
・申請者の所得が125万円以上であること										
・入居期間:5年間										
(共通) ・市町村税を滞納していないこと										
・町内在住の連帯保証人が2人又は保証業者による保証契約										
4 高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅確保に配慮が必要な住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅として登録された民間賃貸住宅に対して支援を行う。										
・補助率…国1/2、県1/4、町1/4										
・R8.5.31現在、町内のセーフティネット住宅登録件数 173戸										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
13-1-4-2	町営住宅使用料		6,574,802	6,073,964	10 需用費	5,246,142	4,611,370			
					11 役務費	707,444	717,254			
					12 委託料	121,579	142,540			
					13 使用料及び賃借料	4,905,409	602,800			
	一般財源		4,405,772	0						
	計		10,980,574	6,073,964	計	10,980,574	6,073,964			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		①老朽化住宅の生涯費用試算を行い、コストの低減化を図ると共に、継続的な住宅需要を確保する。住生活基本計画及び長寿命化計画に基づき、今後の検討を行う。 ②民間賃貸のセーフティネット住宅の普及促進のため、啓発を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		①定期的な現地巡回により、きめ細かな対応体制を強化する。							
	解決すべき課題への方策		①南部町公営住宅等長寿命化計画及び住生活基本計画に準じ、解体や集約移転を行うなど、最適化を進める。 ②制度の周知や連携のあり方について検討し、適切な対応に努める。							

事業名	1	町営住宅管理事業	所属名	建設課																																																																																																																				
【決算の状況】 (計画及び実績) 歳出 単位:円 <table><tr><td>費目</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>備考</td></tr><tr><td>需用費</td><td>5,188,000</td><td>4,611,370</td><td></td></tr><tr><td> 光熱水費</td><td>80,000</td><td>78,083</td><td>電気代、水道代</td></tr><tr><td> 施設修繕料</td><td>5,108,000</td><td>4,533,287</td><td>雨漏り修理等 57件</td></tr><tr><td>役務費</td><td>763,000</td><td>717,254</td><td></td></tr><tr><td> 通信運搬費</td><td>158,000</td><td>112,426</td><td>郵送料</td></tr><tr><td> 火災保険料</td><td>605,000</td><td>604,828</td><td></td></tr><tr><td>委託料</td><td>208,000</td><td>142,540</td><td>生垣等剪定委託</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>806,000</td><td>602,800</td><td>CATV使用料</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>540,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>7,505,000</td><td>6,073,964</td><td></td></tr></table> 徴収率 <table><tr><td>年度末</td><td>現年</td><td>過年度</td></tr><tr><td>R3</td><td>96.29%</td><td>16.84%</td></tr><tr><td>R4</td><td>98.22%</td><td>35.41%</td></tr><tr><td>R5</td><td>98.08%</td><td>10.60%</td></tr><tr><td>R6</td><td>99.25%</td><td>37.61%</td></tr><tr><td>R7</td><td>98.98%</td><td>12.53%</td></tr></table> 充当 ①歳入 (単位:円) <table><tr><td>科目名</td><td>決算額</td></tr><tr><td>町営住宅使用料(現年分)</td><td>16,610,374</td></tr><tr><td>町営住宅使用料(滞納分)</td><td>399,900</td></tr><tr><td>町営住宅使用料計</td><td>17,010,274</td></tr><tr><td> </td><td></td></tr><tr><td>町営住宅退去時修繕負担金</td><td>0</td></tr><tr><td> </td><td></td></tr><tr><td>歳入合計</td><td>17,010,274</td></tr></table> ②歳出 (単位:円) <table><tr><th rowspan="2">科目名</th><th rowspan="2">決算額</th><th colspan="3">内 訳</th></tr><tr><th>うち町営住宅 使用料</th><th>うち町営住宅 補修分担金</th><th>うち町営住宅 退去時修繕負 担金</th></tr><tr><td>町営住宅管理事業</td><td>6,073,964</td><td>6,073,964</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>地方債償還元金(住宅分)</td><td>9,108,443</td><td>9,108,443</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>地方債償還利子(住宅分)</td><td>0</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>歳出合計</td><td>15,182,407</td><td>15,182,407</td><td>0</td><td>0</td></tr></table> 表中の歳入、歳出の差額は建設課担当職員の人件費へ充当。 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績： ①公営住宅における安全・安心な住環境の維持。 理由： ①日常的な不具合への迅速な対応や、現地巡回による要望の早期把握に努め、居住環境の著しい悪化を未然に防ぐことができたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題： ①随時修繕における、さらなる修繕費用の低減化。 ②民間賃貸セーフティネット住宅の登録・活用実績の創出。 理由： ①日々の突発的な不具合への対応が最優先となり、定期巡回を通じて修繕が必要な箇所を早期に発見・処置するという、コストをより抑えるための先回りした対応ができなかったため。 ②具体的な相談・ニーズが発生せず、実績に結びつかなかったため。 (2)活動上の実績…次項に記載					費目	予算額	決算額	備考	需用費	5,188,000	4,611,370		光熱水費	80,000	78,083	電気代、水道代	施設修繕料	5,108,000	4,533,287	雨漏り修理等 57件	役務費	763,000	717,254		通信運搬費	158,000	112,426	郵送料	火災保険料	605,000	604,828		委託料	208,000	142,540	生垣等剪定委託	使用料及び賃借料	806,000	602,800	CATV使用料	負担金補助及び交付金	540,000	0		計	7,505,000	6,073,964		年度末	現年	過年度	R3	96.29%	16.84%	R4	98.22%	35.41%	R5	98.08%	10.60%	R6	99.25%	37.61%	R7	98.98%	12.53%	科目名	決算額	町営住宅使用料(現年分)	16,610,374	町営住宅使用料(滞納分)	399,900	町営住宅使用料計	17,010,274			町営住宅退去時修繕負担金	0			歳入合計	17,010,274	科目名	決算額	内 訳			うち町営住宅 使用料	うち町営住宅 補修分担金	うち町営住宅 退去時修繕負 担金	町営住宅管理事業	6,073,964	6,073,964	0	0						地方債償還元金(住宅分)	9,108,443	9,108,443	0	0	地方債償還利子(住宅分)	0		0	0						歳出合計	15,182,407	15,182,407	0	0
費目	予算額	決算額	備考																																																																																																																					
需用費	5,188,000	4,611,370																																																																																																																						
光熱水費	80,000	78,083	電気代、水道代																																																																																																																					
施設修繕料	5,108,000	4,533,287	雨漏り修理等 57件																																																																																																																					
役務費	763,000	717,254																																																																																																																						
通信運搬費	158,000	112,426	郵送料																																																																																																																					
火災保険料	605,000	604,828																																																																																																																						
委託料	208,000	142,540	生垣等剪定委託																																																																																																																					
使用料及び賃借料	806,000	602,800	CATV使用料																																																																																																																					
負担金補助及び交付金	540,000	0																																																																																																																						
計	7,505,000	6,073,964																																																																																																																						
年度末	現年	過年度																																																																																																																						
R3	96.29%	16.84%																																																																																																																						
R4	98.22%	35.41%																																																																																																																						
R5	98.08%	10.60%																																																																																																																						
R6	99.25%	37.61%																																																																																																																						
R7	98.98%	12.53%																																																																																																																						
科目名	決算額																																																																																																																							
町営住宅使用料(現年分)	16,610,374																																																																																																																							
町営住宅使用料(滞納分)	399,900																																																																																																																							
町営住宅使用料計	17,010,274																																																																																																																							
町営住宅退去時修繕負担金	0																																																																																																																							
歳入合計	17,010,274																																																																																																																							
科目名	決算額	内 訳																																																																																																																						
		うち町営住宅 使用料	うち町営住宅 補修分担金	うち町営住宅 退去時修繕負 担金																																																																																																																				
町営住宅管理事業	6,073,964	6,073,964	0	0																																																																																																																				
地方債償還元金(住宅分)	9,108,443	9,108,443	0	0																																																																																																																				
地方債償還利子(住宅分)	0		0	0																																																																																																																				
歳出合計	15,182,407	15,182,407	0	0																																																																																																																				

事業名	1	町営住宅管理事業	所属名	建設課
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績： ①入居者からの苦情・要望受付に基づく、日常的な小規模修繕や緊急対応の迅速な執行。 理由： ①住民の安全や生活に直結する不具合への対応を最優先とし、臨機応変な窓口対応および現場処理を徹底したため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題： ①随時修繕における、さらなる修繕費用の低減化。 ②民間賃貸セーフティネット住宅の活用に向けた、町独自の周知・普及活動の展開。 理由： ①日々の突発的な不具合対応や苦情処理に追われ、中長期的な視点での巡回や修繕計画の平準化に十分な時間を割けなかったため。 ②民間事業者や入居希望者からの具体的な相談・ニーズが発生しておらず、町として特段の周知活動を行う必要性や実績が生じなかったため。 南部町公営住宅等長寿命化計画及び住生活基本計画： https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kensetsu/jii_koueiutaku/s141/				
				

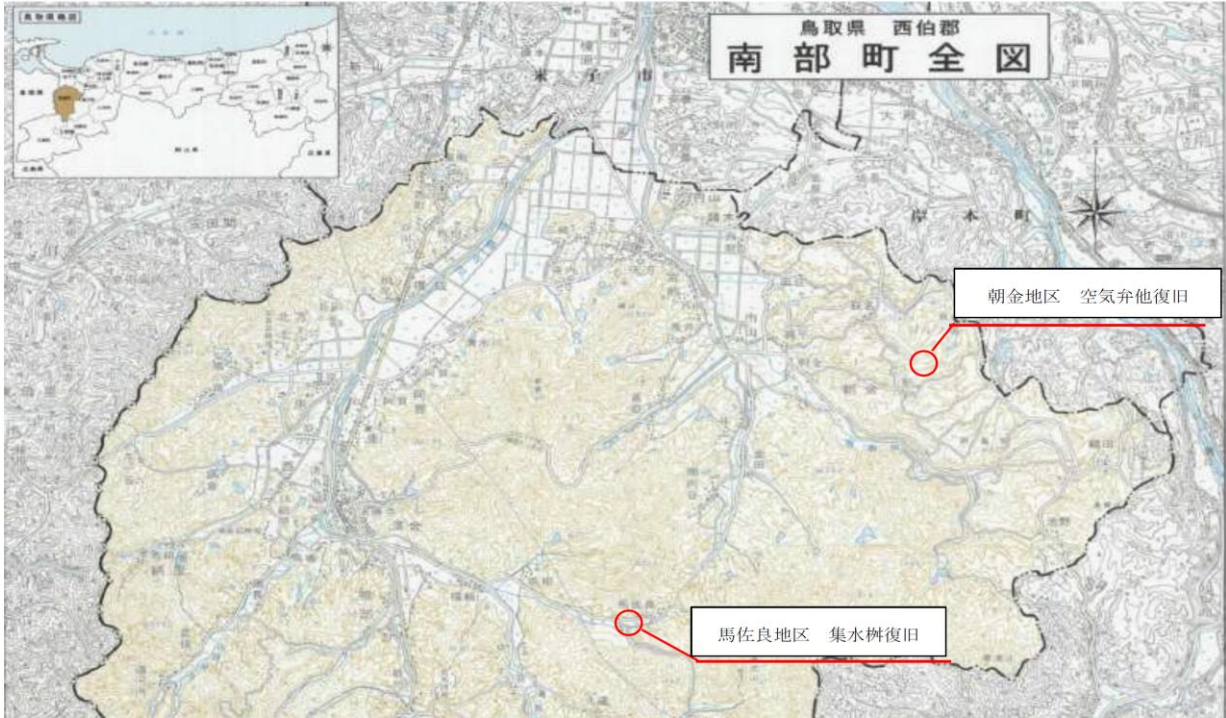
款	7	土木費	項	4	住宅費	目	1	公営住宅管理費	会計名	一般会計																																																	
事業名		2	県営住宅管理事業						所属名	建設課																																																	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	県営住宅21戸						総合計画における位置づけ																																																			
								⑩ともに支え合い元気に暮らすまちづくり																																																			
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																			
								①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)																																																			
	意図 (対象をどうするか)	低所得かつ住宅に困窮する者へ低廉な家賃で住居を提供する						根拠法令・要綱等																																																			
								名称	公営住宅法																																																		
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/326AC1000000193																																																		
								名称	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例																																																		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	低所得者へ低廉な家賃で生活を営む住宅を提供し、生活の安定の社会福祉の増進を図る						URL	https://www.lg-reiki.net/tottori/reiki_honbun/k500RG00000771.html																																																		
								名称																																																			
URL																																																											
決算増減の理由								執行率の理由																																																			
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減																																																			
		855,302 円		944,091 円		88,789 円		10.4 %																																																			
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減																																																			
		978 千円		966 千円		△ 12 千円		△ 1.2 %																																																			
						本年度執行率		97.7 %																																																			
【事業内容】 県営住宅は、県から事務委託を受け、町が維持管理及び周辺環境整備を行っている。 1 管理状況(R8.3.31現在) 単位:戸 <table><tr><td>管理戸数</td><td>21</td><td>法勝寺団地21</td></tr><tr><td>入居</td><td>21</td><td>うち、グループホーム2</td></tr><tr><td>空家</td><td>0</td><td></td></tr></table> 2 入居条件 (1)世帯の収入が公営住宅法に定める収入基準に合うこと(月平均所得が15万8千円以下) (2)現に住宅に困窮していることが明らかな人 (3)連帯保証人1人又は保証会社による保証契約											管理戸数	21	法勝寺団地21	入居	21	うち、グループホーム2	空家	0																																									
管理戸数	21	法勝寺団地21																																																									
入居	21	うち、グループホーム2																																																									
空家	0																																																										
【決算の状況】 (計画及び実績) 歳出 単位:円 <table><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>需用費</td><td>791,870</td><td>781,208</td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>163,000</td><td>152,338</td><td>コピー代、事業用図書等</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>628,870</td><td>628,870</td><td>水道修繕など 11件</td></tr><tr><td>役務費</td><td>28,000</td><td>28,000</td><td>郵送料</td></tr><tr><td>委託料</td><td>146,130</td><td>134,883</td><td>剪定業務</td></tr><tr><td>計</td><td>966,000</td><td>944,091</td><td></td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2">年度末</th><th colspan="2">徴収率</th></tr><tr><th>現年</th><th>過年度</th></tr><tr><td>R3</td><td>100.00%</td><td>5.15%</td></tr><tr><td>R4</td><td>99.55%</td><td>0.05%</td></tr><tr><td>R5</td><td>99.65%</td><td>0.05%</td></tr><tr><td>R6</td><td>99.50%</td><td>1.04%</td></tr><tr><td>R7</td><td>99.39%</td><td>1.67%</td></tr></table> (実績)…次項に記載											費目	予算額	決算額	備考	需用費	791,870	781,208		消耗品費	163,000	152,338	コピー代、事業用図書等	施設修繕料	628,870	628,870	水道修繕など 11件	役務費	28,000	28,000	郵送料	委託料	146,130	134,883	剪定業務	計	966,000	944,091		年度末	徴収率		現年	過年度	R3	100.00%	5.15%	R4	99.55%	0.05%	R5	99.65%	0.05%	R6	99.50%	1.04%	R7	99.39%	1.67%	
費目	予算額	決算額	備考																																																								
需用費	791,870	781,208																																																									
消耗品費	163,000	152,338	コピー代、事業用図書等																																																								
施設修繕料	628,870	628,870	水道修繕など 11件																																																								
役務費	28,000	28,000	郵送料																																																								
委託料	146,130	134,883	剪定業務																																																								
計	966,000	944,091																																																									
年度末	徴収率																																																										
	現年	過年度																																																									
R3	100.00%	5.15%																																																									
R4	99.55%	0.05%																																																									
R5	99.65%	0.05%																																																									
R6	99.50%	1.04%																																																									
R7	99.39%	1.67%																																																									
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-3-3-3</td><td>県営住宅管理委託料</td><td>855,302</td><td>944,091</td><td>10 需用費</td><td>834,302</td><td>781,208</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>21,000</td><td>28,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12 委託料</td><td>0</td><td>134,883</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>855,302</td><td>944,091</td><td>計</td><td>855,302</td><td>944,091</td></tr></table>											款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-3-3-3	県営住宅管理委託料	855,302	944,091	10 需用費	834,302	781,208					11 役務費	21,000	28,000					12 委託料	0	134,883									一般財源	0	0					計	855,302	944,091	計	855,302	944,091
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																					
15-3-3-3	県営住宅管理委託料	855,302	944,091	10 需用費	834,302	781,208																																																					
				11 役務費	21,000	28,000																																																					
				12 委託料	0	134,883																																																					
	一般財源	0	0																																																								
	計	855,302	944,091	計	855,302	944,091																																																					
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		外壁塗装等、規模の大きな維持管理について、県へ実施要望を行う。																																																								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																										
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		定期的な現地巡回を継続・強化し、入居者からの苦情や要望に基づく日常的な小規模修繕および緊急対応を迅速に執行することで、安全・安心な住環境の維持と入居者満足度のさらなる向上を図る。																																																								
	解決すべき課題への方策		県の関係機関と連携した外壁等の抜本的な老朽化対策の早期実施による中長期的な維持管理コストの低減を図るとともに、長期滞納者への適時適切な督促や個別交渉を実施し、未収金の確実な回収・圧縮を推進する。																																																								

事業名	2	県営住宅管理事業	所属名	建設課
(実績) (1) 成果上の実績 ① 達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績： 公営住宅における適切な維持管理と必要な修繕の実施による、安全・安心な住環境の確保。 理由： 日常的な不具合への迅速な対応や、現地巡回による要望の早期把握に努めた結果、入居者の不満や居住環境の著しい悪化を未然に防ぐことができたため。 ② 達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題： 経年劣化に伴う外壁等の抜本的な老朽化対策、および中長期的な維持管理コストの低減。 理由： 外壁塗装等の大規模な修繕には多額の費用が必要であり、町単独での対応だけでは、将来的なコストを抑えるための早期かつ抜本的な修繕着手に至らなかったため。 (2) 活動上の実績 ① 実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績： 入居者からの苦情・要望受付に基づく、日常的な小規模修繕や緊急対応の迅速な執行。 理由： 住民の安全や生活に直結する不具合への対応を最優先とし、臨機応変な窓口対応および現場処理を徹底したため。 ② 実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題： 長期滞納者に対して督促等を行ったが、納付への進展が得られず、未収金の確実な回収・圧縮に至らなかった。 理由： 日常の緊急修繕や苦情処理を優先しつつ、滞納者への納付指導を重ねたものの、相手方の諸事情等により計画的な支払いの合意や回収にまで至らなかったため。				
				

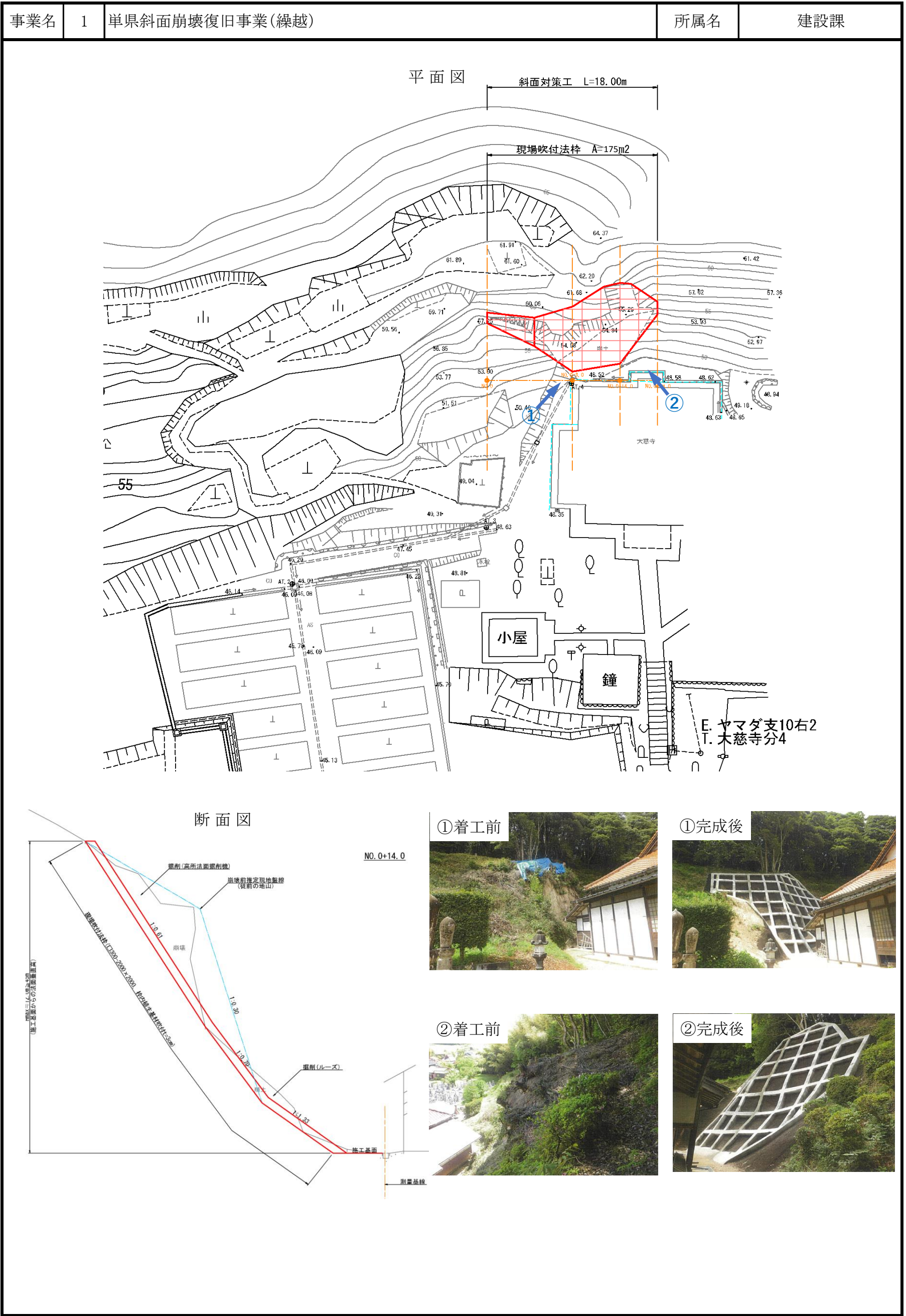
款	7	土木費	項	6	下水道費	目	1	下水道費	会計名	一般会計																																																																																																																													
事業名		1	下水道事業費						所属名	建設課																																																																																																																													
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	下水道事業会計	総合計画における位置づけ																																																																																																																																				
			⑩ともに支え合い元気に暮らすまちづくり																																																																																																																																				
			「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																																																				
			③環境に挑戦(環境と共生のまち)																																																																																																																																				
	根拠法令・要綱等																																																																																																																																						
	意図 (対象をどうするか)	適切な繰出しを行い、下水道事業の安定的な経営を支援する。	名称	令和7年度地方公営企業法繰出金通知(総務省)																																																																																																																																			
			URL	https://www.soumu.go.jp/main_content/001002731.pdf																																																																																																																																			
			名称	地方公営企業法																																																																																																																																			
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/327AC0000000292/																																																																																																																																			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	下水道事業の経営基盤の維持及び安定的な事業運営が図られる。	名称																																																																																																																																				
URL																																																																																																																																							
決算増減の理由			執行率の理由																																																																																																																																				
非該当			非該当																																																																																																																																				
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		84.0 %																																																																																																																																
	214,200,000 円	200,000,000 円	△ 14,200,000 円	△ 6.6 %																																																																																																																																			
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																																																																																			
	239,346 千円	238,000 千円	△ 1,346 千円	△ 0.6 %																																																																																																																																			
【事業内容】 下水道事業会計に要する経費に対して補助金を交付する。 (基準内) ・分流下水に要する経費(資本費のうち収入を持って充てることができないと認められるものに相当する額) ・地方公営企業法の適用に要する費用(適用債元利償還額) ・児童手当に要する経費(3歳に満たない児童に係る給付に要する経費の15分の8) (基準外) ・基準内以外の繰出金 【決算の状況】 (計画及び実績) 単位:円 <table><thead><tr><th colspan="2">項 目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>算出根拠</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">基準内</td><td>分流式下水道に要する費用</td><td>95,324,000</td><td>75,340,819</td><td></td></tr><tr><td>地方公営企業法適用に要する経費</td><td>5,053,931</td><td>5,053,931</td><td>(元金)4,768,750+(利子)285,181</td></tr><tr><td>児童手当に要する経費</td><td>600,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>小計</td><td>100,977,931</td><td>80,394,750</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">基準外</td><td>繰出金</td><td>137,022,069</td><td>119,605,250</td><td></td></tr><tr><td>小計</td><td>137,022,069</td><td>119,605,250</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>238,000,000</td><td>200,000,000</td><td></td></tr></tbody></table> <table><caption>事業別繰出額</caption><thead><tr><th></th><th>基準内</th><th>基準外</th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><td>公 共</td><td>27,376,000</td><td>44,426,699</td><td>71,802,699</td></tr><tr><td>農 集</td><td>44,813,750</td><td>42,849,440</td><td>87,663,190</td></tr><tr><td>浄化槽</td><td>7,104,000</td><td>30,431,178</td><td>37,535,178</td></tr><tr><td>小規模</td><td>1,101,000</td><td>1,897,933</td><td>2,998,933</td></tr><tr><td>計</td><td>80,394,750</td><td>119,605,250</td><td>200,000,000</td></tr></tbody></table> (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><thead><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>214,200,000</td><td>200,000,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>214,200,000</td><td>200,000,000</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>214,200,000</td><td>200,000,000</td><td>計</td><td>214,200,000</td><td>200,000,000</td></tr></tbody></table> <table><tr><td rowspan="3">今後に向けて</td><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>地方公営企業法及び繰出基準に基づき、適正な繰出しを行うことで、下水道事業の安定的な運営及び経営基盤の維持を図る。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td>総務省の繰出基準通知等の内容を適切に把握し、引き続き適正な繰出しを行うことで、下水道事業の安定的な運営を支援する。</td></tr><tr><td></td><td>解決すべき課題への方策</td><td>下水道事業は一般会計からの繰出金への依存度が高く、今後は人口減少による使用料収入の減少や施設更新費用の増加が見込まれることから、料金体系の見直しを含めた持続可能な事業運営について検討を進める。</td></tr></table>										項 目		予算額	決算額	算出根拠	基準内	分流式下水道に要する費用	95,324,000	75,340,819		地方公営企業法適用に要する経費	5,053,931	5,053,931	(元金)4,768,750+(利子)285,181	児童手当に要する経費	600,000	0		小計	100,977,931	80,394,750		基準外	繰出金	137,022,069	119,605,250		小計	137,022,069	119,605,250		計		238,000,000	200,000,000			基準内	基準外	計	公 共	27,376,000	44,426,699	71,802,699	農 集	44,813,750	42,849,440	87,663,190	浄化槽	7,104,000	30,431,178	37,535,178	小規模	1,101,000	1,897,933	2,998,933	計	80,394,750	119,605,250	200,000,000	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					18 負担金補助及び交付金	214,200,000	200,000,000																														一般財源	214,200,000	200,000,000				計		214,200,000	200,000,000	計	214,200,000	200,000,000	今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	地方公営企業法及び繰出基準に基づき、適正な繰出しを行うことで、下水道事業の安定的な運営及び経営基盤の維持を図る。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成出来た点をさらに伸ばす方策	総務省の繰出基準通知等の内容を適切に把握し、引き続き適正な繰出しを行うことで、下水道事業の安定的な運営を支援する。		解決すべき課題への方策	下水道事業は一般会計からの繰出金への依存度が高く、今後は人口減少による使用料収入の減少や施設更新費用の増加が見込まれることから、料金体系の見直しを含めた持続可能な事業運営について検討を進める。
項 目		予算額	決算額	算出根拠																																																																																																																																			
基準内	分流式下水道に要する費用	95,324,000	75,340,819																																																																																																																																				
	地方公営企業法適用に要する経費	5,053,931	5,053,931	(元金)4,768,750+(利子)285,181																																																																																																																																			
	児童手当に要する経費	600,000	0																																																																																																																																				
	小計	100,977,931	80,394,750																																																																																																																																				
基準外	繰出金	137,022,069	119,605,250																																																																																																																																				
	小計	137,022,069	119,605,250																																																																																																																																				
計		238,000,000	200,000,000																																																																																																																																				
	基準内	基準外	計																																																																																																																																				
公 共	27,376,000	44,426,699	71,802,699																																																																																																																																				
農 集	44,813,750	42,849,440	87,663,190																																																																																																																																				
浄化槽	7,104,000	30,431,178	37,535,178																																																																																																																																				
小規模	1,101,000	1,897,933	2,998,933																																																																																																																																				
計	80,394,750	119,605,250	200,000,000																																																																																																																																				
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																																	
				18 負担金補助及び交付金	214,200,000	200,000,000																																																																																																																																	
	一般財源	214,200,000	200,000,000																																																																																																																																				
計		214,200,000	200,000,000	計	214,200,000	200,000,000																																																																																																																																	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	地方公営企業法及び繰出基準に基づき、適正な繰出しを行うことで、下水道事業の安定的な運営及び経営基盤の維持を図る。																																																																																																																																					
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																																						
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	総務省の繰出基準通知等の内容を適切に把握し、引き続き適正な繰出しを行うことで、下水道事業の安定的な運営を支援する。																																																																																																																																					
	解決すべき課題への方策	下水道事業は一般会計からの繰出金への依存度が高く、今後は人口減少による使用料収入の減少や施設更新費用の増加が見込まれることから、料金体系の見直しを含めた持続可能な事業運営について検討を進める。																																																																																																																																					

事業名	1	下水道事業費	所属名	建設課
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:適正な時期に繰出すことで下水道事業の経営安定が図れた。 理由:資金不足を回避し、継続的な事業執行を可能にしたため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:適正な繰出しにより下水道事業の経営安定が図れた。 理由:継続的な事業執行を可能にしたため。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:基準に沿って算出した額を適正に繰り出した。 理由:事業の進捗に合わせたタイミングで事務手続きが遅滞なく完了できたため。 ②実施出来なかったこと(問題)とその理由 問題:基準に沿って算出した額を適正に繰出した。 理由:事務遅延等もなく年間を通して計画的に活動を行うことができたため。				

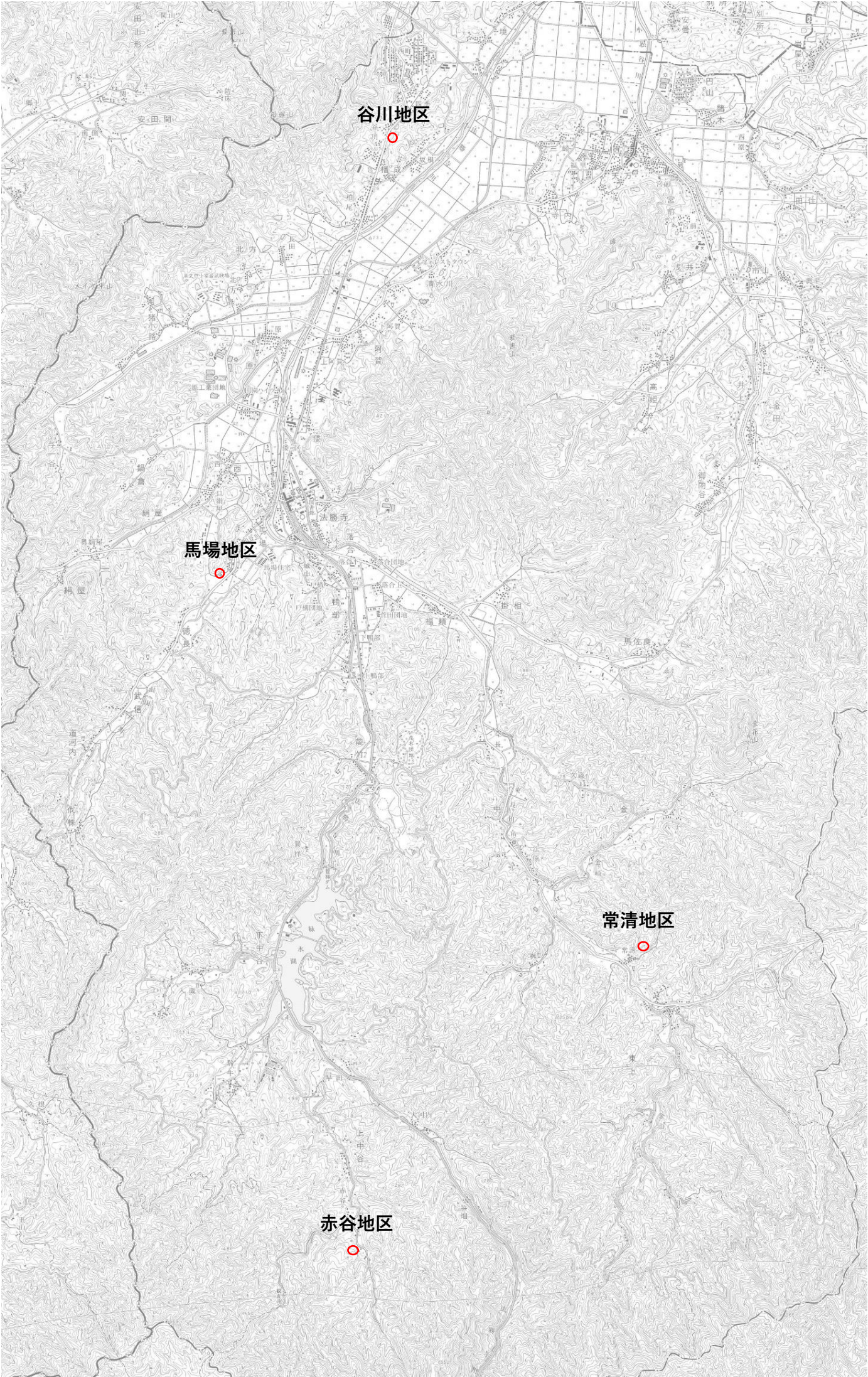
款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業費施設災害復旧費	目	4	農地等小災害復旧費	会計名	一般会計																																																																																																																					
事業名		1	農地等災害復旧事業						所属名	建設課																																																																																																																					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	災害により被災した町内の農地・農業用施設を復旧する方							総合計画における位置づけ																																																																																																																						
									⑩自然災害や犯罪などからくらしを守る																																																																																																																						
									「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																																						
									①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)																																																																																																																						
	根拠法令・要綱等																																																																																																																														
	意図 (対象をどうするか)	災害により被災した農地・農業用施設を復旧し、従前の機能を回復させる。							名称	鳥取県しつかり守る農林基盤交付金交付規則																																																																																																																					
									URL	https://www1.g-reiki.net/tottori/reiki_honbun/k500RG00001523.html																																																																																																																					
									名称	南部町農地等災害復旧事業費補助金交付要綱																																																																																																																					
									URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00001155.html																																																																																																																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	農地の復旧を支援することで、地域の農地の維持、耕作放棄地の発生防止につながる。							名称																																																																																																																						
URL																																																																																																																															
決算増減の理由									執行率の理由																																																																																																																						
前年度に対して申請件数が減少したほか、平均工事費も低下した。									高姫の農道は砂防区域内であったため県営で実施した。																																																																																																																						
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		12.5 %																																																																																																																								
	814,385 円	389,895 円	△ 424,490 円	△ 52.1 %																																																																																																																											
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																																																																											
	827 千円	3,113 千円	2,286 千円	276.4 %																																																																																																																											
【事業内容】 国の災害復旧事業の対象とならない小規模な災害により被害を受けた農地及び農業用施設(水路、農道、取水及び排水口、堰、ため池など)の原形復旧または被災前の機能に復旧するための工事(再度の被害を防ぐ措置のための変更は可)。ただし、土木工事を施工することができる業者等により施工されたものであること。 負担区分： 県42.5%、町42.5%、自己負担15% 対象経費上限額： 施工1箇所の経費 40万円以下 (40万円を超える部分は自己負担) 【決算の状況】 (計画)及び(実績) <table><tr><th>費目</th><th>予算額(円)</th><th>決算額(円)</th><th>備考</th></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>3,113,000</td><td>389,895</td><td>灌水バルブ1、集水柵1</td></tr><tr><td>計</td><td>3,113,000</td><td>389,895</td><td></td></tr></table> <事業内訳> 単位:円 <table><tr><th>区分</th><th>工種</th><th>地区名</th><th>復旧工法</th><th>箇所数</th><th>事業費</th><th>補助金</th><th>備考</th></tr><tr><td>施設</td><td>バルブ等</td><td>朝金</td><td>灌水バルブ及び空気弁復旧</td><td>1</td><td>266,200</td><td>226,270</td><td></td></tr><tr><td>施設</td><td>集水柵</td><td>馬佐良</td><td>集水柵復旧</td><td>1</td><td>192,500</td><td>163,625</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">計</td><td>2</td><td>458,700</td><td>389,895</td><td></td></tr></table> (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績:被災した農業用施設について速やかに復旧工事を実施し、営農活動への影響を最小限に抑えることができた。 理由:被災箇所の早期復旧により農業用水の安定供給を確保し、営農環境の維持につながったため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題:復旧工法の選定に一定の制約を伴う。 理由:事業要件に適合した工法を採用する必要があるため。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-4-1</td><td>鳥取県しつかり守る農林基盤交付金(災害復旧分)</td><td>407,192</td><td>194,947</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>814,385</td><td>389,895</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>407,193</td><td>194,948</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>814,385</td><td>389,895</td><td>計</td><td>814,385</td><td>389,895</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="4">今後に向けて</td><td colspan="2">①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td colspan="2">国等の災害復旧事業の対象とならない、事業費40万円以下の災害復旧を支援することで地域の農業を守ることができている。</td></tr><tr><td colspan="4">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td colspan="3">今後も、災害発生時の円滑かつ迅速な復旧事業の実施に向け、本制度を継続していく必要がある。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td colspan="3">復旧工法を検討しながら、緊急に実施するため手続き方法の簡素化を図り、被災農地等の迅速な復旧に努める。</td></tr></table>											費目	予算額(円)	決算額(円)	備考	負担金補助及び交付金	3,113,000	389,895	灌水バルブ1、集水柵1	計	3,113,000	389,895		区分	工種	地区名	復旧工法	箇所数	事業費	補助金	備考	施設	バルブ等	朝金	灌水バルブ及び空気弁復旧	1	266,200	226,270		施設	集水柵	馬佐良	集水柵復旧	1	192,500	163,625		計				2	458,700	389,895		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-4-1	鳥取県しつかり守る農林基盤交付金(災害復旧分)	407,192	194,947	18 負担金補助及び交付金	814,385	389,895																														一般財源	407,193	194,948				計		814,385	389,895	計	814,385	389,895	今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		国等の災害復旧事業の対象とならない、事業費40万円以下の災害復旧を支援することで地域の農業を守ることができている。		②次年度へ向けた次への行動・具体策				達成出来た点をさらに伸ばす方策	今後も、災害発生時の円滑かつ迅速な復旧事業の実施に向け、本制度を継続していく必要がある。			解決すべき課題への方策	復旧工法を検討しながら、緊急に実施するため手続き方法の簡素化を図り、被災農地等の迅速な復旧に努める。		
費目	予算額(円)	決算額(円)	備考																																																																																																																												
負担金補助及び交付金	3,113,000	389,895	灌水バルブ1、集水柵1																																																																																																																												
計	3,113,000	389,895																																																																																																																													
区分	工種	地区名	復旧工法	箇所数	事業費	補助金	備考																																																																																																																								
施設	バルブ等	朝金	灌水バルブ及び空気弁復旧	1	266,200	226,270																																																																																																																									
施設	集水柵	馬佐良	集水柵復旧	1	192,500	163,625																																																																																																																									
計				2	458,700	389,895																																																																																																																									
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																									
15-2-4-1	鳥取県しつかり守る農林基盤交付金(災害復旧分)	407,192	194,947	18 負担金補助及び交付金	814,385	389,895																																																																																																																									
	一般財源	407,193	194,948																																																																																																																												
計		814,385	389,895	計	814,385	389,895																																																																																																																									
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		国等の災害復旧事業の対象とならない、事業費40万円以下の災害復旧を支援することで地域の農業を守ることができている。																																																																																																																												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																														
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	今後も、災害発生時の円滑かつ迅速な復旧事業の実施に向け、本制度を継続していく必要がある。																																																																																																																													
	解決すべき課題への方策	復旧工法を検討しながら、緊急に実施するため手続き方法の簡素化を図り、被災農地等の迅速な復旧に努める。																																																																																																																													

事業名	1	農地等災害復旧事業	所属名	建設課
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 成果:地元関係者との協議・調整を行いながら、現地条件に適した復旧工法を選定し、円滑な事業実施につなげた。 理由:関係者との合意形成を図りながら事業を進めたことで、円滑な施工体制を確保できたため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:被災後の現地状況把握に日数を要した。 理由:ため池点検を最優先したことで、その他の農業用施設については現地確認が遅くなったため。				
令和7年度農地等災害復旧事業実施箇所一覧図 				
朝金地区 灌水バルブ等復旧 (着工前) 				
(完成) 				
馬佐良地区 集水桝復旧 (着工前) 				
(完成) 				

款	10	災害復旧費	項	3	単県斜面崩壊復旧費	目	1	単県斜面崩壊復旧費	会計名	一般会計					
事業名		1	単県斜面崩壊復旧事業（繰越）						所属名	建設課					
事業の目的	対象 （誰、何に対してか）	被災した斜面	総合計画における位置づけ ⑩自然災害や犯罪などからくらしを守る 「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦（安全すこやかに暮らすまち） 根拠法令・要綱等						名称	鳥取県単県斜面崩壊復旧事業補助金交付要綱					
									URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/448871/tansyakouhuyoukouH31.pdf					
									名称	南部町営県単独斜面崩壊復旧事業分担金徴収条例					
									URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000537.html					
	意図 （対象をどうするか）	従前の機能回復	名称 URL						決算増減の理由		執行率の理由				
									繰越による新規事業になるため		非該当				
	成果の視点 （どのような効果があるか）	急傾斜地における災害復旧事業を促進することにより、公共施設や人家を保全し、住民生活の安定を図る。	名称 URL												
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		100.0 %								
	0 円	18,999,200 円	18,999,200 円	皆 増 %											
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減											
	0 千円	19,000 千円	19,000 千円	皆 増 %											
【事業内容】 豪雨等により崩壊した斜面について復旧工事を行う。 国庫補助事業および単県急傾斜地崩壊対策事業の対象にならない林地および急傾斜地が崩壊した場合の災害復旧事業で、公共施設および人家等を保全し、住民生活の安定を図る上で必要と認められるもののうち、1箇所に事業費が100万円以上のものを復旧する事業。 (採択基準) ・1、2級河川の上流域に存する箇所で発生し、下流一帯に被害を与える恐れがあると認められるもの。 ・人家、主要公共施設、耕地、用排水施設、河川施設などに直接被害を与えたもの、又はその恐れがあると認められるもの。 (補助区分) 県費：40％ 町費：40％ 地元負担金：20％ 【決算の状況】 (計画及び実績) 被災範囲：L=20m、H=10m 復旧工法：現場吹付法砕工 A=175m2 掘削：人力切崩し → ロッククライミング工法 ・R6年度に測量設計（4,400千円）を実施済 R6.11.29完了 （株）アイテック (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと（成果実績）とその理由 実績：豪雨により崩壊した法面の復旧工事を完了し、人家への影響防止及び安全確保を図った。 理由：土砂流出や法面崩壊の再発防止につなげることができたため。 ②達成出来なかったこと（問題）とその理由 問題：施工が1年遅れた。 理由：工法の見直しに時間を要した (2)活動上の実績 ①実施出来たこと（活動実績）とその理由 実績：災害発生後の現地確認から予算措置、復旧工事まで計画どおり対応した。 理由：適切な予算措置及び工事発注を行えたため。 ②実施出来なかったこと（活動上の問題）とその理由 問題：施工が1年遅れた。 理由：工法の見直しに時間を要した															
(歳入内訳 単位：円)															
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額						
12-1-3-1	単県斜面崩壊復旧事業分担金				0	4,679,840	12 委託料	0	0						
15-2-7-1	単県斜面崩壊復旧事業補助金				0	7,599,680	14 工事請負費	0	18,999,200						
21-1-7-1	単県斜面崩壊復旧事業債（緊急自然災害防止対策事業債）				0	6,600,000									
	一般財源				0	119,680									
計					0	18,999,200	計	0	18,999,200						
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		豪雨等により被災した法面について、早期の復旧及び安全確保を図り、住民生活への影響を最小限に抑える。												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策														
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		災害発生時には迅速な現地確認及び予算措置を行い、早期復旧に努める。												
	解決すべき課題への方策		被災箇所の状況把握及び復旧方法の検討を迅速に行い、効率的な事業実施に努める。												



款	10	災害復旧費	項	4	中山間地域共同施設災害復旧費	目	1	中山間地域共同施設災害復旧費	会計名	一般会計																																									
事業名		1	中山間地域共同施設災害復旧事業						所属名	建設課																																									
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	生活道路、排水路、公民館等の地域共同施設						総合計画における位置づけ																																											
								⑩自然災害や犯罪などからくらしを守る 「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち) 根拠法令・要綱等																																											
	意図 (対象をどうするか)	従前の機能を回復させる。						名称	鳥取県地域共同施設災害復旧事業補助金交付要綱																																										
								URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/764703/youkou.pdf																																										
	成果の視点 (どのような効果があるか)	被災した共同施設が復旧されずに放置されることを防ぎ、中山間地域の活性化と住民生活の安全安心に寄与することができる。						名称																																											
								URL																																											
								名称																																											
								URL																																											
	前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由																																										
			0 円	1,631,300 円	1,631,300 円	皆 増 %																																													
前年度予算額			本年度予算額	差 引	増 減	本年度執行率	90.6 %																																												
0 千円			1,800 千円	1,800 千円	皆 増 %																																														
【事業内容】 ・事業主体: 地元自治会及び地域振興協議会 ・事業対象: 生活道路、排水路、公民館、公園などの地域で共同管理されている施設 ・対象事業: 機能復旧に必要な工事費等の経費 ・補助限度額: 60万円/件 ・県補助金: 1/2 (町が自治会等に補助した金額の1/2上限30万円) 【決算の状況】 (計画)及び(実績) <table><tr><td>費目</td><td>予算額(円)</td><td>決算額(円)</td><td>備考</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>1,800,000</td><td>1,631,300</td><td>道路復旧2件、水路復旧2件</td></tr><tr><td>計</td><td>1,800,000</td><td>1,631,300</td><td></td></tr></table> <事業内訳> 単位:円 <table><tr><td>工種</td><td>数量</td><td>位置</td><td>事業費</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>道路復旧</td><td>法面補修 1式</td><td>谷川</td><td>347,600</td><td>347,600</td></tr><tr><td>道路復旧</td><td>崩土撤去 V=5m³</td><td>馬場</td><td>90,200</td><td>90,200</td></tr><tr><td>水路復旧</td><td>U字溝(250) L=6.5m</td><td>常清</td><td>599,500</td><td>599,500</td></tr><tr><td>水路復旧</td><td>波状管(φ400)を埋設 L=17.0m</td><td>赤谷</td><td>594,000</td><td>594,000</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>1,631,300</td><td>1,631,300</td></tr></table> (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 実績: 地域住民の安全・安心な生活環境の確保が図られた。 理由: 共同施設の復旧により、施設機能が回復し、災害リスクの低減や生活環境の改善につながったため。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 問題: 補助限度額を超えない範囲で工法選定を行っている。 理由: 補助対象額の範囲内で、効果的かつ経済的な復旧工法を検討する必要があるため。										費目	予算額(円)	決算額(円)	備考	負担金補助及び交付金	1,800,000	1,631,300	道路復旧2件、水路復旧2件	計	1,800,000	1,631,300		工種	数量	位置	事業費	補助金額	道路復旧	法面補修 1式	谷川	347,600	347,600	道路復旧	崩土撤去 V=5m³	馬場	90,200	90,200	水路復旧	U字溝(250) L=6.5m	常清	599,500	599,500	水路復旧	波状管(φ400)を埋設 L=17.0m	赤谷	594,000	594,000	計			1,631,300	1,631,300
費目	予算額(円)	決算額(円)	備考																																																
負担金補助及び交付金	1,800,000	1,631,300	道路復旧2件、水路復旧2件																																																
計	1,800,000	1,631,300																																																	
工種	数量	位置	事業費	補助金額																																															
道路復旧	法面補修 1式	谷川	347,600	347,600																																															
道路復旧	崩土撤去 V=5m³	馬場	90,200	90,200																																															
水路復旧	U字溝(250) L=6.5m	常清	599,500	599,500																																															
水路復旧	波状管(φ400)を埋設 L=17.0m	赤谷	594,000	594,000																																															
計			1,631,300	1,631,300																																															
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)																																																			
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																												
15-2-7-1	中山間地域共同施設災害復旧補助金		0	814,000	18 負担金補助及び交付金	0	1,631,300																																												
	一般財源		0	817,300																																															
	計		0	1,631,300	計	0	1,631,300																																												
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		被災した共同施設の早期復旧を支援し、施設機能の維持・回復を図ることで、中山間地域の活性化と住民生活の安全・安心の確保に努める。																																																
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																		
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	豪雨や地震等の災害発生時には、迅速な予算措置及び関係機関との連携により、被災施設の早期復旧を支援する。																																																	
	解決すべき課題への方策	限られた事業費の中で効果的かつ経済的な復旧工法を選定できるよう、国・県及び関係機関が主催する研修への計画的な参加やOJTの充実を図り、職員の専門知識及び技術力の向上に努める。																																																	

事業名	1	中山間地域共同施設災害復旧事業	所属名	建設課
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 実績:地元関係者との協議を行い、適切な復旧工法を選定した。 理由:地域の実情や要望、現地条件を踏まえた検討を行ったため。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 問題:赤谷地区は冬季の施工となってしまった。 理由:現地状況の把握や復旧工法の選定に時間を要したため。 				

谷川地区 道路復旧
(着工前)



(完成)



馬場地区 道路復旧
(着工前)



(完成)



常清地区 水路復旧
(着工前)



(完成)



赤谷地区 水路復旧
(着工前)



(完成)

